

令和3年度
牧之原市 市民意識調査

～ 報 告 書 ～

令和3年6月
牧 之 原 市

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 調査結果の要約	2
①牧之原市での暮らしについて	2
②原子力発電について	3
③女性にやさしいまちについて	3
④子育て・教育環境について	3
⑤公共施設の最適化について	4
⑥産業・雇用について	5
⑦健康寿命について	5
⑧行政サービスのデジタル化について	6
⑨市からの情報発信について	6
⑩牧之原市の行政サービスについて	7
⑪全ての取組の満足度・重要度の評価点順位	8
(2) 調査結果の詳細	9
①牧之原市での暮らしについて	9
(1) 今後の居住継続意向	9
(2) 他の場所へ移りたい理由	11
(3) 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか	14
(4) 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか	17
(5) 牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由	20
②原子力発電について	23
(6) 浜岡原子力発電所の今後についての考え	23
③女性にやさしいまちについて	25
(7) 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか	25
(8) 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野	27
④子育て・教育環境について	29
(9) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か	29
(10) 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組	31
(11) 学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力	34
⑤公共施設の最適化について	37
(12) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの	37
(13) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組の情報源	39
(14) 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか	42
⑥産業・雇用について	44
(15) 市の産業を全体的に見て活力があると思うか	44
(16) 牧之原市のどの産業に活力があると思うか	46
(17) 市の産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組	52

⑦健康寿命について	55
(18) 健康について気を付けていること	55
(19) 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組	58
⑧行政サービスのデジタル化について	61
(20) 個人でインターネットを利用している端末	61
(21) デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること	64
⑨市からの情報発信について	67
(22) 市から得たい情報	67
(23) 市からの情報源	70
(24) 広報まきのほらで読んでいる記事	73
⑩牧之原市の行政サービスについて	76
(25) 満足度・重要度について	76
(26) 満足度・重要度【健康福祉】	77
(27) 満足度・重要度【教育文化】	80
(28) 満足度・重要度【産業経済】	83
(29) 満足度・重要度【生活基盤】	86
(30) 満足度・重要度【防災】	89
(31) 満足度・重要度【市政経営】	92
⑨回答者自身のことについて	95
(32) 回答者の属性 ①性別	95
(33) 回答者の属性 ②年齢	95
(34) 回答者の属性 ③同居世帯の構成	96
(35) 回答者の属性 ④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ	96
(36) 回答者の属性 ⑤職業	97
(37) 回答者の属性 ⑥居住地域	97

3. 調査票	98
--------	----

1. 調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取組に対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成 27 年度からスタートした第 2 次総合計画推進のための資料とすることを目的としています。

(2) 調査項目

- | | |
|----------------|--------------------|
| ①牧之原市での暮らしについて | ②原子力発電について |
| ③女性にやさしいまちについて | ④子育て・教育環境について |
| ⑤公共施設の最適化について | ⑥産業・雇用について |
| ⑦健康寿命について | ⑧行政サービスのデジタル化について |
| ⑨市からの情報発信について | ⑩牧之原市の行政サービスについて |
| ⑪回答者自身のことについて | ⑫日ごろ思うこと（自由意見）【別冊】 |

(3) 調査の設計

- ・ 調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の 16 歳以上の男女の市民
- ・ 調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：令和 3 年 4 月 28 日（水）～令和 3 年 5 月 12 日（水）
- ・ 発 送 数：1,400 人

(4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,399 人	790 人	56.5%

※抽出数は 1,400 人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない 1 人については対象外とした。

◎報告書を見る際の注意事項

- ・ 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。
- ・ 百分率は小数第二位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が 100%にならないことがあります。また、グラフにおける比率の合計は、コメントにおける比率の合計と一致しない場合があります。
- ・ 1 つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合があります。
- ・ 選択肢の文字数が多い場合、グラフ上では省略して表記していることがあります。
- ・ 年齢別クロス集計の分析軸の各回答者数（件数）が 15 件未満のものについては、コメントを割愛しています。

2. 調査結果

(1) 調査結果の要約

①牧之原市での暮らしについて

約6割が今の居住場所に「住み続けたい」

問1 今後の居住継続意向

今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が60.5%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が18.1%、「わからない」が13.5%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が約半数

問2 他の場所へ移りたい理由

他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が49.7%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が43.1%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が42.1%などとなっています。

昨年度と比較すると、「通勤や通学など交通面が不便だから」「人間関係やしきたり等が煩わしいから」「道路などの生活基盤が整備されていないから」が増加し、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「医療や介護の環境が良くないから」が減少しています。

「災害の心配がないところ」が約6割

問3 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が60.8%と最も多く、次いで「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が36.5%、「商店や公共施設の近く」が30.5%などとなっています。

おすすめしたい気持ちは「5」が3割以上

問4 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「5」が31.1%と最も多く、次いで「7」が12.8%、「6」「3」がともに10.5%などとなっています。
昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

おすすめしたい理由は「海岸線や里山などの景観」が約7割

問5 牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由

牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が68.3%と最も多く、次いで「豊かな食」が32.7%、「地域の活動や人のつながり」が29.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、「歴史文化」「牧之原らしい暮らし」「海岸線や里山などの景観」が減少しています。

②原子力発電について

浜岡原子力発電所を「停止しておいたほうがよい」が約4割

問6 浜岡原子力発電所の今後についての考え

浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が37.7%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が26.8%、「どちらともいえない」が22.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が6.8ポイント減少しています。

③女性にやさしいまちについて

女性が暮らしやすいまちだと『思わない』は約3割

問7 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらとも言えない」が36.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が23.9%、「ある程度思う」が14.8%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は17.8%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は31.0%となっています。

女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は「子育て」が約半数

問8 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「子育て」が53.0%と最も多く、次いで「仕事」が46.8%、「日常生活」が44.4%などとなっています。

④子育て・教育環境について

子どもを育てやすい環境だと『思う』は3割以上

問9 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か

牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かについては、「ある程度思う」が33.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が28.5%、「あまり思わない」が18.1%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は35.3%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は22.2%となっています。

昨年度と比較すると、「あまり思わない」が6.6ポイント増加し、「ある程度思う」が6.7ポイント減少しています。

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は

「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が約6割

問10 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が59.4%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が47.0%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が43.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、「子育てに関する経済的支援の充実」「親子で遊べる施設や公園の整備」「子どもを預かる施設の充実」が増加し、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」「教育・文化水準の向上」が減少しています。

子どもに身につけさせたい力は「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が約半数

問11 学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力

学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が48.1%と最も多く、次いで「善悪を判断する力」が34.8%、「自分の考えを表現する力」が32.2%などとなっています。

⑤公共施設の最適化について

知っている取組は「学校再編計画」が約半数

問12 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編計画」が51.3%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が49.1%、「保育施設民営化」が22.8%などとなっています。一方、「知らない」は28.0%などとなっています。

約7割が「広報まきのほら」、約3割が「牧之原市公式LINE」で

牧之原市の取組に関する情報を入手

問13 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組の情報源

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組の情報源は、「広報まきのほら」が68.8%と最も多く、次いで「牧之原市公式LINE」が33.5%、「自治会（区・町内会）」が22.3%などとなっています。

昨年度と比較すると、「牧之原市公式LINE」が21.7ポイント増加し、「自治会（区・町内会）」「各種団体の活動や会合」「議員の話」が減少しています。

施設の廃止や使用料の値上がりを「ある程度までは容認できる」が約7割

問14 「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が72.4%と最も多く、次いで「容認できる」が15.9%、「容認できない」が9.7%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

⑥産業・雇用について

市の産業に活力があると『思う』が約1割、
『思わない』が約半数、「どちらともいえない」が約2割

問15 市の産業を全体的に見て活力があると思うか

市の産業を全体的に見て活力があると思うかについては、「あまり思わない」が38.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.7%、「ある程度思う」が11.6%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は12.4%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は49.1%となっています。

昨年度と比較すると、「あまり思わない」が7.8ポイント増加し、「ある程度思う」「どちらともいえない」が減少しています。

最も活力が『あると思う』産業は「茶業」が4割以上

問16 牧之原市のどの産業に活力があると思うか

牧之原市のどの産業に活力があると思うかについては、「大いにある」が《①茶業》において12.2%と最も多く、『ある』（「大いにある」＋「ある程度ある」）は44.2%となります。

「まったくない」が《⑤観光業》においては23.7%と最も多く、『ない』（「あまりない」＋「まったくない」）は60.4%となります。

昨年度と比較すると、《①茶業》において「ある程度ある」が7.1ポイント、《⑤観光業》においては「まったくない」が6.2ポイント増加しています。《④商業・サービス業》においては「どちらともいえない」が7.0ポイント減少しています。

産業が活力を持つために力を入れるべき取組は

「企業誘致」「後継者の育成」「特産品・製品の市外へのPR」が上位

問17 市の産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組

市の産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組は、「企業誘致の促進」が42.7%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が35.6%、「特産品・製品の市外へのPR」が29.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、「イベントの開催」が6.3ポイント増加しています。

⑦健康寿命について

健康について気を付けていることは「睡眠・休養を十分にとる」が約7割

問18 健康について気を付けていること

健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が67.5%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が63.4%、「定期的に健康診断を受けている」が47.0%などとなっています。

市が力を入れるべき取組は「健診の受診環境の拡充」が約6割

問19 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組

健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が60.5%と最も多く、次いで「運動しやすい環境の充実や整備」が52.4%、「認知症予防の教室や相談」が28.9%などとなっています。

⑧行政サービスのデジタル化について

「スマートフォン」でのインターネット利用者が約8割

問20 個人でインターネットを利用している端末

個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が78.1%と最も多く、次いで「パソコン」が47.2%、「タブレット型端末」が20.9%などとなっています。

利便性向上に期待することは

「オンライン申請により、窓口に出向くことが不要になる」が半数以上

問21 デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が56.8%と最も多く、次いで「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が52.7%、「業務の効率化により行政コストが削減できる」が27.0%などとなっています。

⑨市からの情報発信について

「防災・防犯」が約6割、「健康・医療・福祉」が半数以上

問22 市から得たい情報

市から得たい情報は、「防災・防犯」が59.0%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が52.9%、「観光・イベント」が31.1%などとなっています。

昨年度と比較すると、「防災・防犯」「観光・イベント」が増加し、「健康・医療・福祉」が9.6ポイント減少しています。

「広報まきのほら」を情報源としている人が6割以上

問23 市からの情報源

市からの情報源は、「広報まきのほら」が63.7%と最も多く、次いで「牧之原市公式LINE」が36.7%、「新聞、テレビ、ラジオ」が21.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「牧之原市公式LINE」が16.4ポイント増加し、「広報まきのほら」「区、町内会の会合」「議会だより」が減少しています。

「特集・お知らせ」が約7割

問24 広報まきのほらで読んでいる記事

広報まきのほらで読んでいる記事は、「特集・お知らせ」が67.8%と最も多く、次いで「市政情報」が56.1%、「まちのわだい」が53.7%などとなっています。

昨年度と比較すると、「表紙」が6.1ポイント減少しています。

⑩牧之原市の行政サービスについて

《こども医療費制度》が満足度・重要度ともに最も高い**【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり**

満足度・重要度ともに、《3 こども医療費制度》が最も高く、『満足』は76.8%（評価点1.08点）、『高い』は82.8%（評価点1.37点）となっています。

《学校づくりへの取組》の重要度が最も高い**【教育文化】 地域全体で学び、育てる教育の場づくり**

満足度は、《15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》で、『満足』が59.5%、評価点が0.35点と、最も高くなっています。

重要度は、《13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組》で、『高い』が80.5%、評価点が1.19点と、最も高くなっています。

《すべての項目が、満足度が低く、重要度が高い結果に**【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり**

満足度は、《21 特産品の消費推進の取組》で、『満足』が34.8%、評価点が-0.29点と、最も低くなっています。

重要度は、《25 企業誘致の取組》で、『高い』が68.9%、評価点が0.85点と、最も高くなっています。

《道路や河川の補修・整備》の重要度が最も高い**【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり**

満足度は、《36 公害防止対策への取組》が最も高く、『満足』は52.0%、評価点が0.17点と最も高くなっています。

重要度は、《35 生活環境対策などへの取組》で、『高い』が81.6%、評価点が1.13点と、最も高くなっています。

《震災・火災・水害・浸水対策への取組》の重要度が最も高い**【防災】 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり**

満足度は、《48 学校や地域で子どもを守る取組》で、『満足』が61.6%、評価点が0.43点と、最も高くなっています。

重要度は、《43 震災・火災・水害・浸水対策への取組》で、『高い』が83.3%、評価点が1.45点と、最も高くなっています。

《情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組》の重要度が最も高い**【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり**

満足度は、《56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信》で、『満足』が56.3%、評価点が0.30点と、最も高くなっています。

重要度は、《57 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組》で、『高い』が64.9%、評価点が0.68点と、最も高くなっています。

※『満足』は満足度「満足」＋「やや満足」、『高い』は重要度「高い」＋「やや高い」を指します。

⑪全ての取組の満足度・重要度の評価点順位

		満足度					重要度					
		順位	R3 年度 (A)	R2 年度 (B)	差 (A) - (B)		順位	R3 年度 (A)	R2 年度 (B)	差 (A) - (B)		
健康福祉	1	子育て支援の取組	6	0.24	0.25	-0.01	㇏	7	1.16	1.06	0.10	㇏
	2	幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	2	0.53	0.51	0.02	㇏	3	1.25	1.07	0.18	㇏
	3	こども医療費制度	1	1.08	1.10	-0.02	㇏	2	1.37	1.27	0.10	㇏
	4	こども医療費以外の経済的支援制度	28	-0.05	0.03	-0.08	㇏	16	0.95	0.79	0.16	㇏
	5	高齢者への福祉サービスの取組	13	0.15	0.05	0.10	㇏	21	0.90	0.89	0.01	㇏
	6	障がい者への福祉サービスの取組	16	0.12	0.04	0.08	㇏	20	0.91	0.86	0.05	㇏
	7	福祉施設などの整備	25	-0.02	-0.09	0.07	㇏	18	0.92	0.86	0.06	㇏
	8	健康づくりサービスの推進	19	0.08	0.20	-0.12	㇏	42	0.58	0.62	-0.04	㇏
	9	健康相談などの日常的な保健活動	14	0.13	0.20	-0.07	㇏	50	0.36	0.42	-0.06	㇏
	10	公共スポーツ施設の整備	40	-0.28	-0.30	0.02	㇏	54	0.31	0.24	0.07	㇏
	11	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	51	-0.45	-0.53	0.08	㇏	4	1.20	1.09	0.11	㇏
	12	地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	20	0.07	-0.01	0.08	㇏	51	0.34	0.35	-0.01	㇏
教育文化	13	子どもを合わせたいと思える学校づくりへの取組	8	0.18	0.13	0.05	㇏	6	1.19	1.06	0.13	㇏
	14	小・中学校施設の整備	9	0.17	0.23	-0.06	㇏	12	1.05	1.02	0.03	㇏
	15	生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供	4	0.35	0.34	0.01	㇏	47	0.48	0.41	0.07	㇏
	16	学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	18	0.10	0.02	0.08	㇏	17	0.93	0.77	0.16	㇏
	17	文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	31	-0.11	-0.19	0.08	㇏	53	0.32	0.27	0.05	㇏
	18	伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組	14	0.13	0.09	0.04	㇏	52	0.34	0.30	0.04	㇏
	19	図書館の機能充実や図書館整備に関する取組	11	0.16	-0.42	0.58	㇏	33	0.67	0.61	0.06	㇏
産業経済	20	農林漁業の担い手への支援の取組	49	-0.44	-0.57	0.13	㇏	28	0.73	0.62	0.11	㇏
	21	特産品の消費推進の取組	41	-0.29	-0.41	0.12	㇏	31	0.71	0.59	0.12	㇏
	22	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	58	-0.91	-0.99	0.08	㇏	24	0.80	0.61	0.19	㇏
	23	茶業安定のための取組	47	-0.42	-0.62	0.20	㇏	36	0.63	0.53	0.10	㇏
	24	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取組	49	-0.44	-0.53	0.09	㇏	57	0.17	0.12	0.05	㇏
	25	企業誘致の取組	55	-0.68	-0.64	-0.04	㇏	23	0.85	0.71	0.14	㇏
	26	起業者支援、産業雇用支援の取組	53	-0.58	-0.55	-0.03	㇏	28	0.73	0.63	0.10	㇏
	27	商工業の振興の取組	52	-0.48	-0.52	0.04	㇏	36	0.63	0.60	0.03	㇏
	28	商店街の魅力向上の取組	56	-0.73	-0.81	0.08	㇏	36	0.63	0.50	0.13	㇏
	29	観光誘客促進のための取組	54	-0.61	-0.67	0.06	㇏	43	0.57	0.47	0.10	㇏
	30	各種イベントの開催	46	-0.40	-0.42	0.02	㇏	48	0.44	0.27	0.17	㇏
生活基盤	31	道路や河川の補修・整備	36	-0.18	-0.38	0.20	㇏	10	1.06	1.04	0.02	㇏
	32	上水道施設整備の取組	17	0.11	-0.02	0.13	㇏	15	0.96	0.96	0.00	㇏
	33	計画的な土地利用の推進	44	-0.37	-0.57	0.20	㇏	26	0.77	0.71	0.06	㇏
	34	公園・緑地の管理や整備の取組	48	-0.43	-0.54	0.11	㇏	25	0.78	0.58	0.20	㇏
	35	生活環境対策などへの取組	11	0.16	0.20	-0.04	㇏	9	1.13	1.02	0.11	㇏
	36	公害防止対策への取組	9	0.17	0.07	0.10	㇏	26	0.77	0.74	0.03	㇏
	37	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	25	-0.02	-0.17	0.15	㇏	30	0.73	0.64	0.09	㇏
	38	街並みや周辺の景観・美観への取組	39	-0.26	-0.38	0.12	㇏	41	0.59	0.43	0.16	㇏
	39	自然環境の保全への取組	33	-0.13	-0.24	0.11	㇏	44	0.56	0.38	0.18	㇏
	40	富士山静岡空港を活用するための取組	43	-0.33	-0.30	-0.03	㇏	34	0.66	0.56	0.10	㇏
	41	公共交通の充実（バス交通など）	57	-0.78	-0.82	0.04	㇏	13	1.04	0.75	0.29	㇏
	42	住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	45	-0.39	-0.46	0.07	㇏	49	0.39	0.24	0.15	㇏
防災	43	震災・火災・水害・浸水対策への取組	34	-0.14	-0.27	0.13	㇏	1	1.45	1.27	0.18	㇏
	44	自主防災組織の強化のための取組	22	0.04	0.00	0.04	㇏	4	1.20	1.11	0.09	㇏
	45	家具等の転倒防止などの防災対策への取組	37	-0.19	-0.17	-0.02	㇏	21	0.90	0.80	0.10	㇏
	46	消防体制の整備（消防の広域化）への取組	7	0.23	0.26	-0.03	㇏	14	1.03	0.93	0.10	㇏
	47	盗難などの犯罪防止に対する取組	32	-0.12	-0.14	0.02	㇏	18	0.92	0.79	0.13	㇏
	48	学校や地域で子どもを守る取組	3	0.43	0.40	0.03	㇏	8	1.15	1.05	0.10	㇏
	49	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	22	0.04	0.07	-0.03	㇏	35	0.65	0.54	0.11	㇏
	50	道路交通安全の安全対策（歩道などの整備）	41	-0.29	-0.28	-0.01	㇏	10	1.06	0.94	0.12	㇏
市政経営	51	自治会の住民自治活動への支援	35	-0.15	-0.16	0.01	㇏	45	0.54	0.47	0.07	㇏
	52	地区公民館などの活動拠点の施設整備	24	0.01	0.03	-0.02	㇏	46	0.51	0.44	0.07	㇏
	53	NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	25	-0.02	-0.20	0.18	㇏	55	0.30	0.25	0.05	㇏
	54	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	28	-0.05	-0.17	0.12	㇏	56	0.23	0.28	-0.05	㇏
	55	行政改革の取組	38	-0.25	-0.28	0.03	㇏	39	0.60	0.50	0.10	㇏
	56	市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる充分な情報発信	5	0.30	0.18	0.12	㇏	39	0.60	0.53	0.07	㇏
	57	情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組	30	-0.08	-0.13	0.05	㇏	32	0.68	0.55	0.13	㇏
	58	姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	20	0.07	0.17	-0.10	㇏	58	0.06	0.13	-0.07	㇏

※全ての取組の満足度・重要度の評価点順位は、上表の通りです。

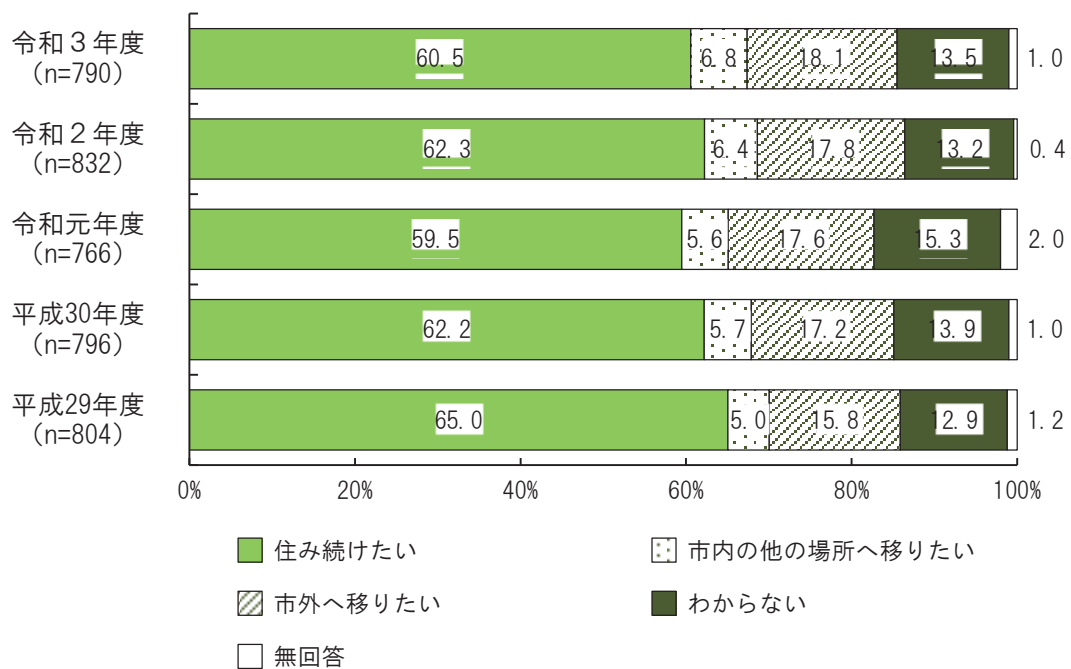
※上位項目（第5位まで）と、昨年度調査よりも評価が高い項目は、網掛けが付いています。

(2) 調査結果の詳細

①牧之原市での暮らしについて

(1) 今後の居住継続意向

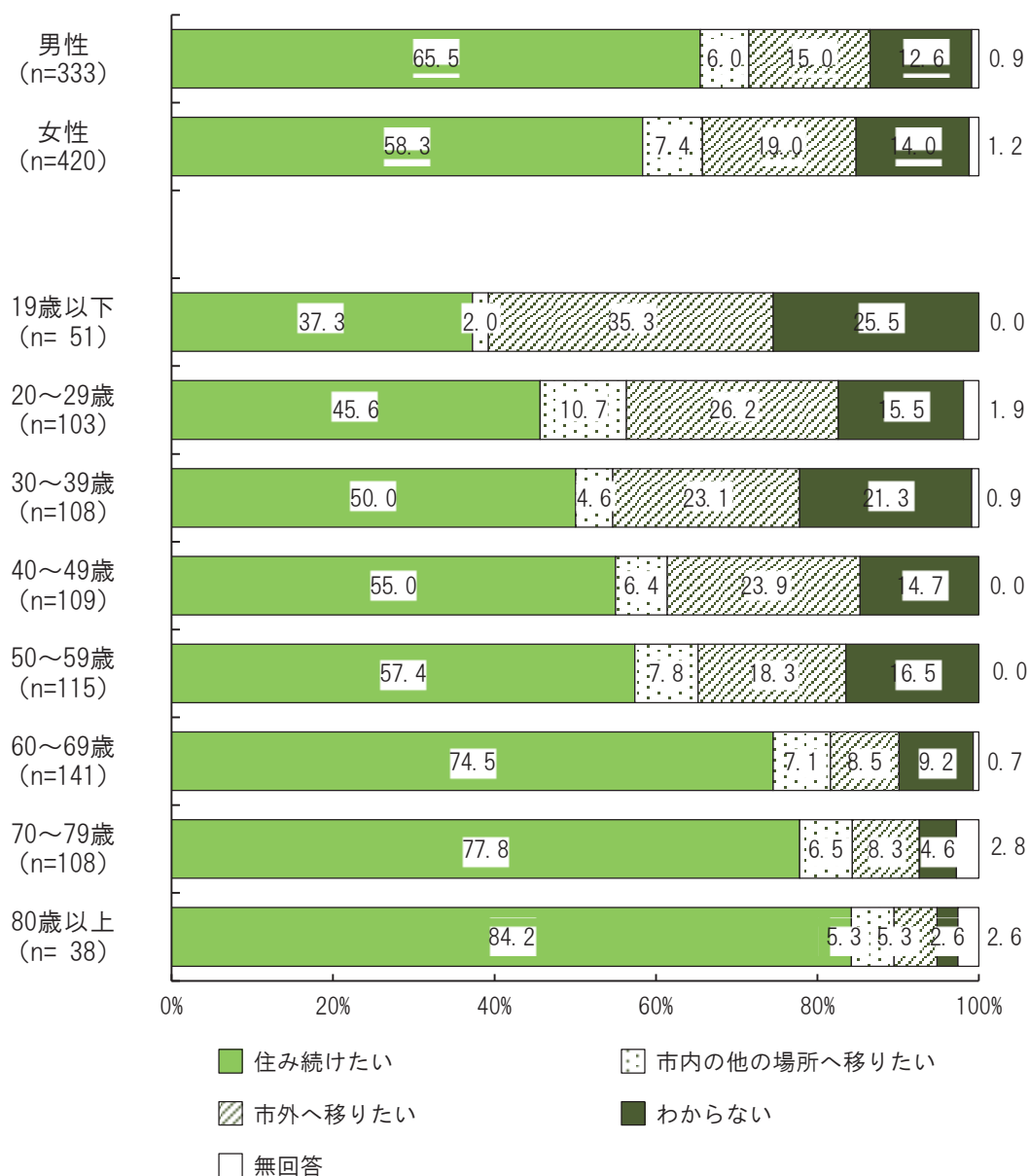
問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が60.5%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が18.1%、「わからない」が13.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



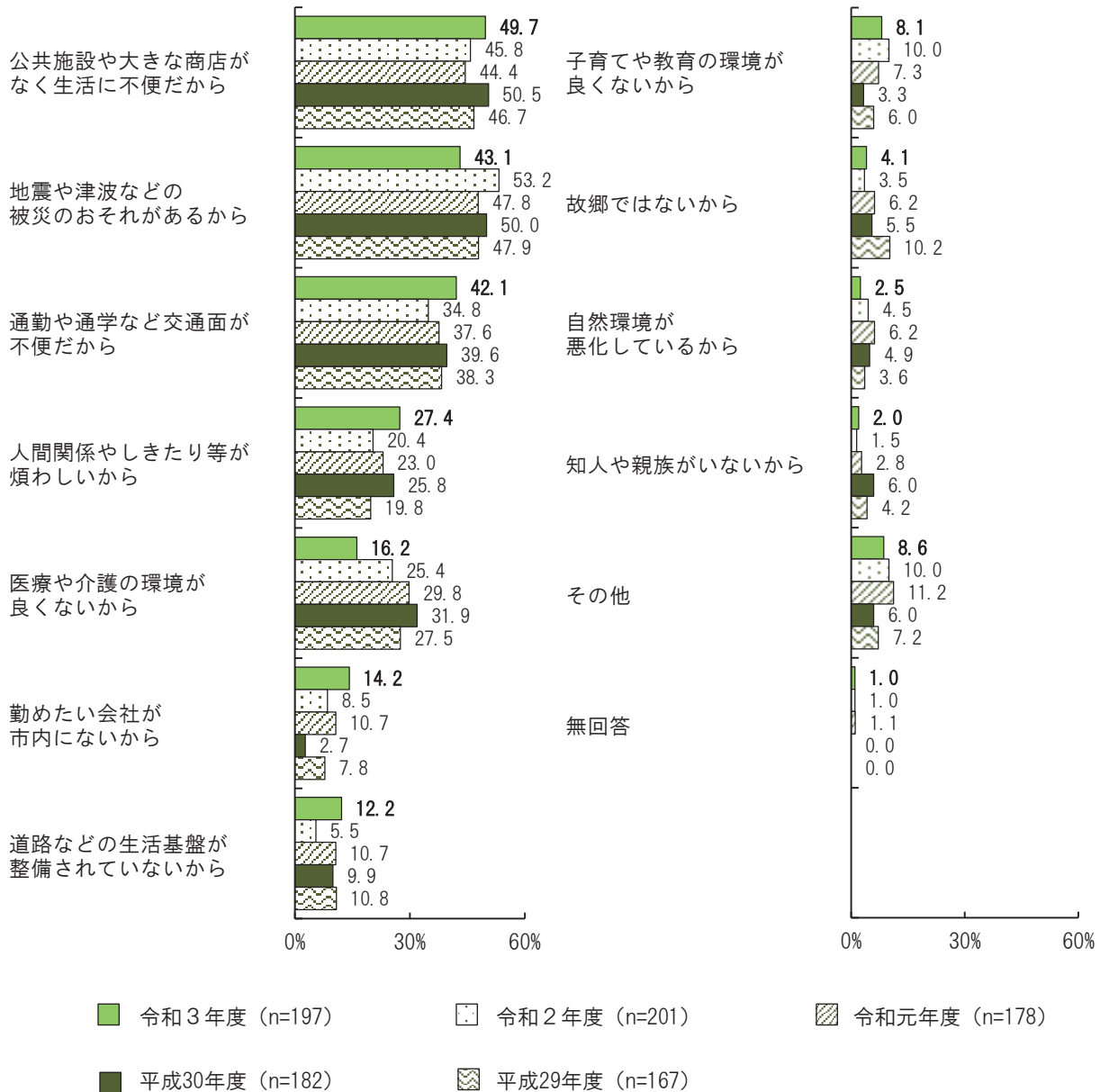
【性 別】：男性は「住みたい」が65.5%と多くなっています。

【年 齢 別】：19歳以下は「市外へ移りたい」が35.3%と多く、「住みたい」が37.3%と少なくなっています。80歳以上は「住みたい」が84.2%と多くなっています。また、年代が上がるごとに「住みたい」が多くなっています。

(2) 他の場所へ移りたい理由

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と答えた方のみ

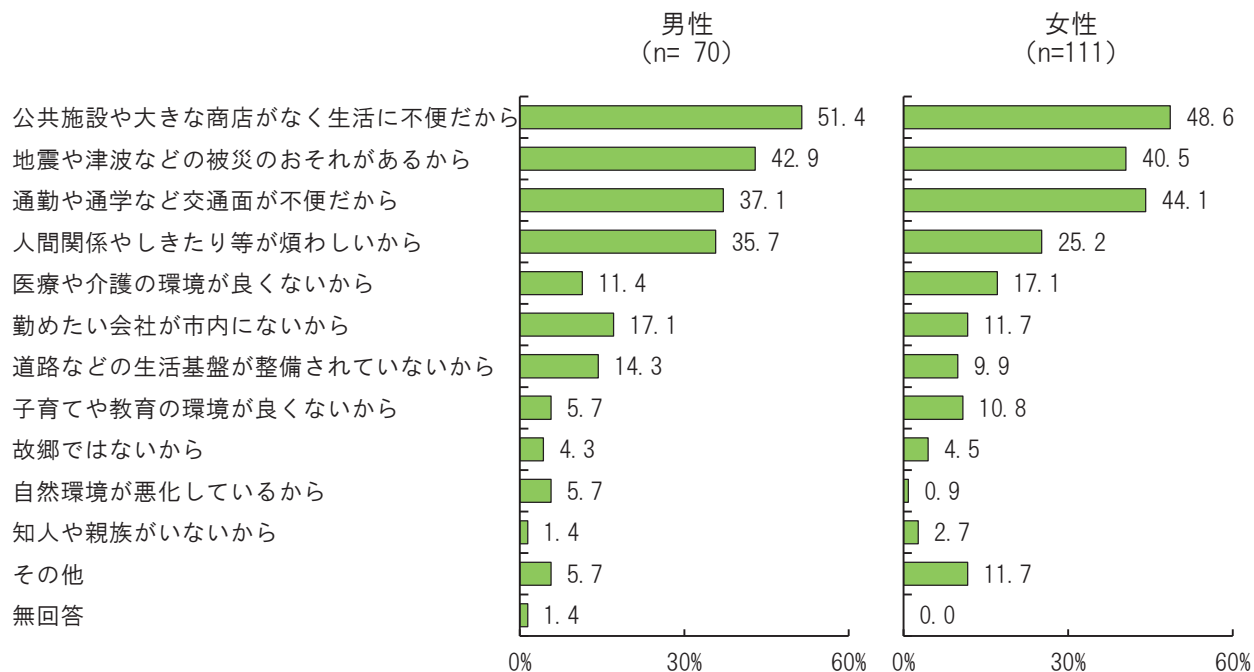
問2 他の場所へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が49.7%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が43.1%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が42.1%などとなっています。

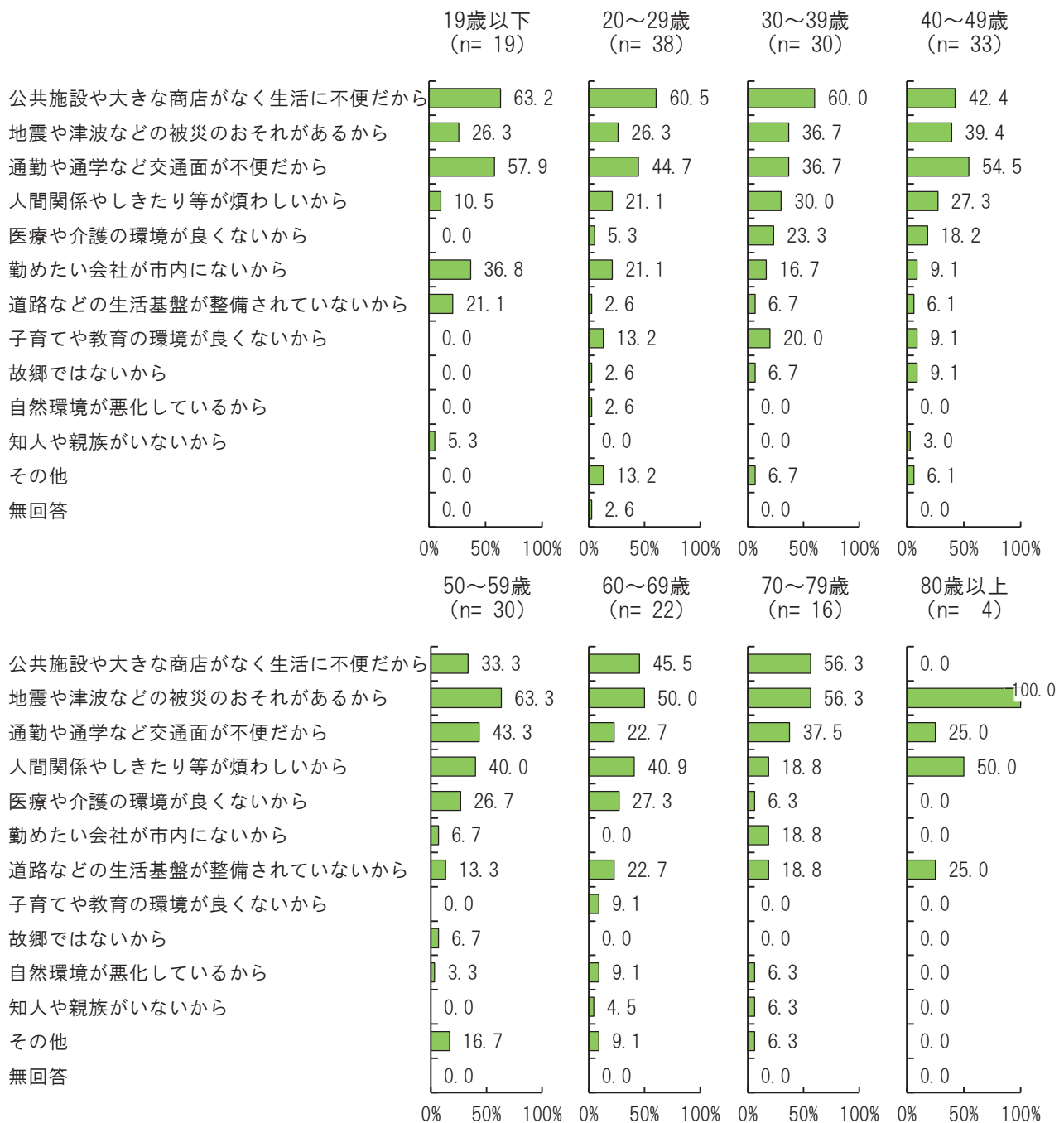
昨年度と比較すると、「通勤や通学など交通面が不便だから」「人間関係やしきたり等が煩わしいから」「勤めたい会社が市内にないから」などが増加し、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」「医療や介護の環境が良くないから」が減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「人間関係やしきたり等が煩わしいから」「勤めたい会社が市内にないから」が多くなっています。女性は「通勤や通学など交通面が不便だから」「医療や介護の環境が良くないから」「子育てや教育の環境が良くないから」が多くなっています。

クロス集計（年齢別）

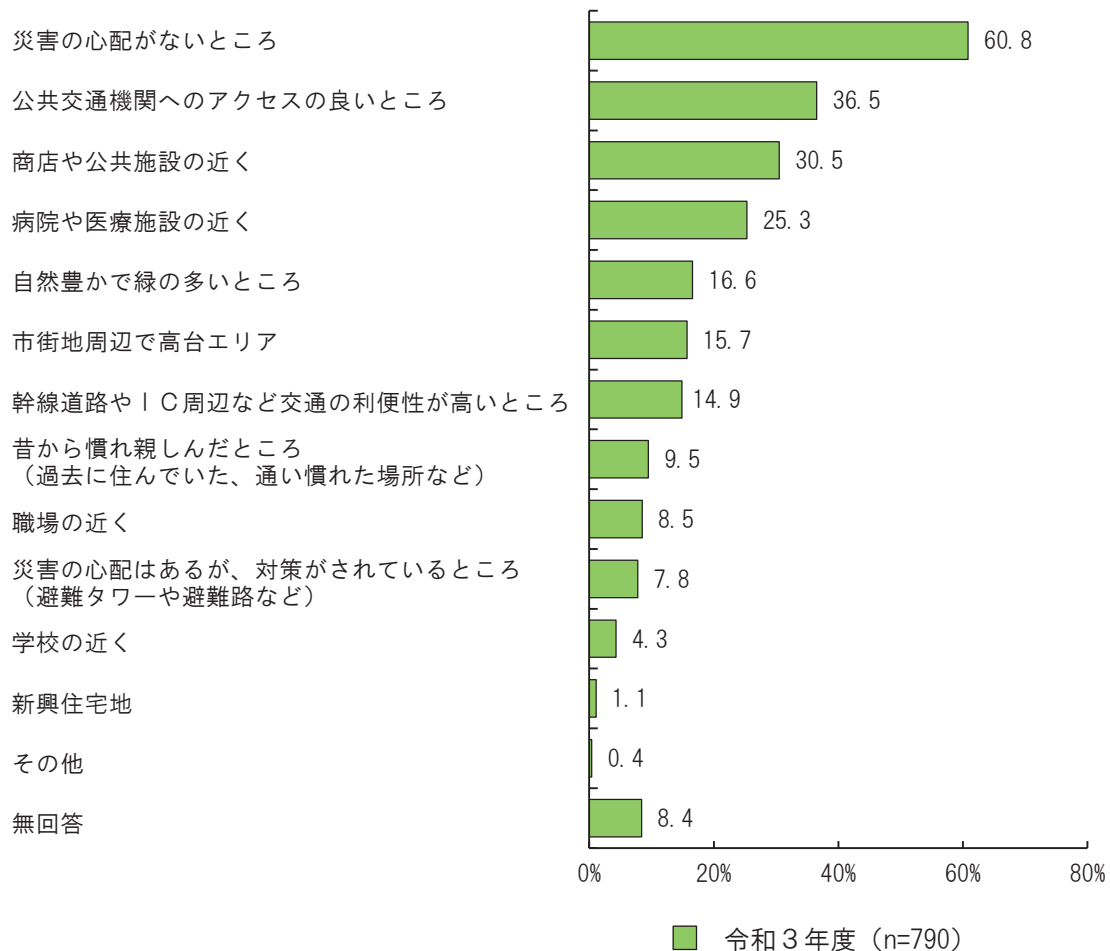


【年齢別】：19歳以下は「勤めたい会社が市内にないから」が36.8%と多く、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が10.5%と少なくなっています。30~39歳は「子育てや教育の環境が良くないから」が20.0%と多くなっています。50~59歳は「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が63.3%と多く、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が33.3%と少なくなっています。60~69歳は「通勤や通学など交通面が不便だから」「勤めたい会社が市内にないから」が少なくなっています。

(3) 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するか

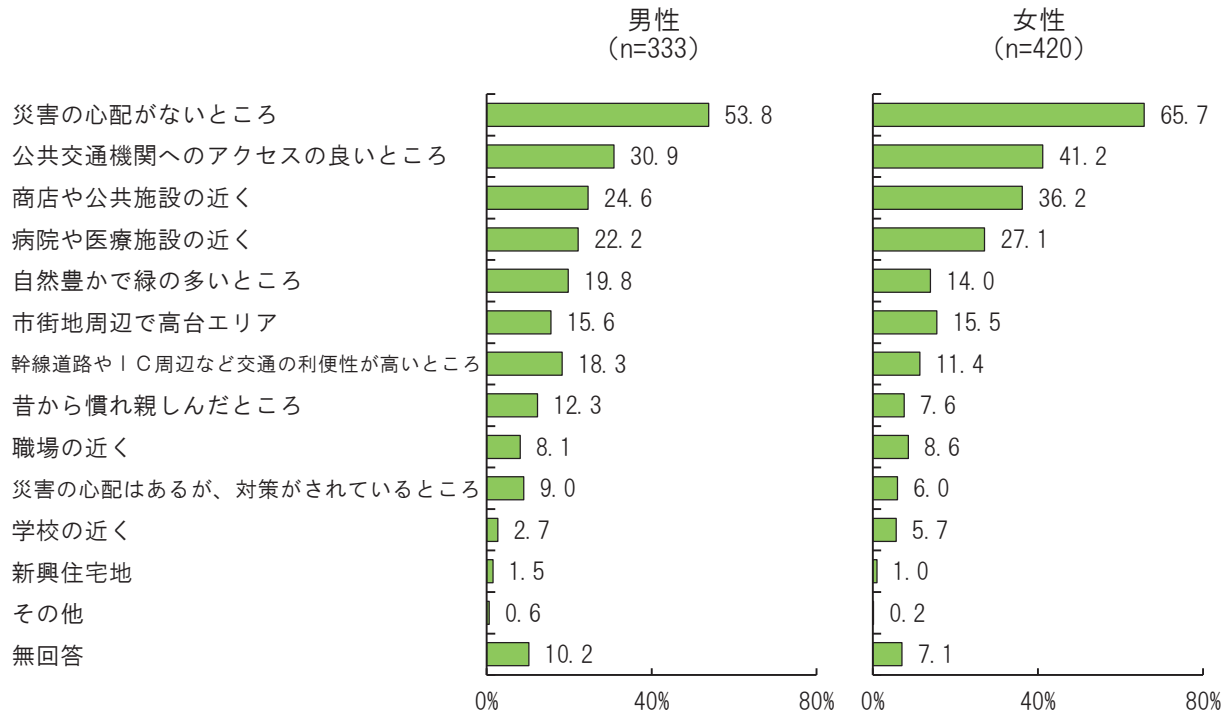
問3 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視しますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

※問1で「市内の他の場所へ移りたい」と答えなかった方も、市内で転居するという仮定でお答えください。



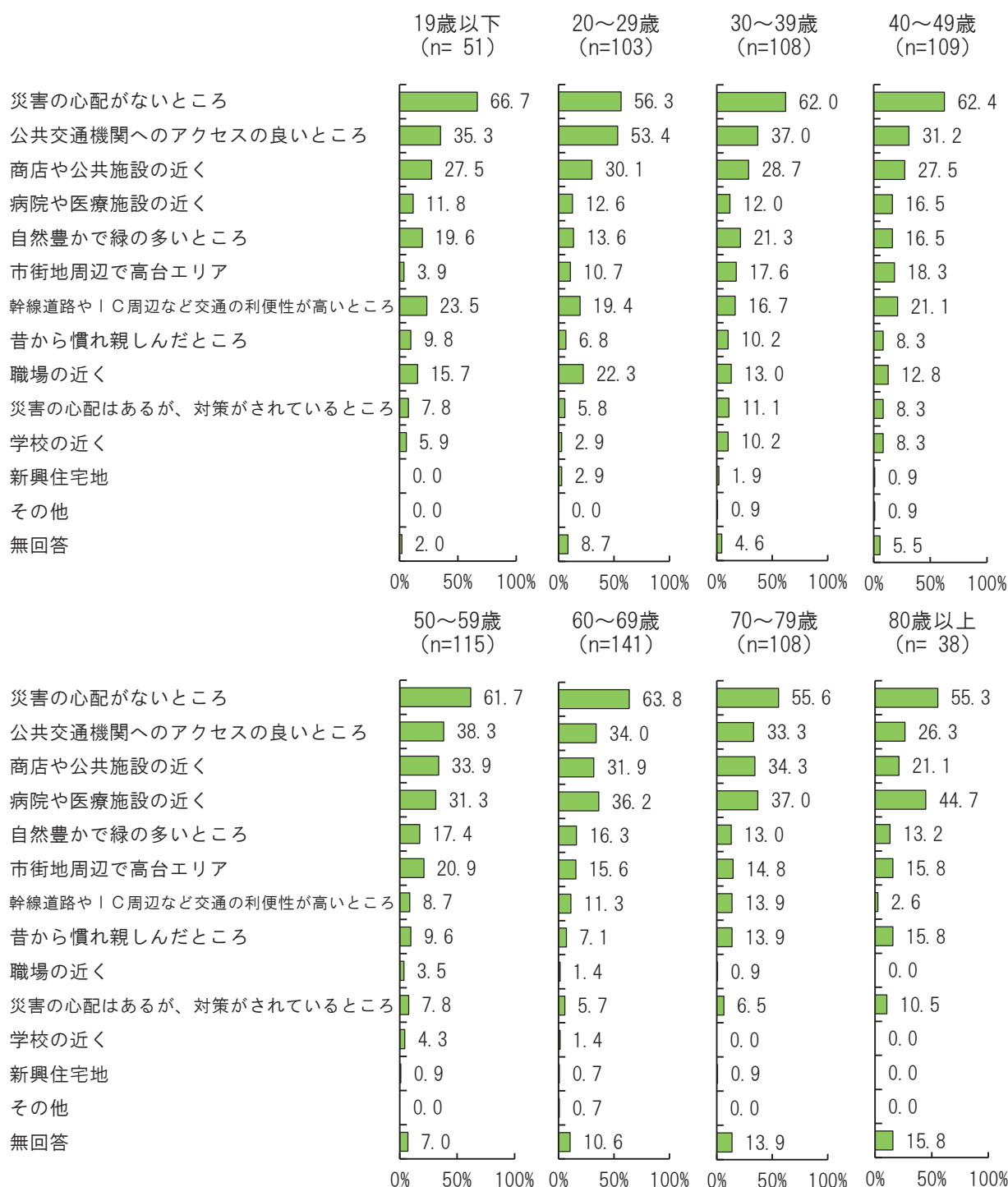
市内で転居するとしたら、どのような場所を重視するかについては、「災害の心配がないところ」が60.8%と最も多く、次いで「公共交通機関へのアクセスの良いところ」が36.5%、「商店や公共施設の近く」が30.5%などとなっています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「自然豊かで緑の多いところ」「幹線道路やＩＣ周辺など交通の利便性が高いところ」が多くなっています。女性は「災害の心配がないところ」「公共交通機関へのアクセスの良いところ」「商店や公共施設の近く」が多くなっています。

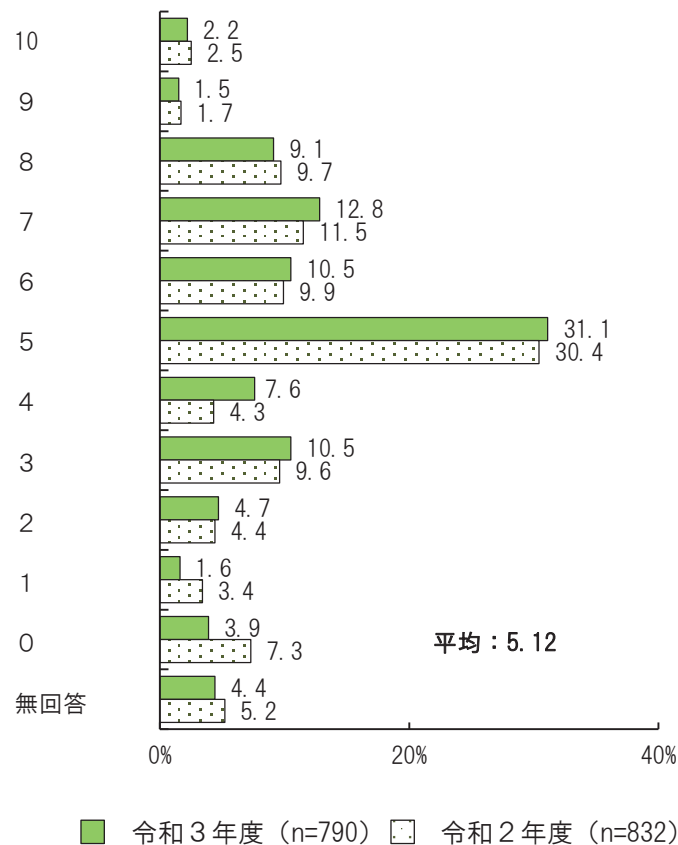
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「市街地周辺で高台エリア」が3.9%と少なくなっています。20～29歳は「公共交通機関へのアクセスの良いところ」「職場の近く」が多くなっています。80歳以上は「病院や医療施設の近く」が44.7%と多く、「商店や公共施設の近く」「幹線道路やＩＣ周辺など交通の利便性が高いところ」が少なくなっています。

(4) 牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるか

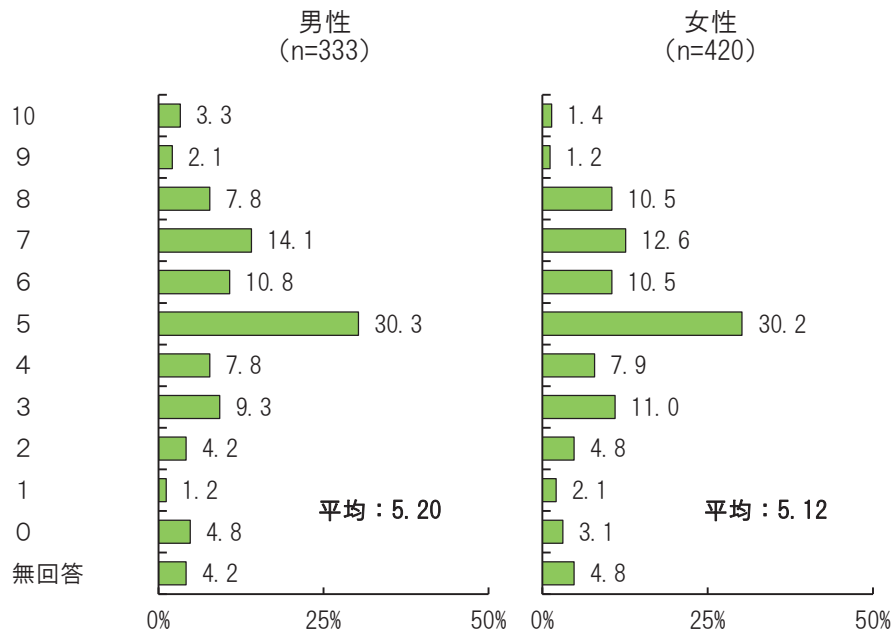
問4 あなたは、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？
最も強く思う場合を10、まったく思わない場合を0として、あてはまるものに1つ○印をつけてください。



牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいあるかについては、「5」が31.1%と最も多く、次いで「7」が12.8%、「6」「3」がともに10.5%などとなっています。

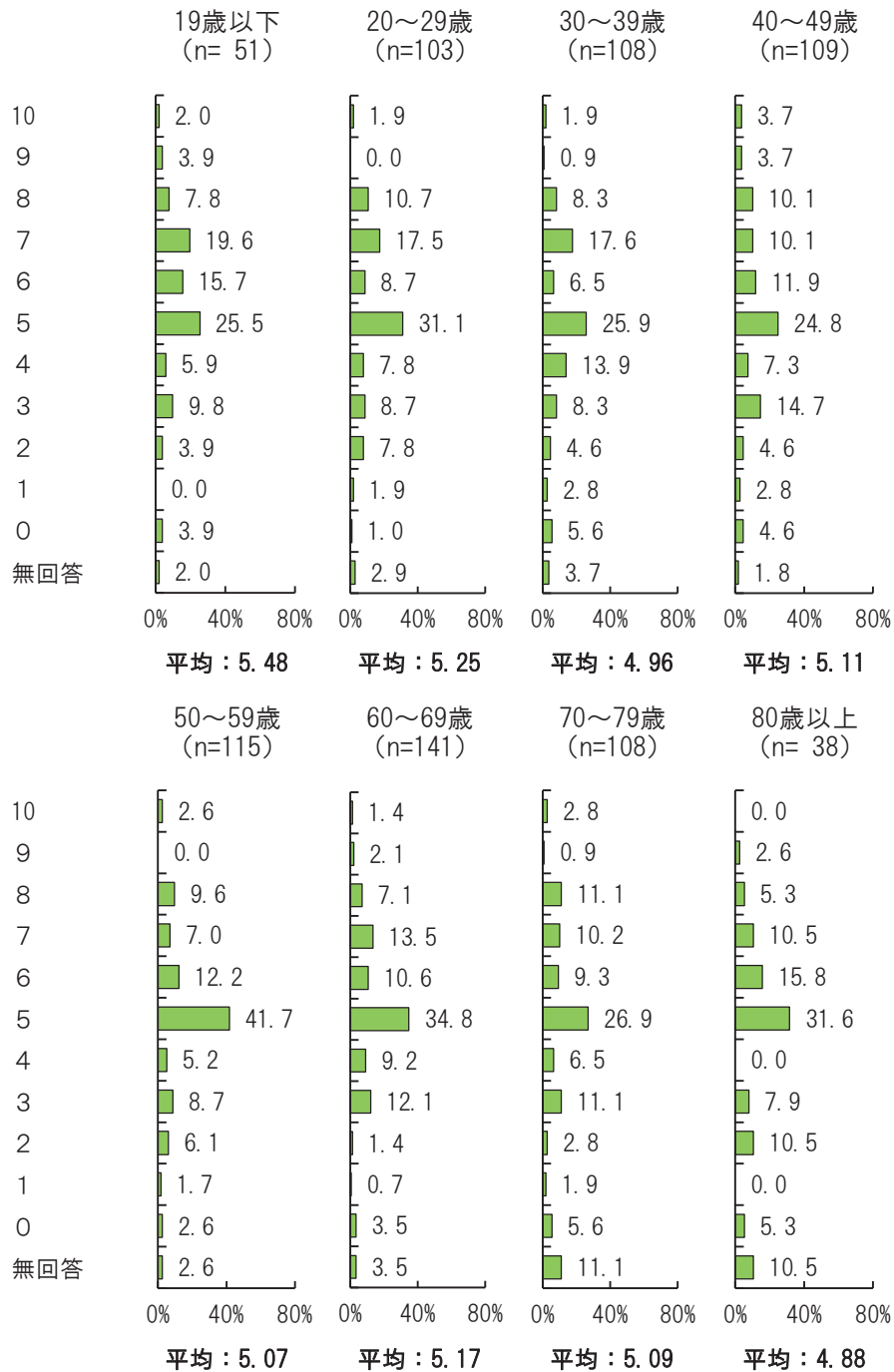
昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：大きな差異はみられません。

クロス集計（年齢別）

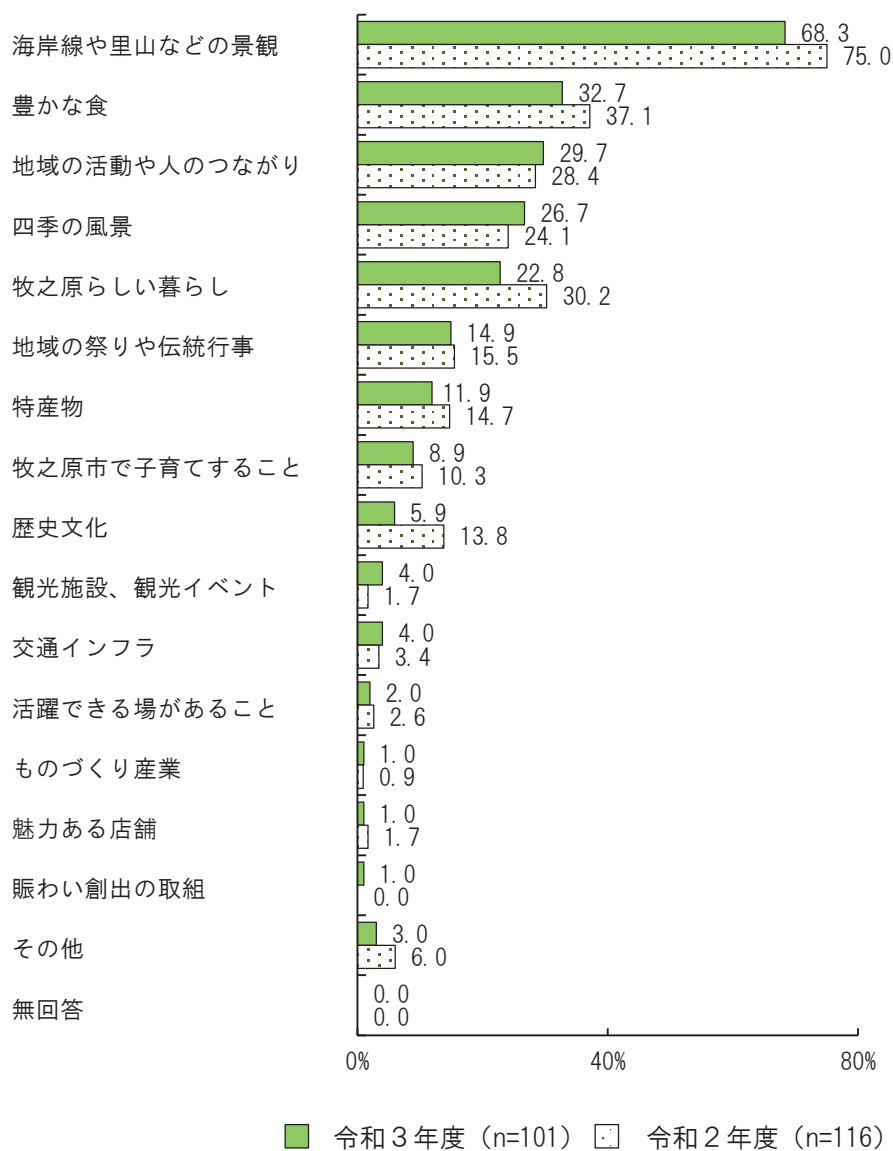


【年齢別】：50~59歳は「5」が41.7%と多くなっています。

(5) 牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由

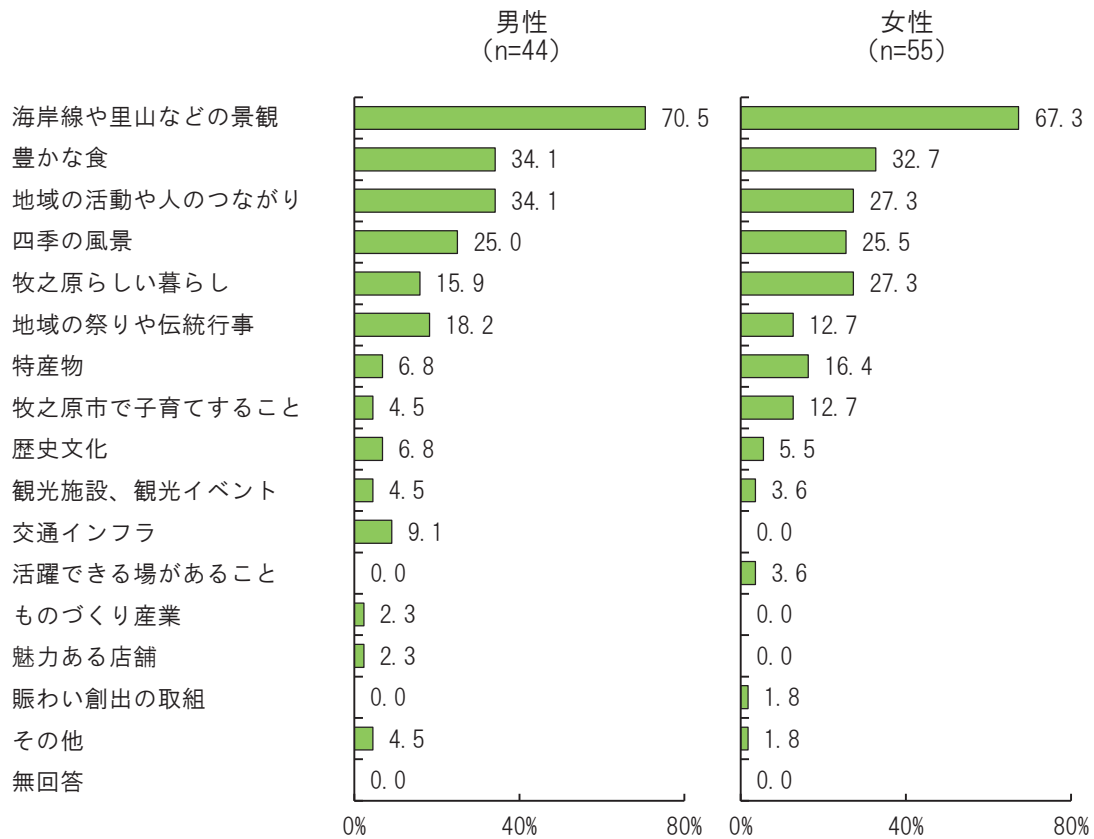
問4で「10」「9」「8」と答えた方のみ

問5 牧之原市をおすすめしたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



牧之原市のことを友人・知人におすすめしたい理由は、「海岸線や里山などの景観」が 68.3%と最も多く、次いで「豊かな食」が 32.7%、「地域の活動や人のつながり」が 29.7%などとなっています。昨年度と比較すると、「海岸線や里山などの景観」「牧之原らしい暮らし」「歴史文化」が減少しています。

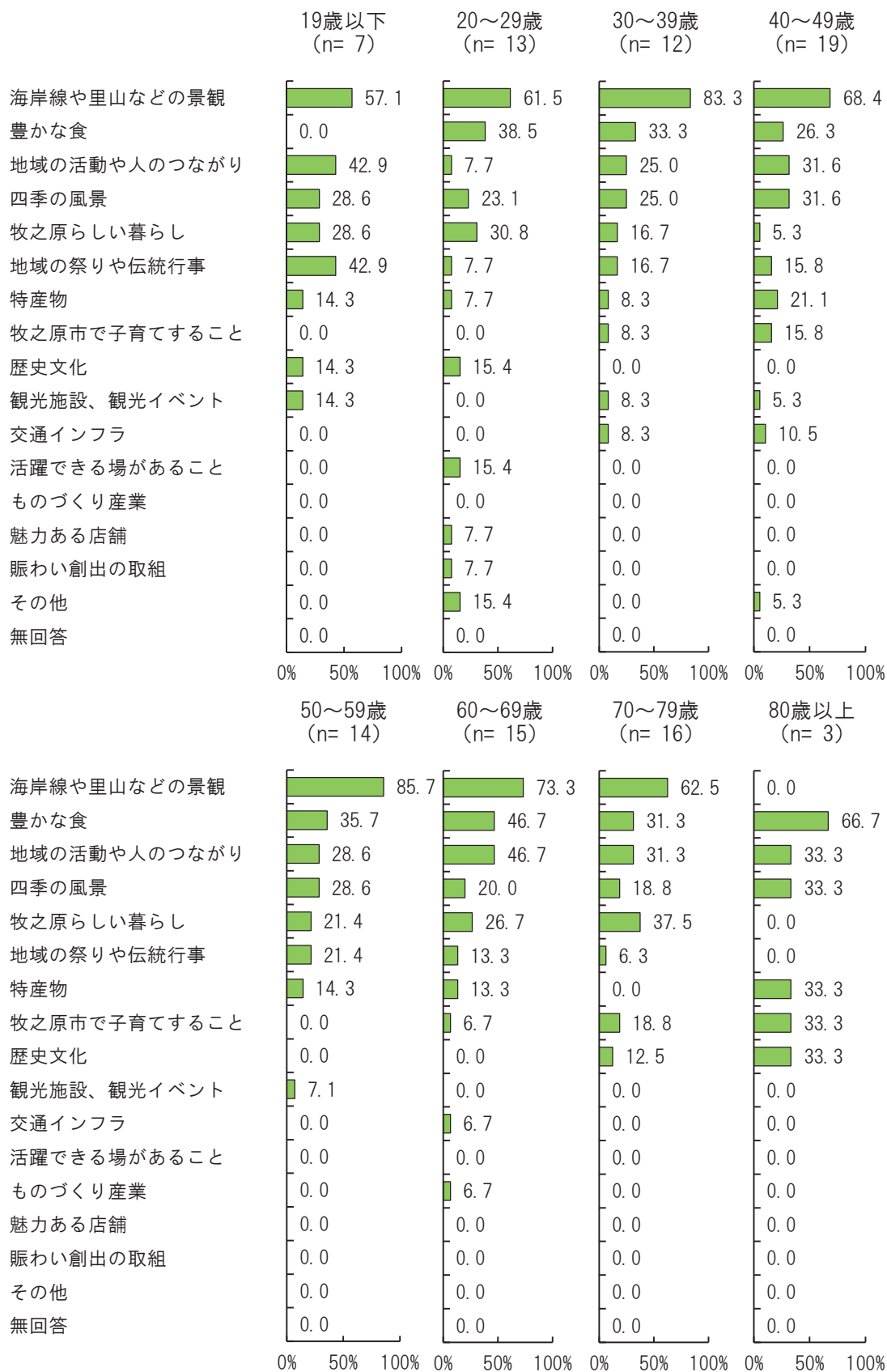
クロス集計（性別）



【性別】：男性は「地域の活動や人のつながり」「地域の祭りや伝統行事」「交通インフラ」が多くなっています。女性は「牧之原らしい暮らし」「特産物」「牧之原市で子育てすること」が多くなっています。

【年齢別】：40～49歳は「四季の風景」「特産物」が多く、「豊かな食」「牧之原らしい暮らし」が少なくなっています。60～69歳は「豊かな食」「地域の活動や人のつながり」「ものづくり産業」が多く、「牧之原で子育てすること」が6.7%と少なくなっています。70～79歳は「牧之原らしい暮らし」「歴史文化」が多く、「地域の祭りや伝統行事」「特産物」などが少なくなっています。

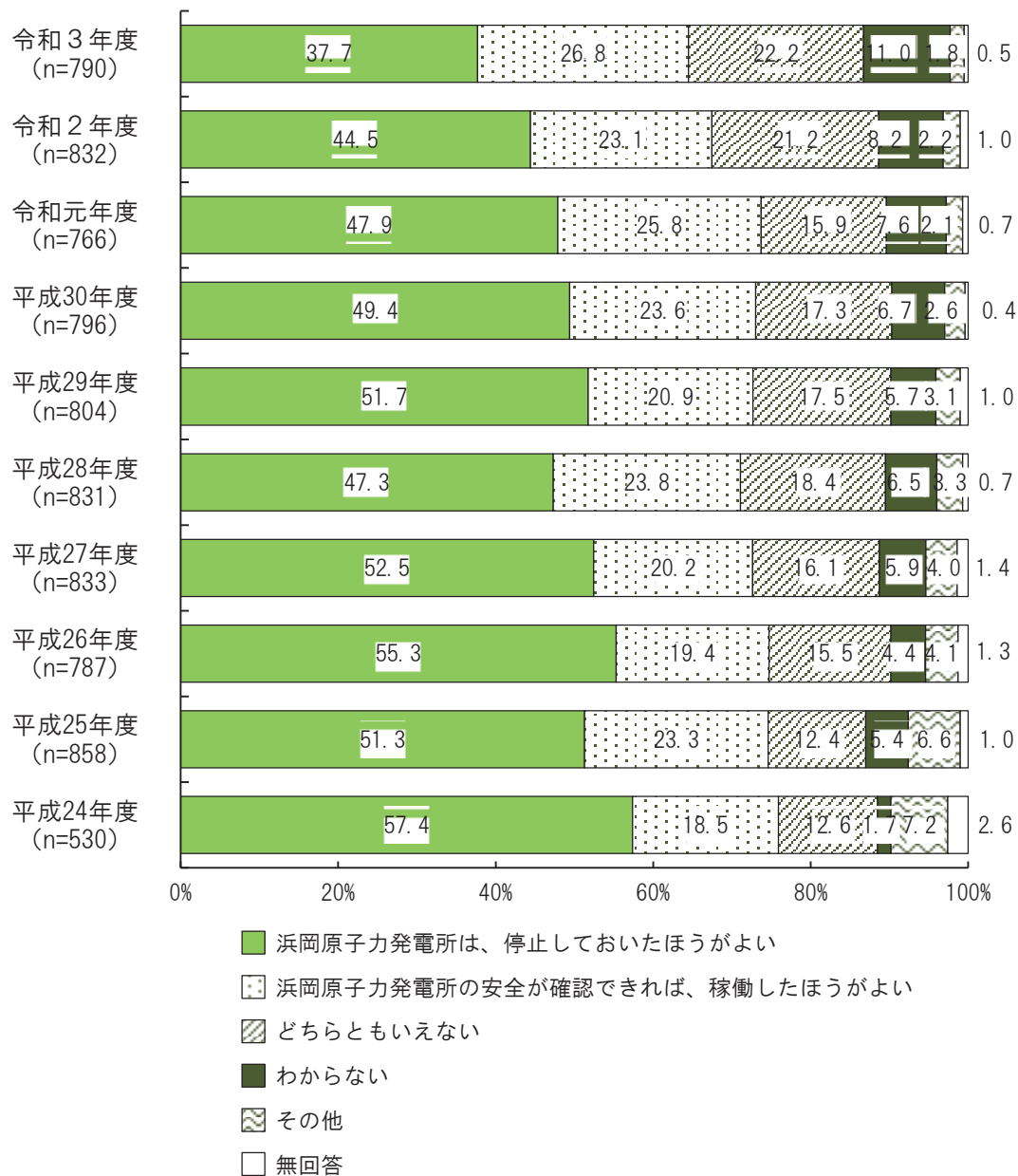
クロス集計（年齢別）



②原子力発電について

(6) 浜岡原子力発電所の今後についての考え

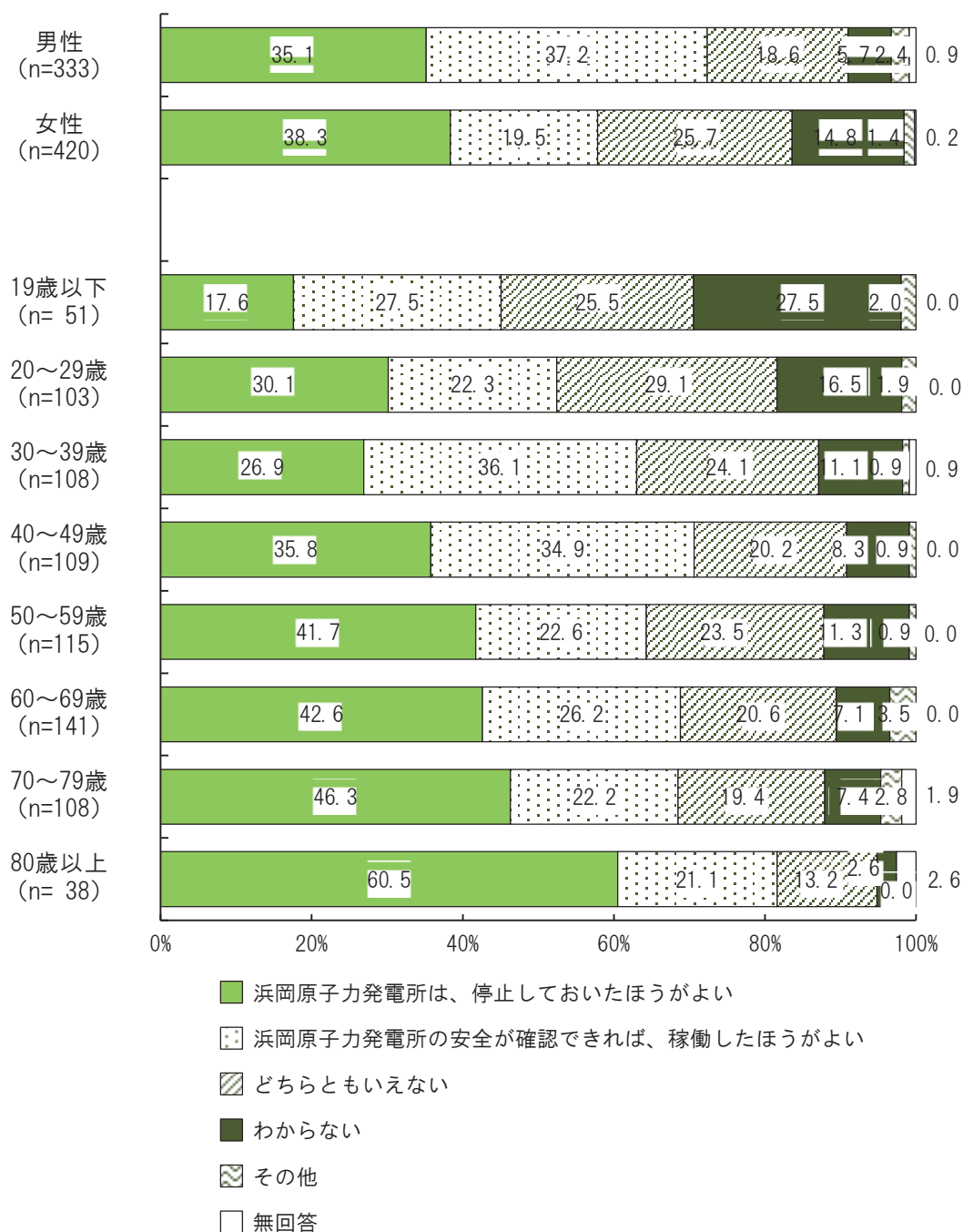
問6 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



浜岡原子力発電所の今後についての考えは、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が37.7%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が26.8%、「どちらともいえない」が22.2%などとなっています。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が6.8ポイント減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）



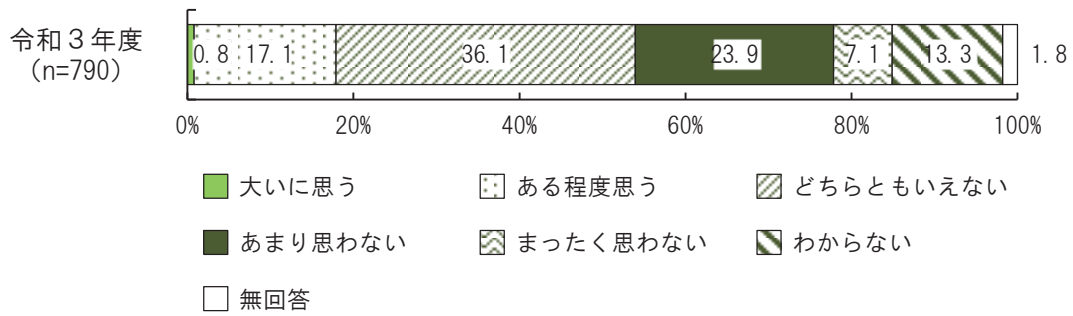
【性別】：男性は「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が 37.2%と多くなっています。女性は「どちらともいえない」「わからない」が多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「わからない」が 27.5%と多く、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が 17.6%と少なくなっています。80歳以上は「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が 60.5%と多く、「どちらともいえない」が 13.2%と少なくなっています。

③女性にやさしいまちについて

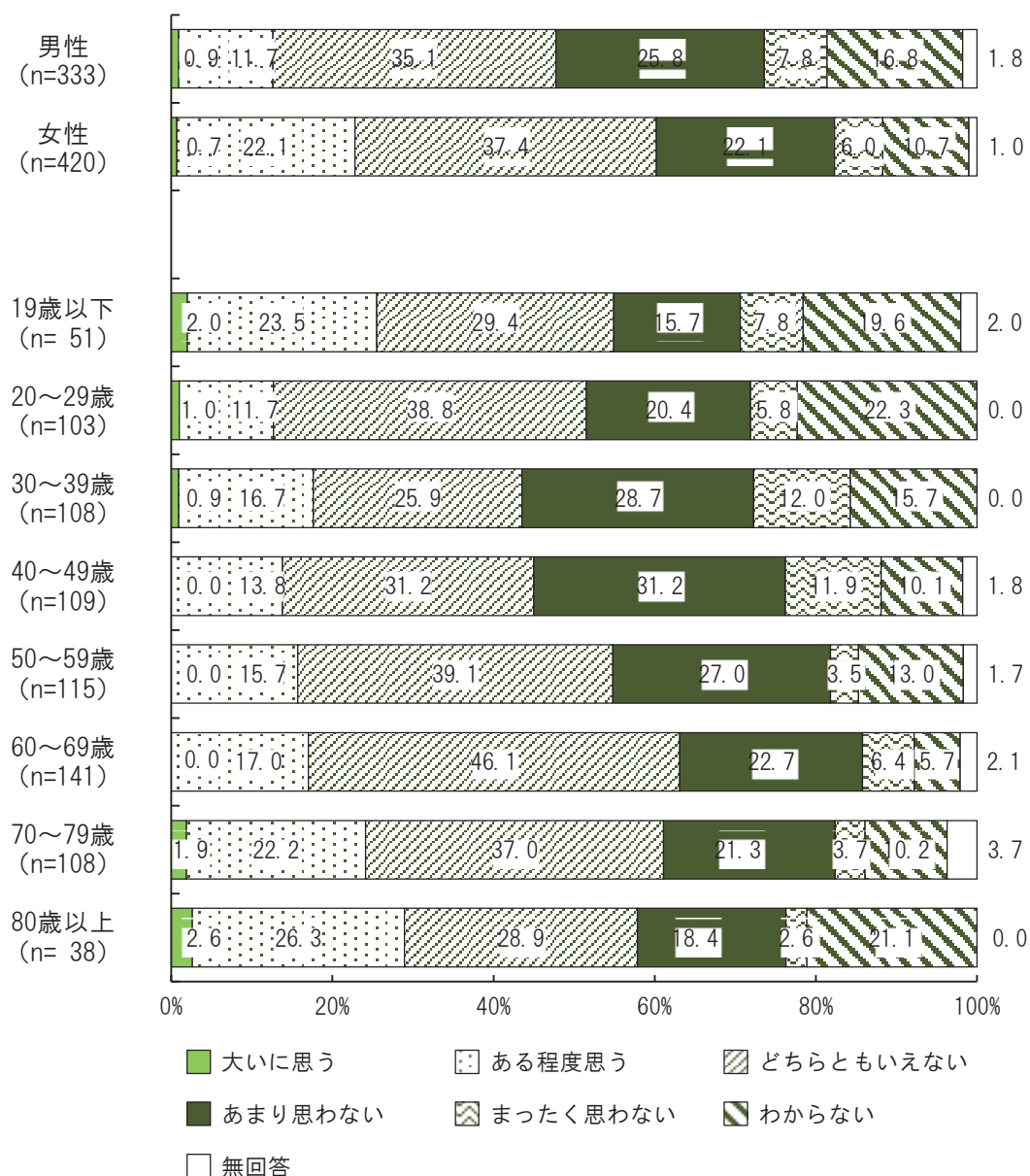
(7) 牧之原市は女性が暮らしやすいまちか

問7 あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



牧之原市は女性が暮らしやすいまちかについては、「どちらともいえない」が 36.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」が 23.9%、「ある程度思う」が 17.1%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 17.8%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 31.0%となっています。

クロス集計（性別・年齢別）

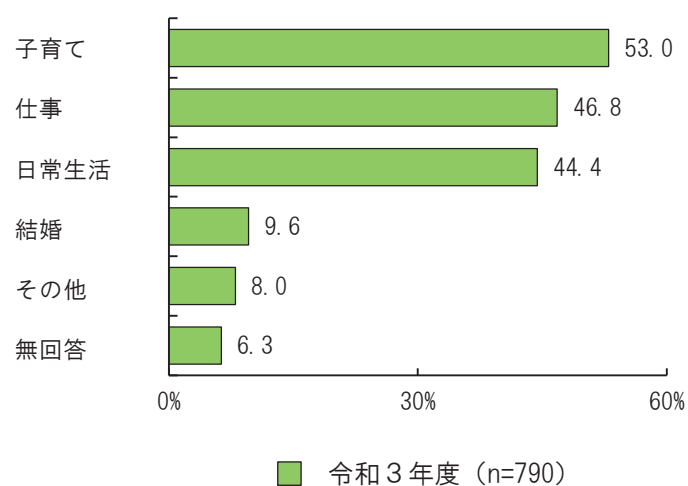


【性別】：男性は「わからない」が16.8%と多く、女性は「ある程度思う」が22.1%と多くなっています。また、『思う』は女性が22.9%と多くなっています。

【年齢別】：60～69歳は「どちらともいえない」が46.1%と多くなっています。

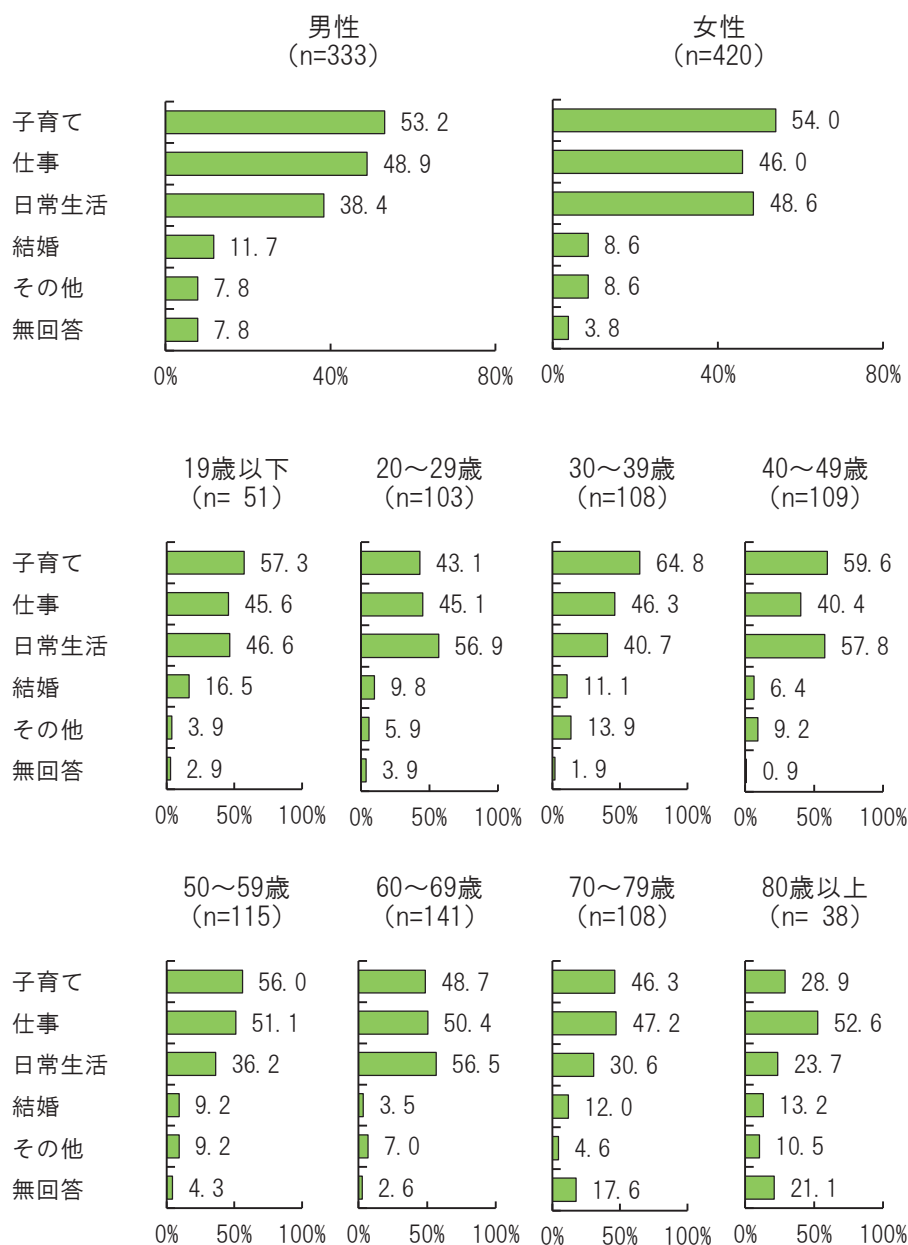
(8) 女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野

問8 あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何だと思いますか？次の中から2つ以内で選んで○印をつけてください。



女性にとって暮らしやすいまちにするために市全体で力を入れるべき分野は、「子育て」が 53.0%と最も多く、次いで「仕事」が 46.8%、「日常生活」が 44.4%などとなっています。

クロス集計（性別・年齢別）



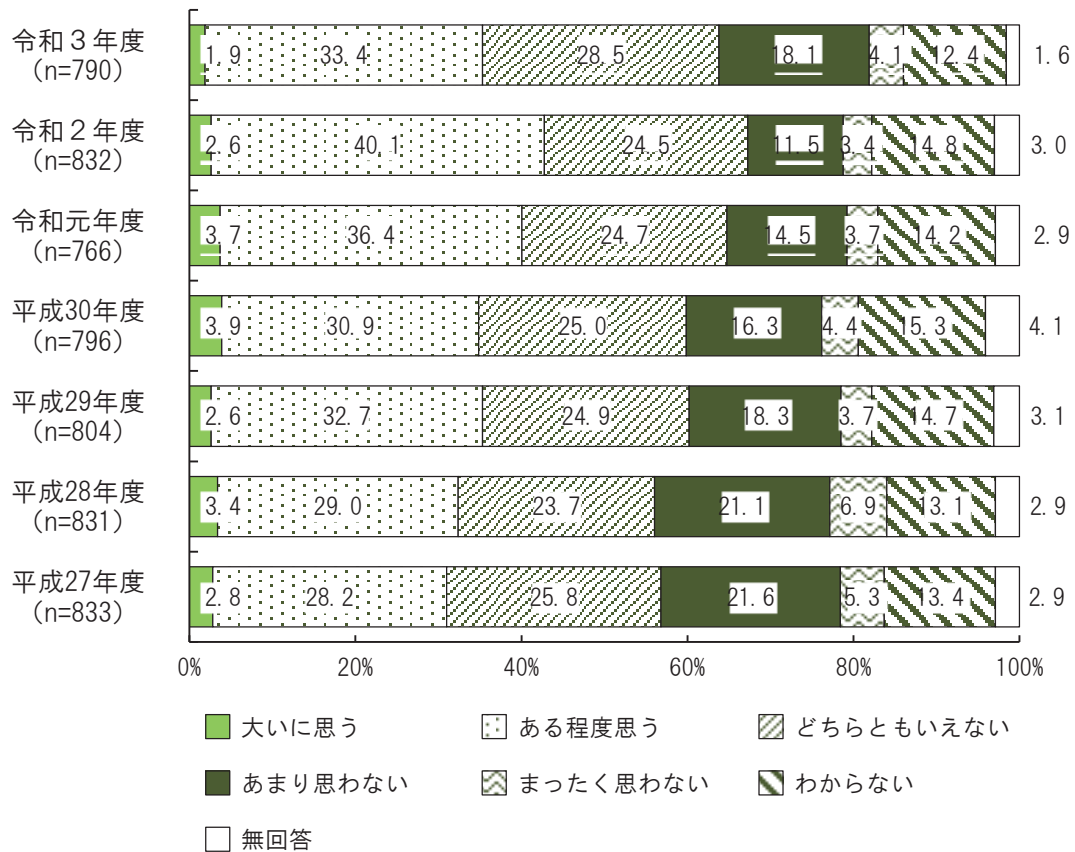
【性 別】：女性は「日常生活」が48.6%と多くなっています。

【年齢別】：30～39歳は「子育て」が64.8%と多くなっています。80歳以上は「子育て」「日常生活」が少なくなっています。

④子育て・教育環境について

(9) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か

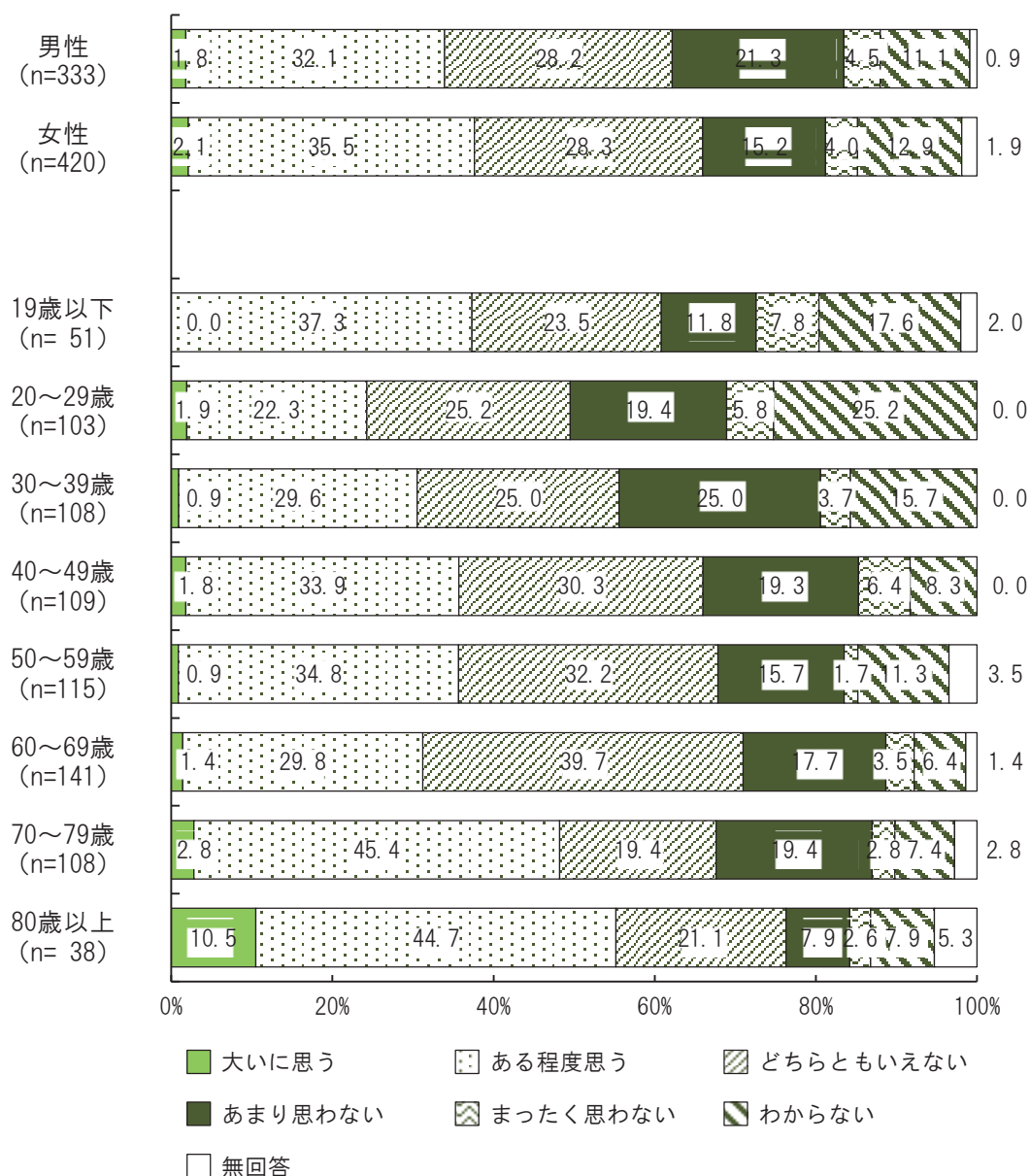
問9 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かについては、「ある程度思う」が33.4%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が28.5%、「あまり思わない」が18.1%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は35.3%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は22.2%となっています。

昨年度と比較すると、「あまり思わない」が6.6ポイント増加し、「ある程度思う」が6.7ポイント減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）

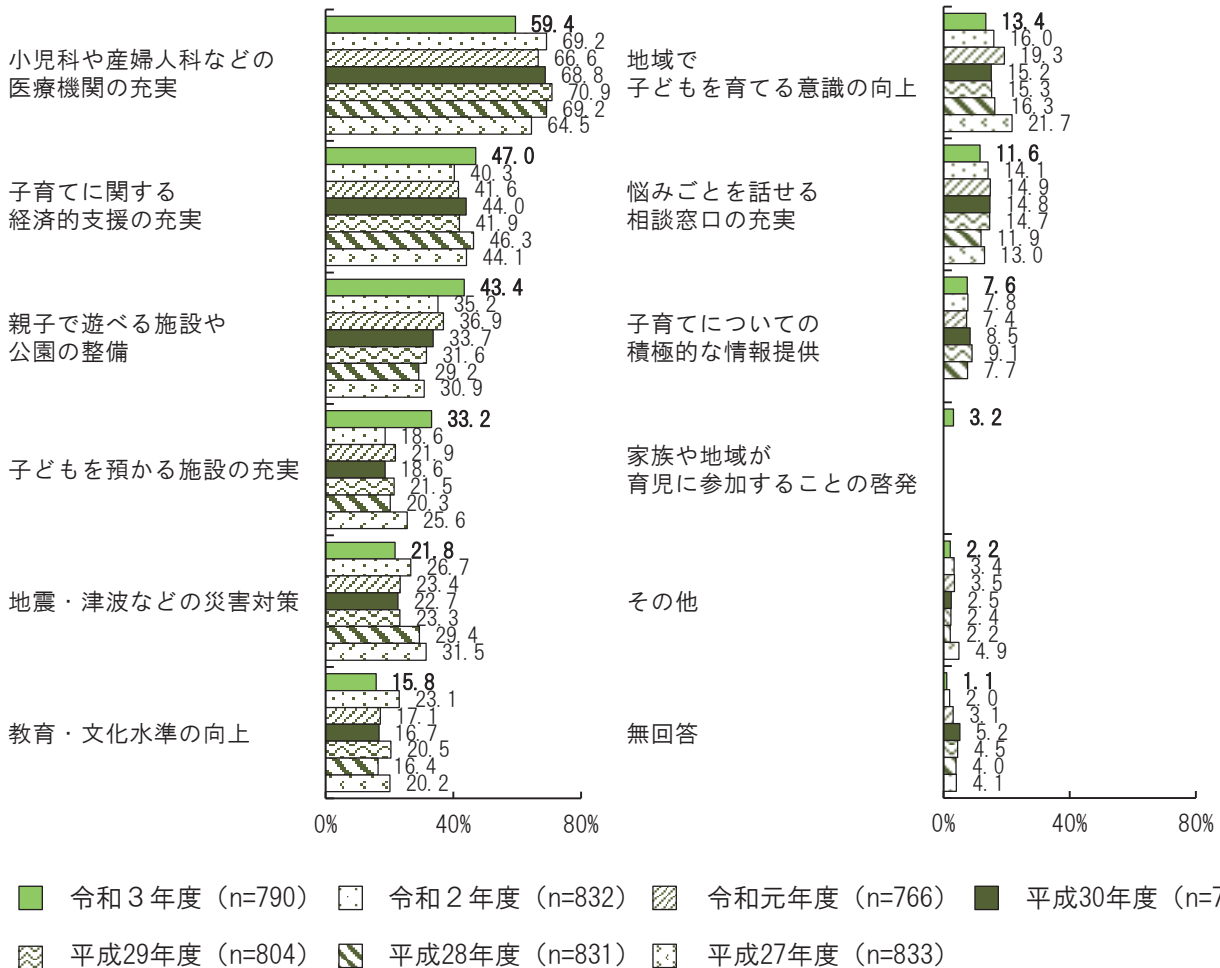


【性 別】：男性は「あまり思わない」が 21.3%と多くなっています。また、『思わない』は男性が 25.8%と多くなっています。

【年齢別】：20～29 歳は「わからない」が 25.2%と多く、「ある程度思う」が 22.3%と少なくなっています。30～39 歳は「あまり思わない」が 25.0%と多くなっています。60～69 歳は「どちらともいえない」が 39.7%と多くなっています。80 歳以上は「大いに思う」「思う」が多く、『思わない』が 10.5%と少なくなっています。

(10) 子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組

問 10 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

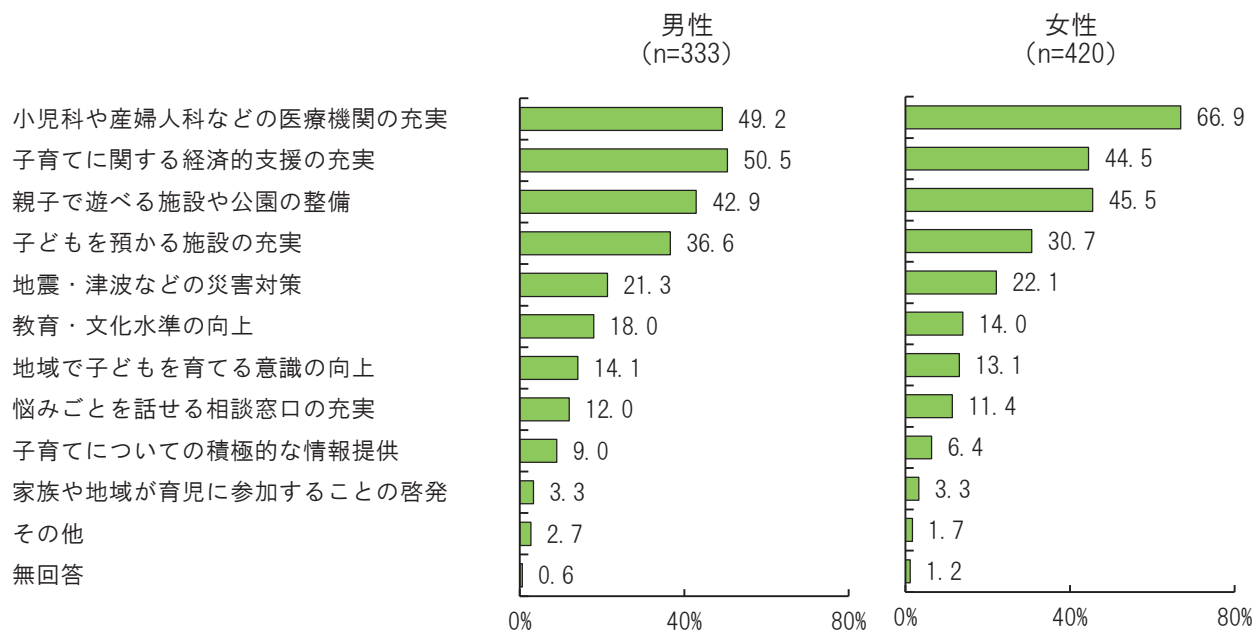


※「子育てについての積極的な情報提供」は平成28年度に追加された選択肢、「家族や地域が育児に参加することの啓発」は令和3年度に追加された選択肢です。また、「子育てに関する経済的支援の充実」は、平成27年度は「医療費の無料化」と掲載していました。

子どもを育てやすい環境にするために市が力を入れるべき取組は、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が59.4%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が47.0%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が43.4%などとなっています。

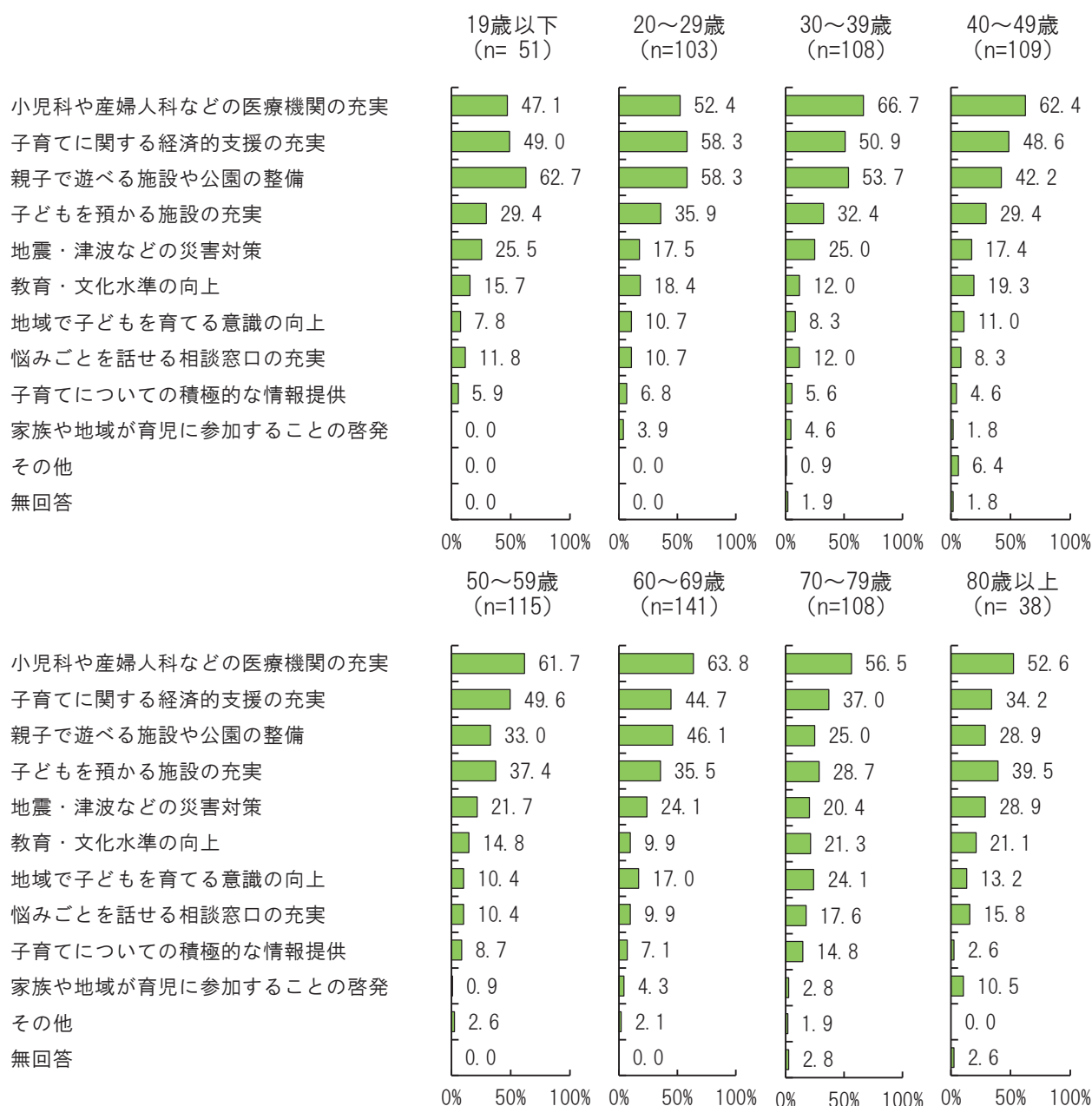
昨年度と比較すると、「子育てに関する経済的支援の充実」「親子で遊べる施設や公園の整備」「子どもを預かる施設の充実」が増加し、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」「教育・文化水準の向上」が減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「子育てに関する経済的支援の充実」「子どもを預かる施設の充実」が多くなっています。女性は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が66.9%と多くなっています。

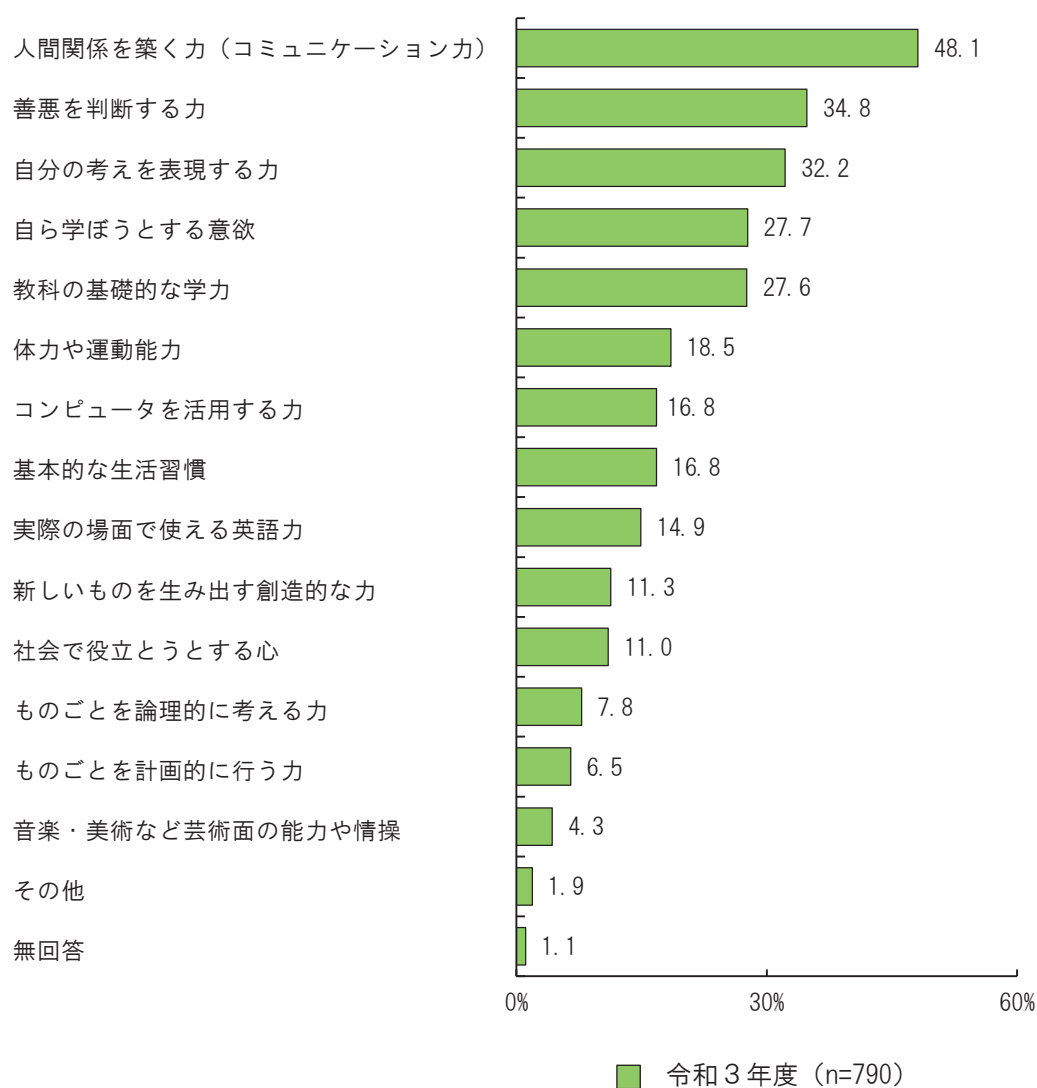
クロス集計（年齢別）



【年齢別】: 19歳以下は「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が47.1%と少なくなっています。20~29歳は「子育てに関する経済的支援の充実」が58.3%と多くなっています。70~79歳は「地域で子どもを育てる意識の向上」「子育てについての積極的な情報提供」が多くなっています。80歳以上は「家族や地域が育児に参加することの啓発」が10.5%と多くなっています。

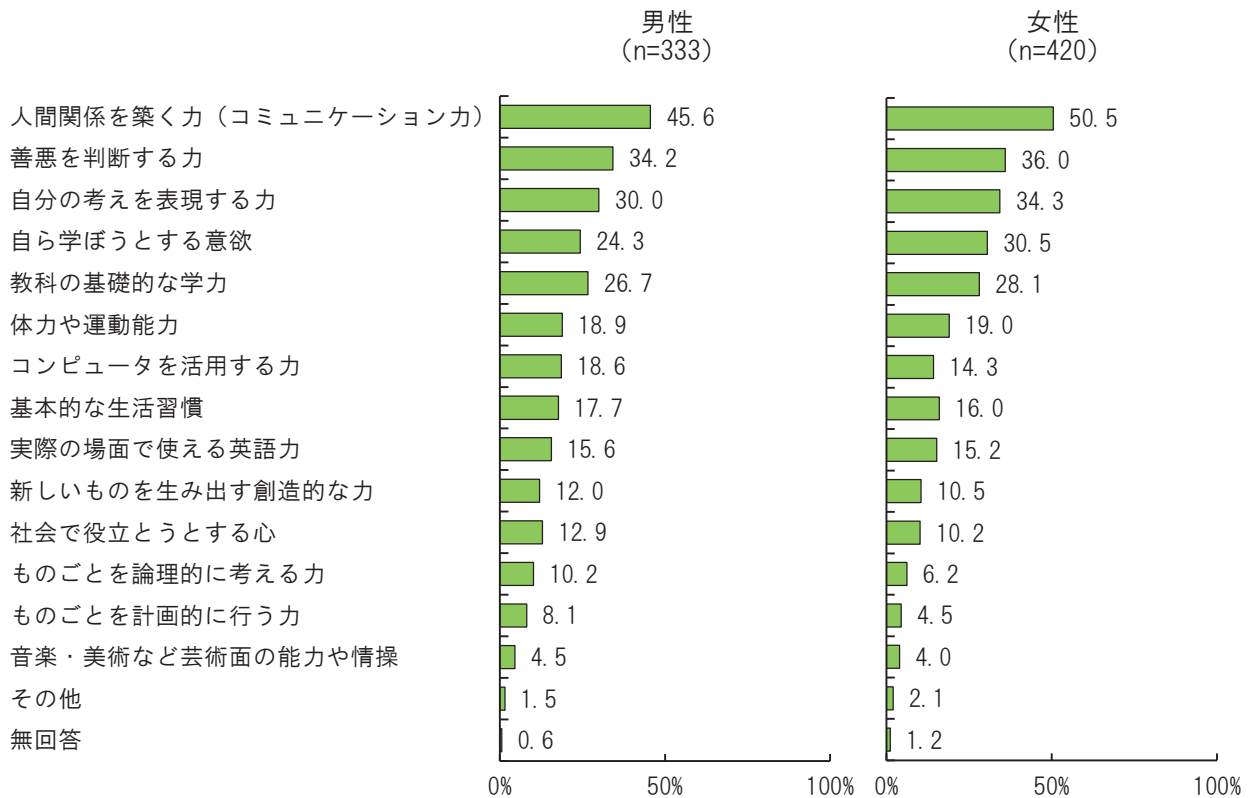
(11) 学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力

問 11 あなたは、学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が48.1%と最も多く、次いで「善悪を判断する力」が34.8%、「自分の考えを表現する力」が32.2%などとなっています。

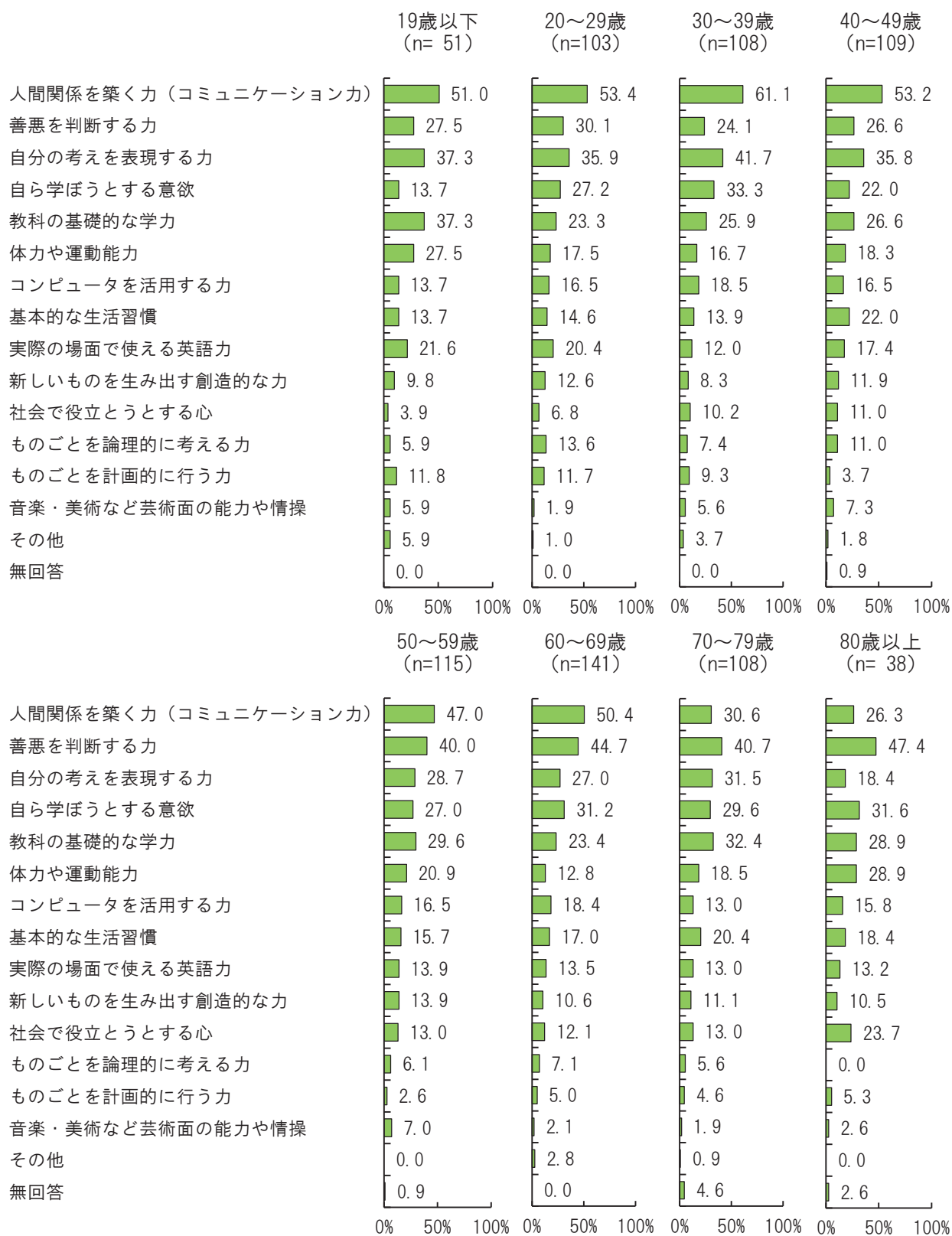
クロス集計（性別）



【性 別】：女性は「自ら学ぼうとする意欲」が 30.5%と多くなっています。

【年齢別】：19 歳以下は「自ら学ぼうとする意欲」が 13.7%と少なくなっています。30～39 歳は「人間関係を築く力（コミュニケーション力）」が 61.1%と多くなっています。80 歳以上は「社会で役立とうとする心」が 23.7%と多く、「自分の考えを表現する力」「ものごとを論理的に考える力」が少なくなっています。

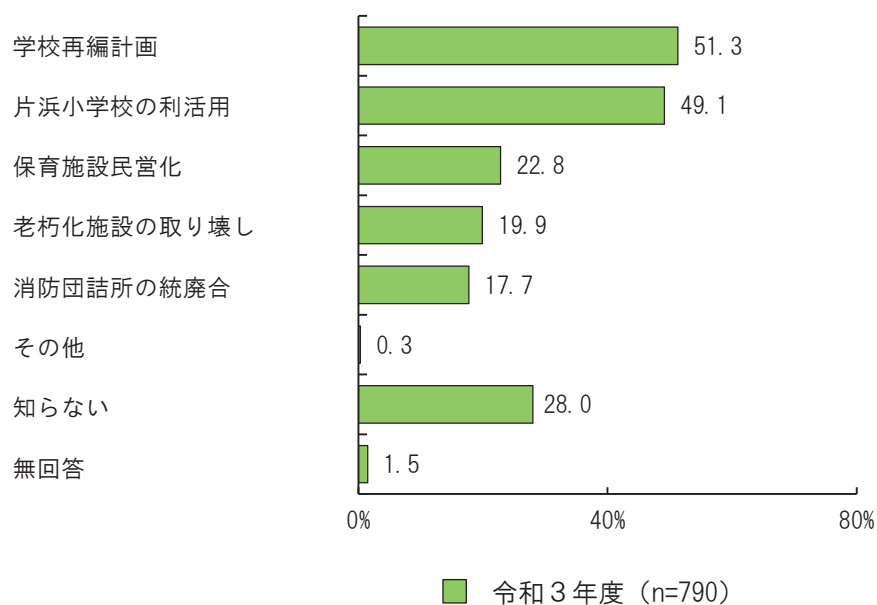
クロス集計（年齢別）



⑤公共施設の最適化について

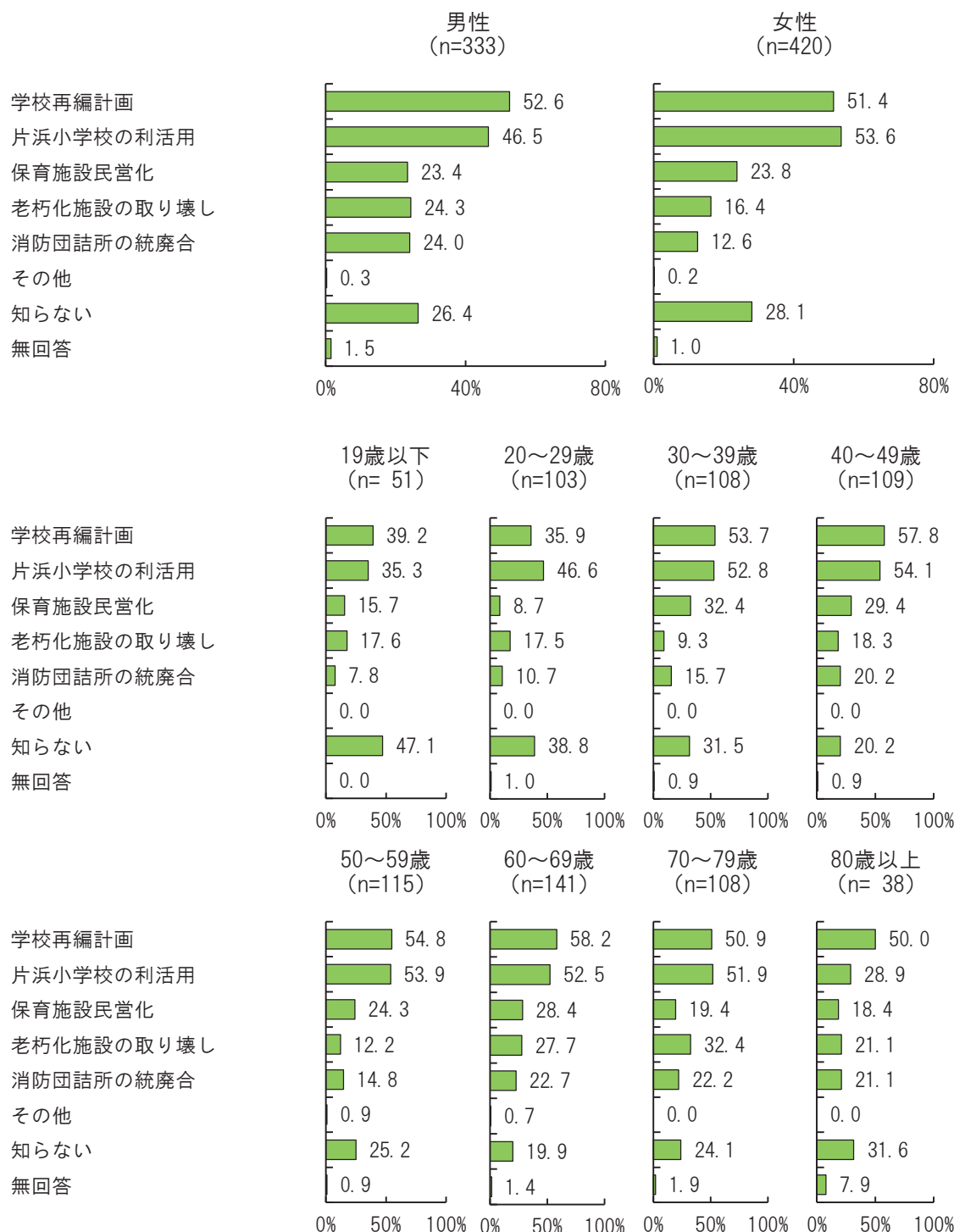
(12) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているもの

問 12 牧之原市では、「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組で知っているものは、「学校再編計画」が51.3%と最も多く、次いで「片浜小学校の利活用」が49.1%、「保育施設民営化」が22.8%などとなっています。一方、「知らない」は28.0%となっています。

クロス集計（性別・年齢別）

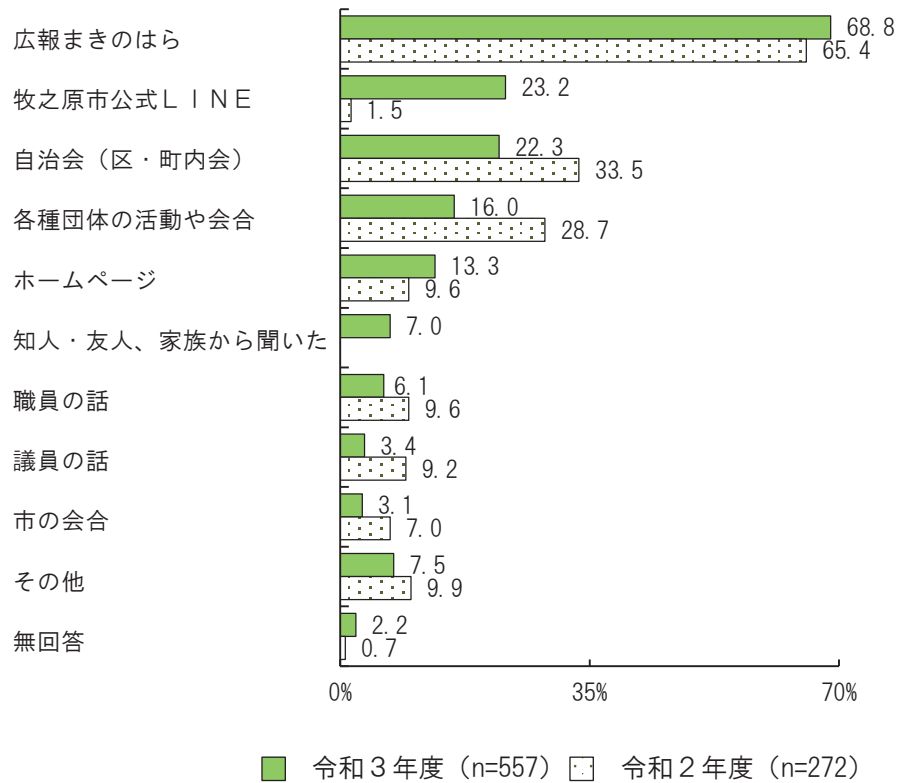


【性別】：男性は「老朽化施設の取り壊し」「消防団詰所の統廃合」が多く、女性は「片浜小学校の利活用」が53.6%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「知らない」が47.1%と多くなっています。20～29歳は「保育施設民営化」が8.7%と少なくなっています。80歳以上は「片浜小学校の利活用」が28.9%と少なくなっています。

(13) 市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組の情報源

問12で「知らない」以外の何らかの回答をした方のみ

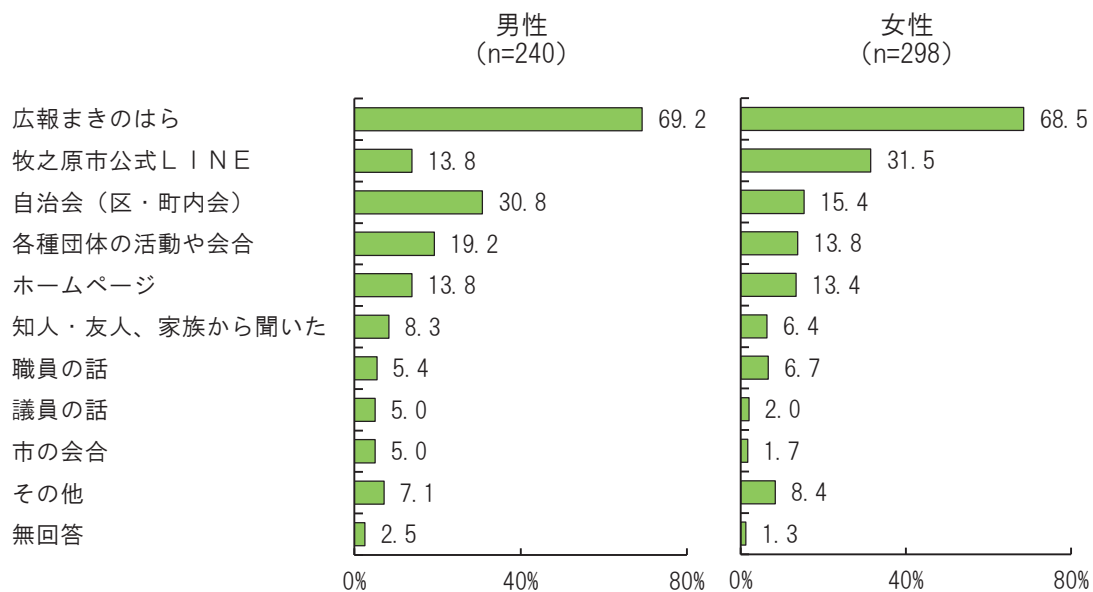
問13 その情報を何で見聞きしましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

※「知人・友人、家族から聞いた」は、その他の内容に多く記載されていたため、新たに追加された選択肢です。

市が行っている「公共施設の最適化」に対応するための取組の情報源は、「広報まきのほら」が68.8%と最も多く、次いで「牧之原市公式LINE」が23.2%、「自治会（区・町内会）」が22.3%などとなっています。

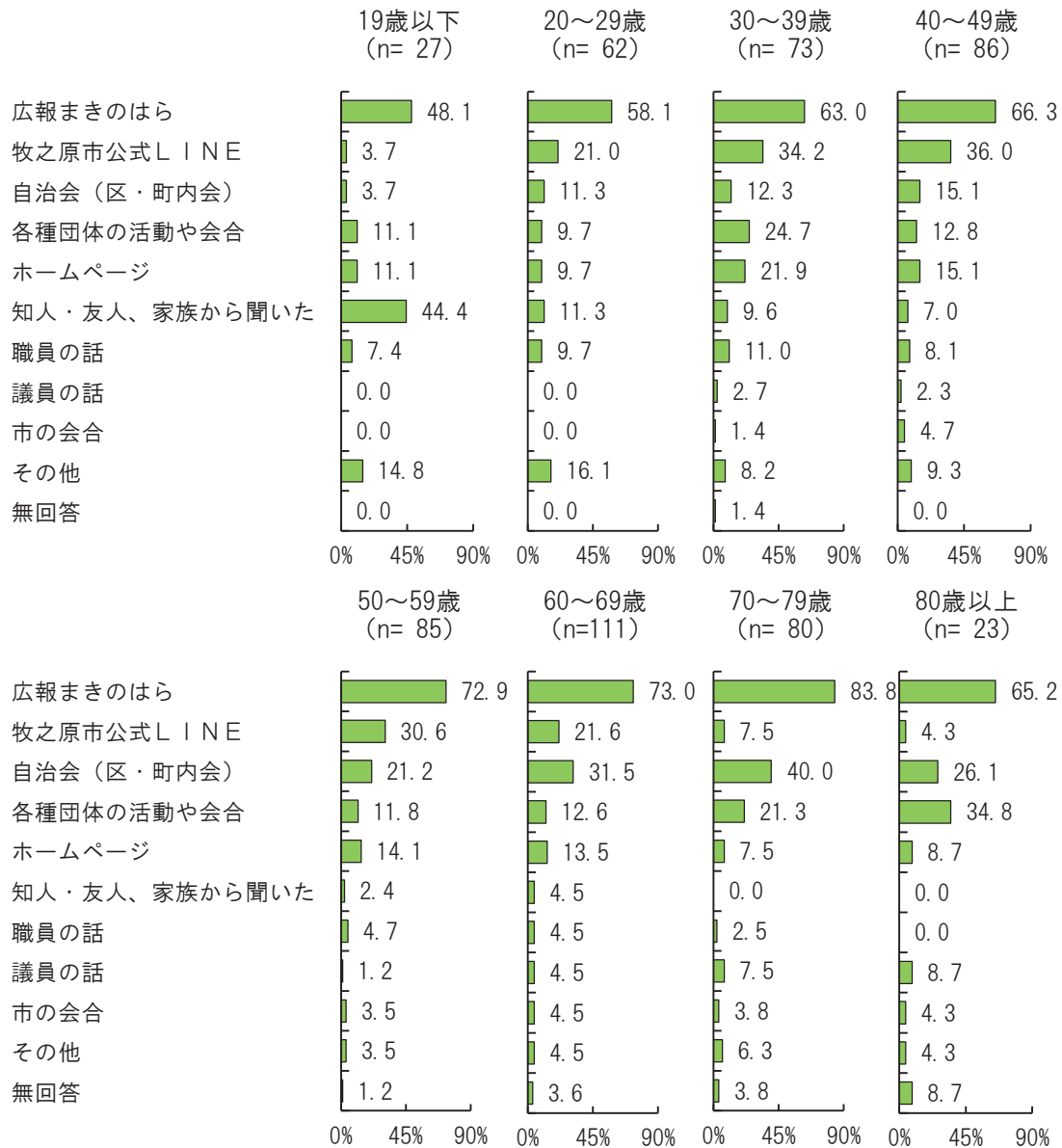
昨年度と比較すると、「牧之原市公式LINE」が21.7ポイント増加し、「自治会（区・町内会）」「各種団体の活動や会合」「議員の話」が減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「自治会（区・町内会）」「各種団体の活動や会合」が多く、女性は「牧之原市公式LINE」が31.5%と多くなっています。

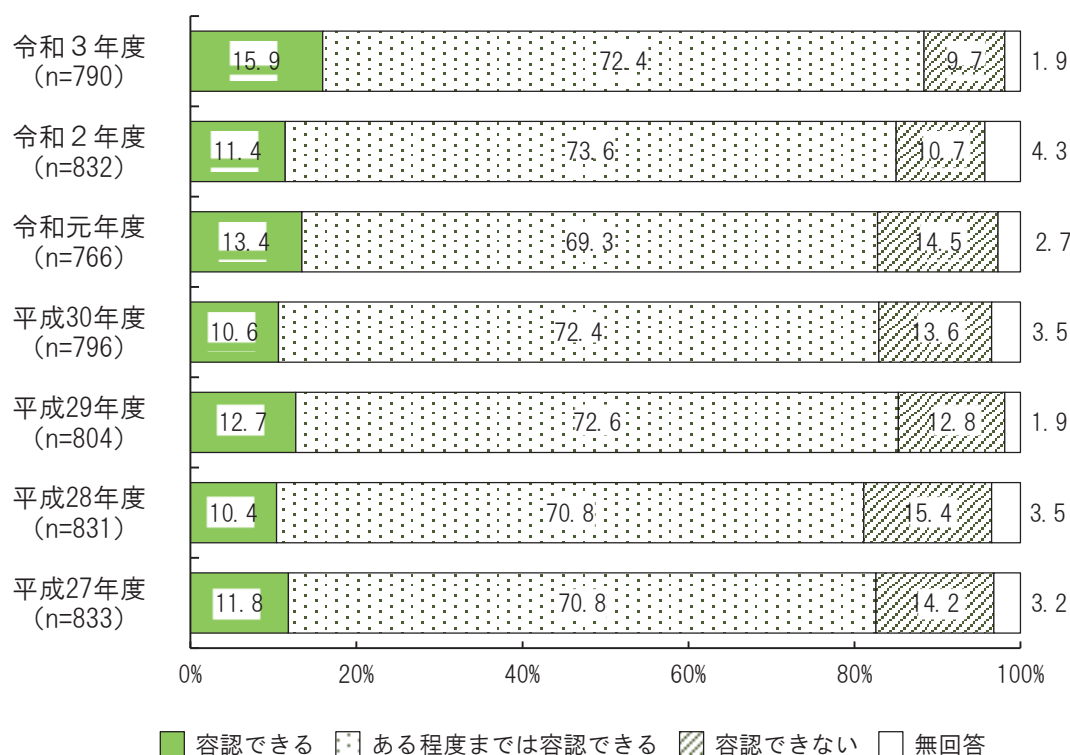
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「知人・友人、家族から聞いた」が44.4%と多く、「広報まきのほら」「自治会（区・町内会）」が少なくなっています。30~39歳は「ホームページ」が21.9%と多くなっています。70~79歳は「広報まきのほら」「自治会（区・町内会）」が多くなっています。80歳以上は「各種団体の活動や会合」が34.8%と多くなっています。

(14)「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

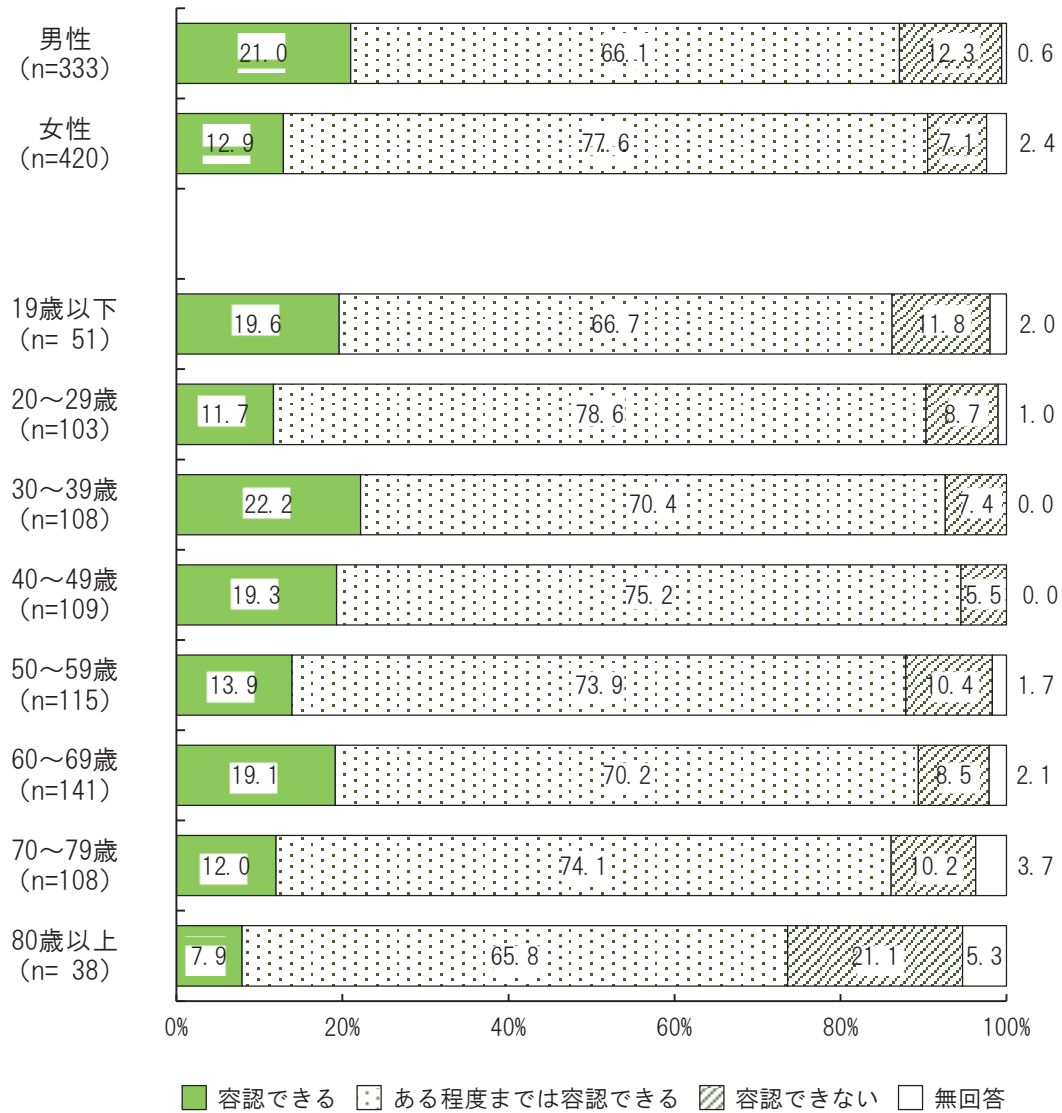
問 14 「公共施設の最適化」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



「公共施設の最適化」による施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が72.4%と最も多く、次いで「容認できる」が15.9%、「容認できない」が9.7%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



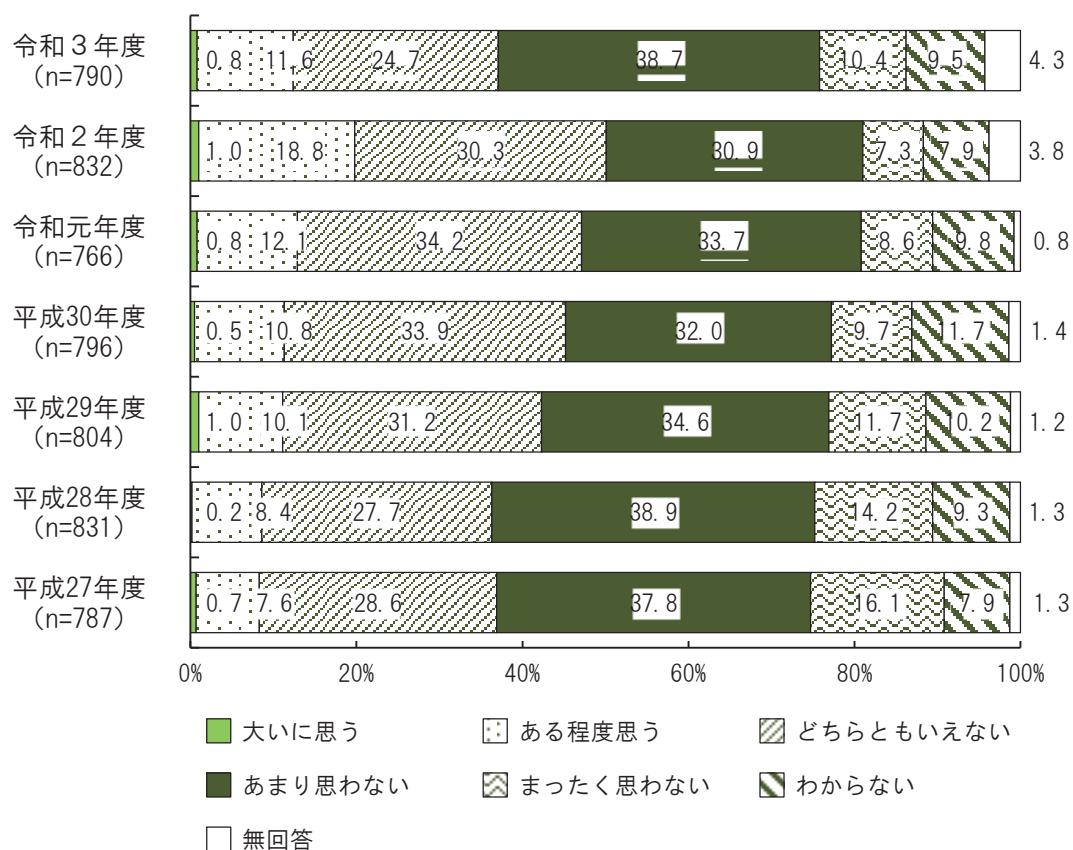
【性 別】：男性は「容認できる」「容認できない」が多く、女性は「ある程度までは容認できる」が77.6%と多くなっています。

【年齢別】：80歳以上は「容認できない」が21.1%と多くなっています。

⑥産業・雇用について

(15) 市の産業を全体的に見て活力があると思うか

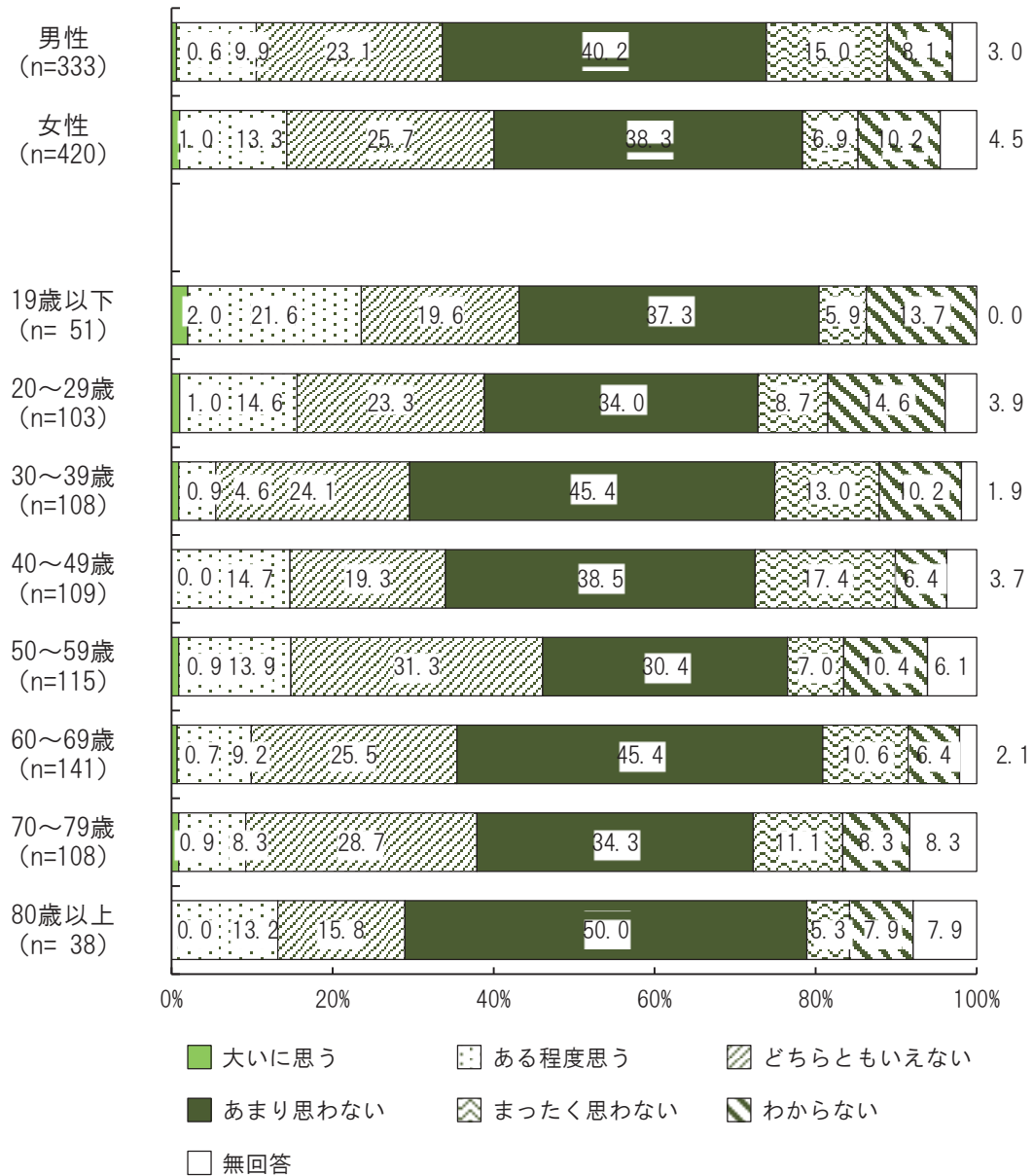
問 15 あなたは、市の産業を全体的に見て、活力(元気)があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。



市の産業を全体的に見て活力があると思うかについては、「あまり思わない」が38.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24.7%、「ある程度思う」が11.6%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は12.4%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は49.1%となっています。

昨年度と比較すると、「あまり思わない」「思わない」が増加し、「ある程度思う」「どちらともいえない」が減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）

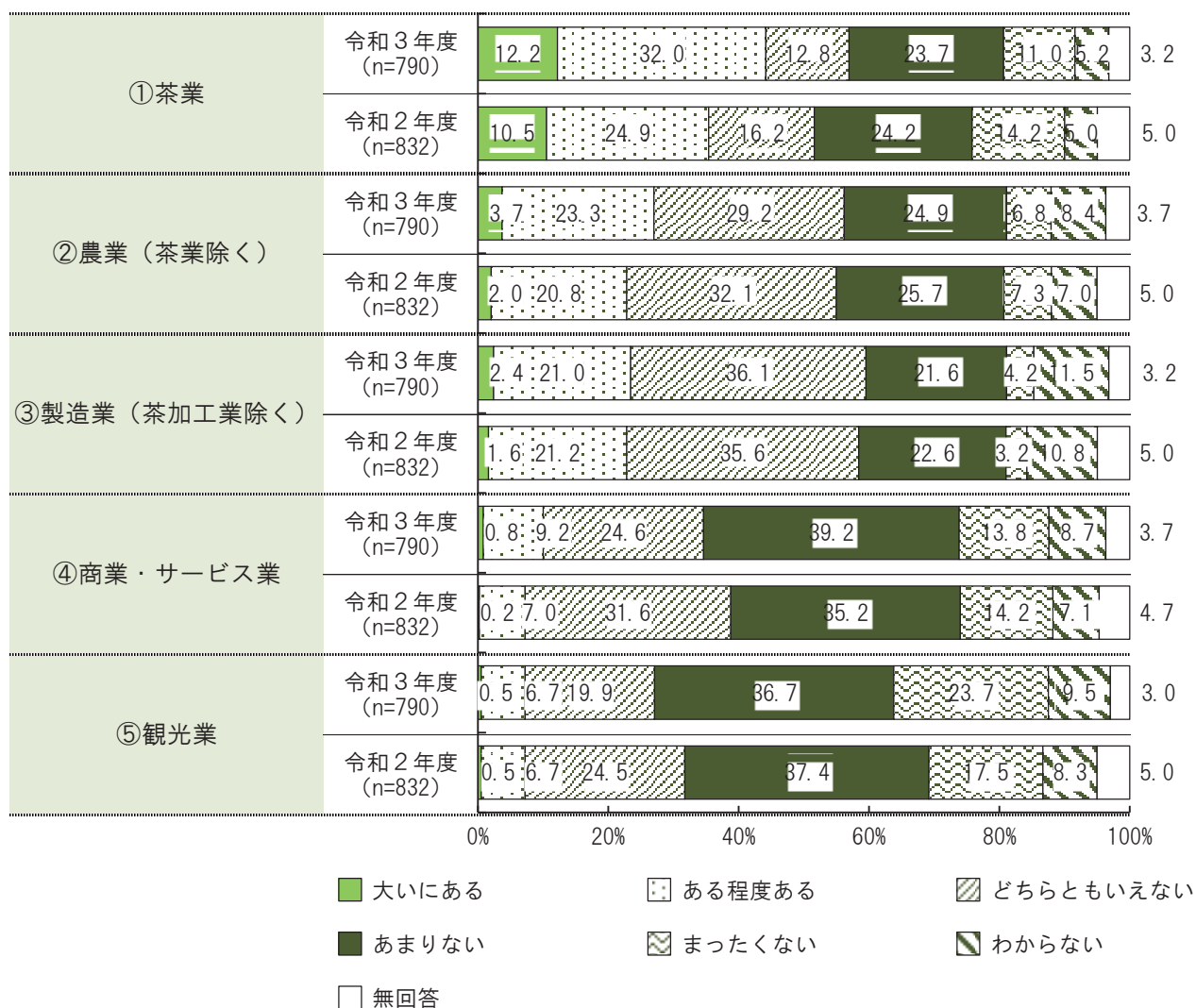


【性 別】：男性は「まったく思わない」「思わない」が多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「ある程度思う」が21.6%と多くなっています。50～59歳は「思わない」が37.4%と少なくなっています。また、「思う」は19歳以下が23.5%と多くなっています。

(16) 牧之原市のどの産業に活力があると思うか

問16 あなたは、市のどの産業に活力があると思いますか。各産業に1つずつ○印をつけてください。



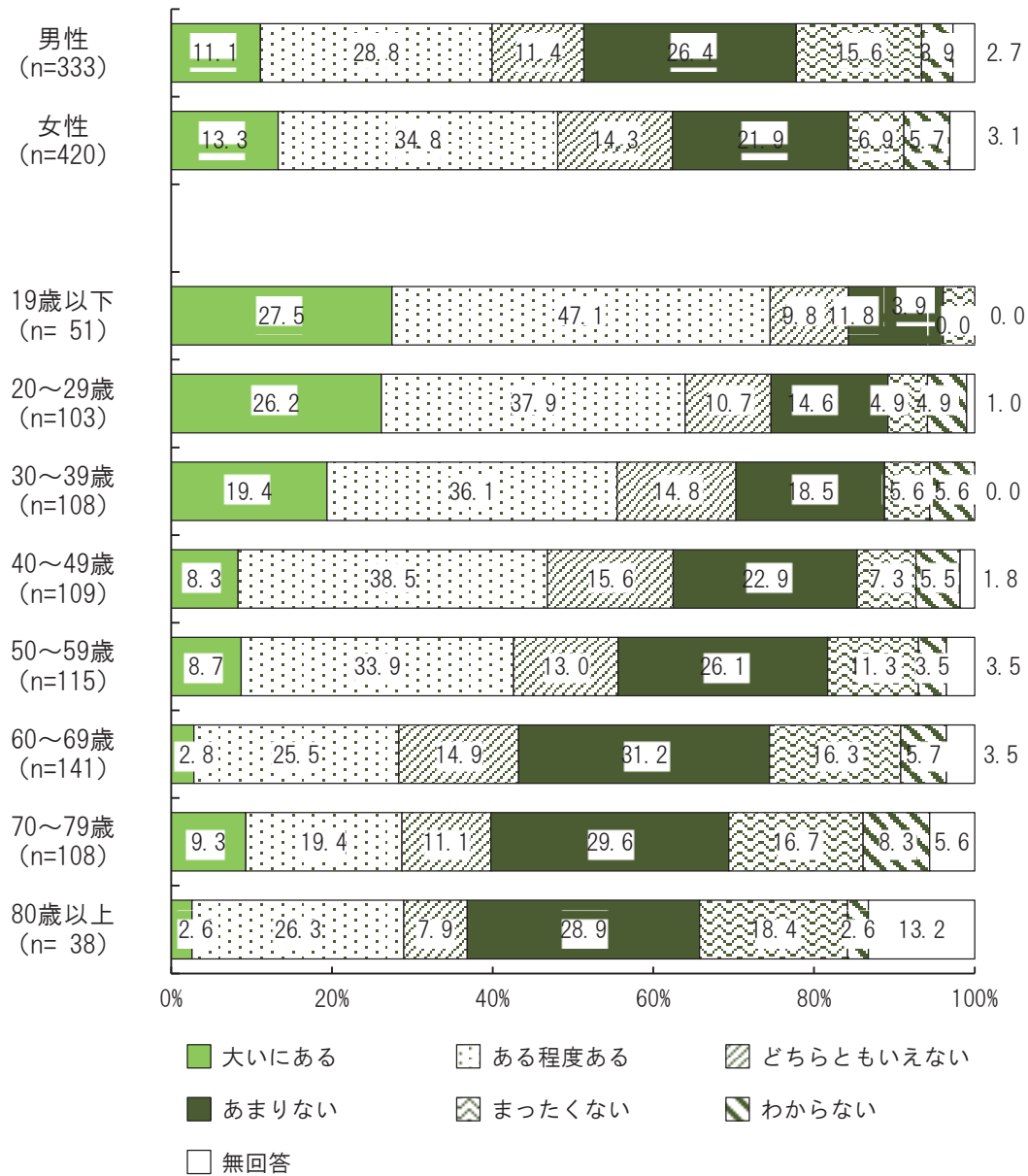
牧之原市のどの産業に活力があると思うかについては、「大いにある」が《①茶業》において12.2%と最も多く、『ある』（「大いにある」＋「ある程度ある」）は44.2%となります。

「まったくない」が《⑤観光業》においては23.7%と最も多く、『ない』（「あまりない」＋「まったくない」）は60.4%となります。

昨年度と比較すると、《①茶業》において「ある程度ある」が7.1ポイント、《⑤観光業》においては「まったくない」が6.2ポイント増加しています。《④商業・サービス業》においては「どちらともいえない」が7.0ポイント減少しています。

クロス集計（性別・年齢別）

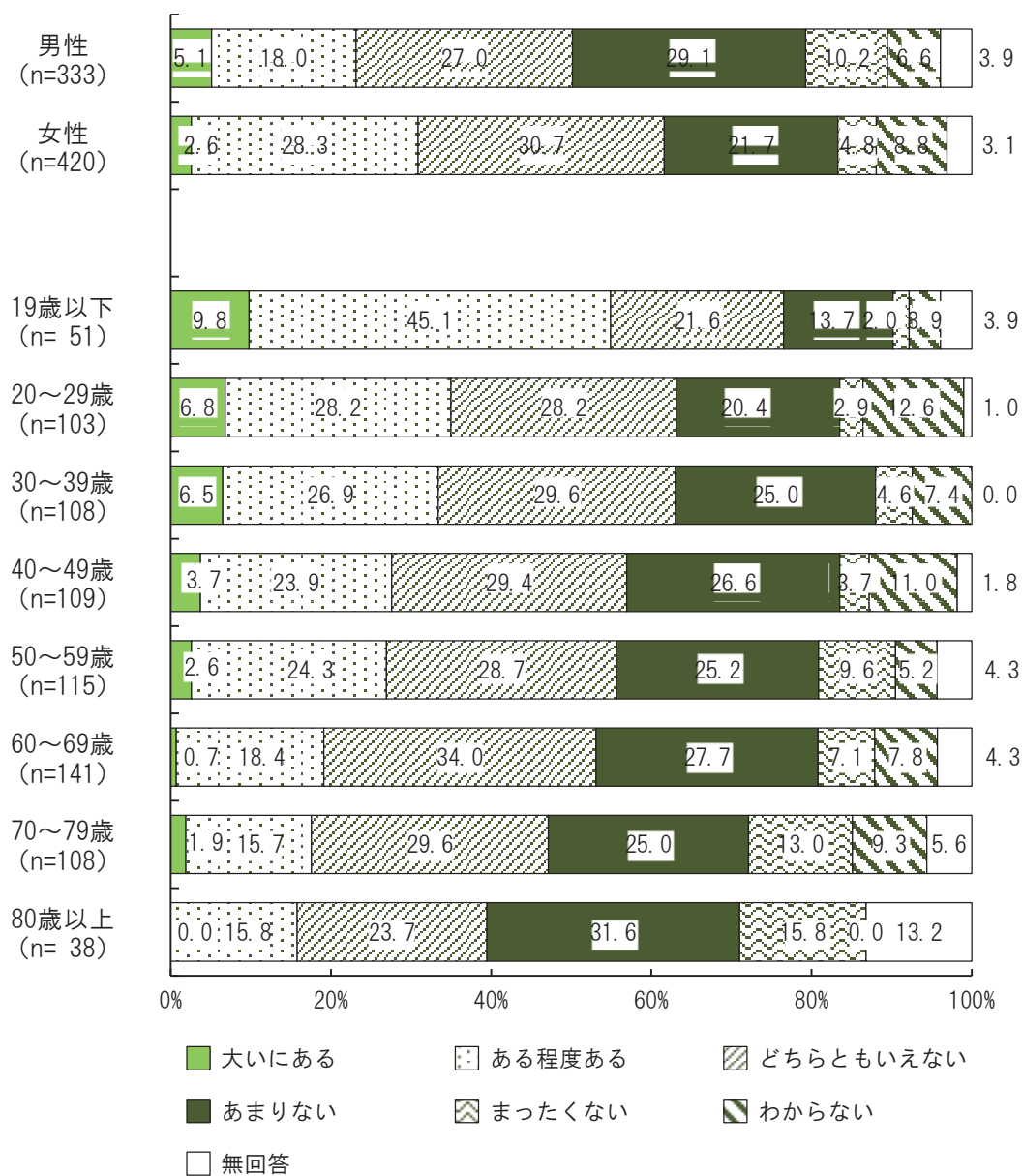
《①茶業》



【性 別】：男性は「まったくない」が15.6%と多く、女性は「ある程度ある」が34.8%と多くなっています。また、『ない』は男性が42.0%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「ある程度ある」が47.1%と多くなっています。70～79歳は「ある程度ある」が19.4%と少なくなっています。また、『ある』は19歳以上が74.5%と多く、年代が下がるごとに『ある』が多い傾向となっています。

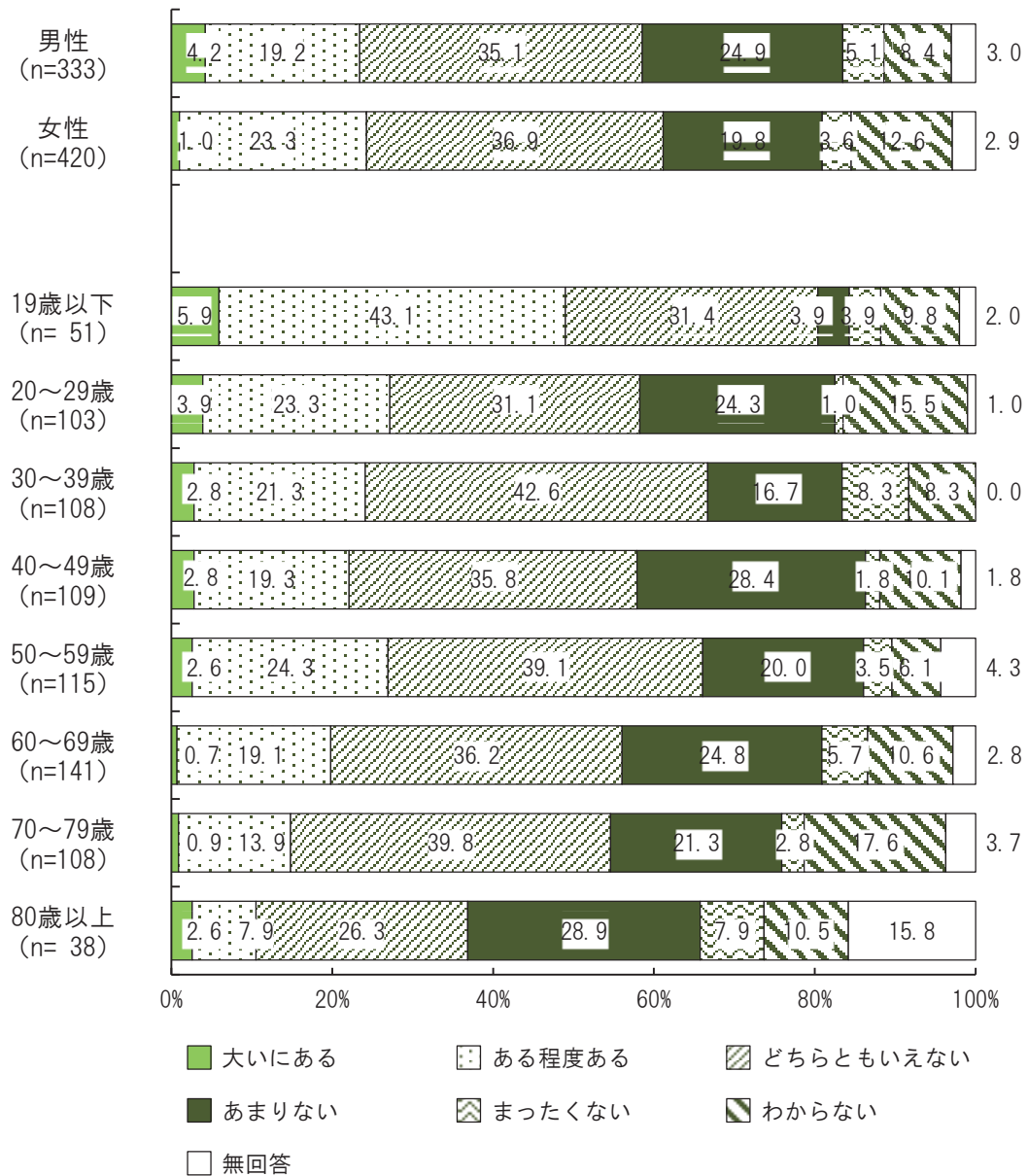
《②農業（茶業除く）》



【性 別】：男性は「あまりない」「まったくない」が多く、女性は「ある程度ある」が28.3%と多くなっています。また、『ない』は男性が39.3%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「ある程度ある」が45.1%と多く、「あまりない」が13.7%と少なくなっています。また、『ある』は19歳以下が54.9%と多くなっています。『ない』は80歳以上が47.4%と多く、19歳以下が15.7%と少なくなっています。また、年代が下がるごとに『ある』が多い傾向となっています。

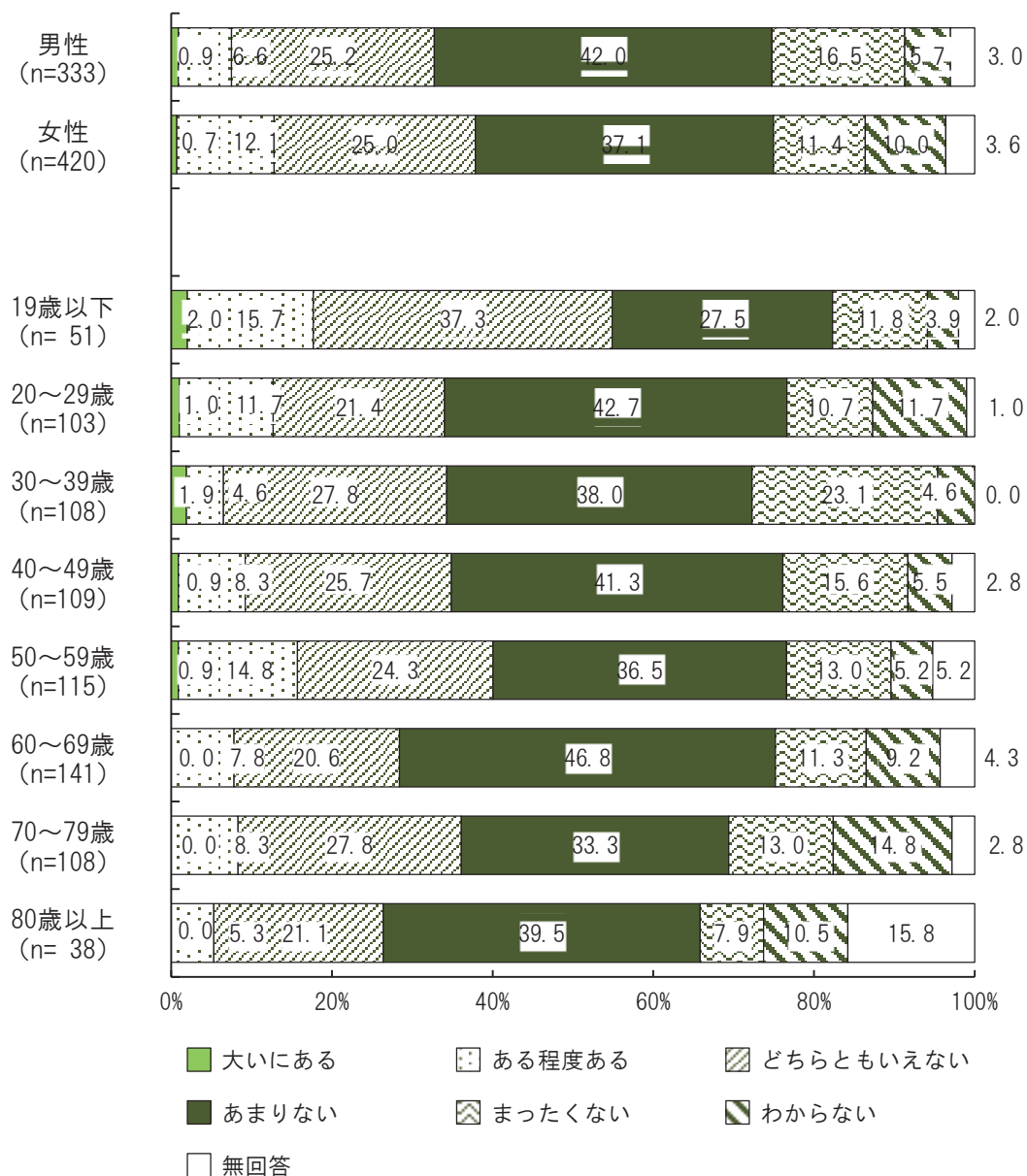
＜③製造業（茶加工業除く）＞



【性 別】：男性は「あまりない」が24.9%と多くなっています。また、『ない』は男性が30.0%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「ある程度ある」が43.1%と多く、「あまりない」が3.9%と少なくなっています。80歳以上は「ある程度ある」が7.9%と少なくなっています。また、『ある』は19歳以下が49.0%と多くなっています。『ない』は80歳以上が36.8%と多く、19歳以下が7.8%と少なくなっています。

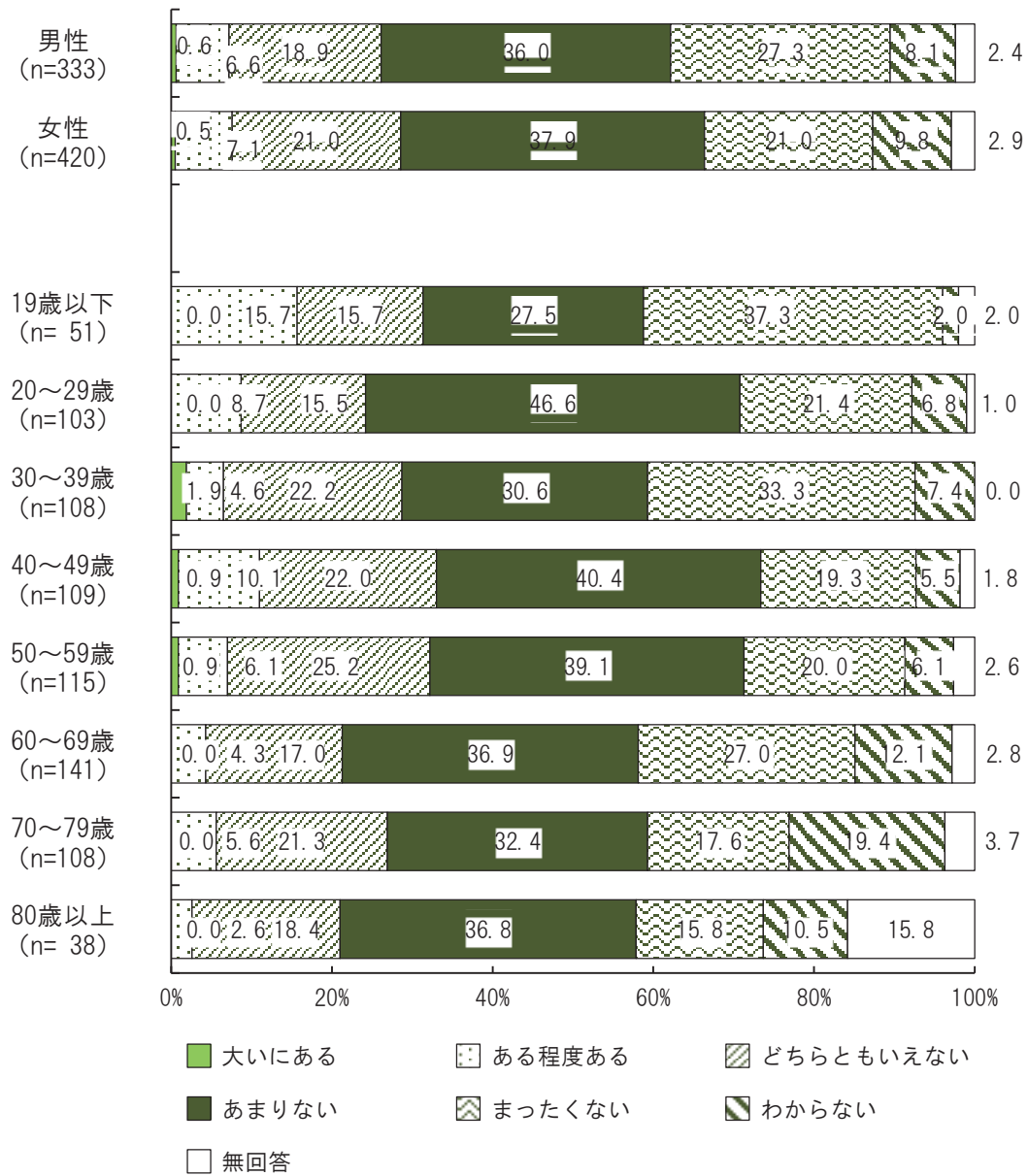
《④商業・サービス業》



【性 別】：男性は「まったくない」が16.5%と多く、女性は「ある程度ある」が12.1%と多くなっています。また、『ない』は男性が58.6%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「どちらともいえない」が37.3%と多く、「あまりない」が27.5%と少なくなっています。30～39歳は「まったくない」が23.1%と多くなっています。また、『ない』は19歳以下が39.2%と少なくなっています。

<<⑤観光業>>

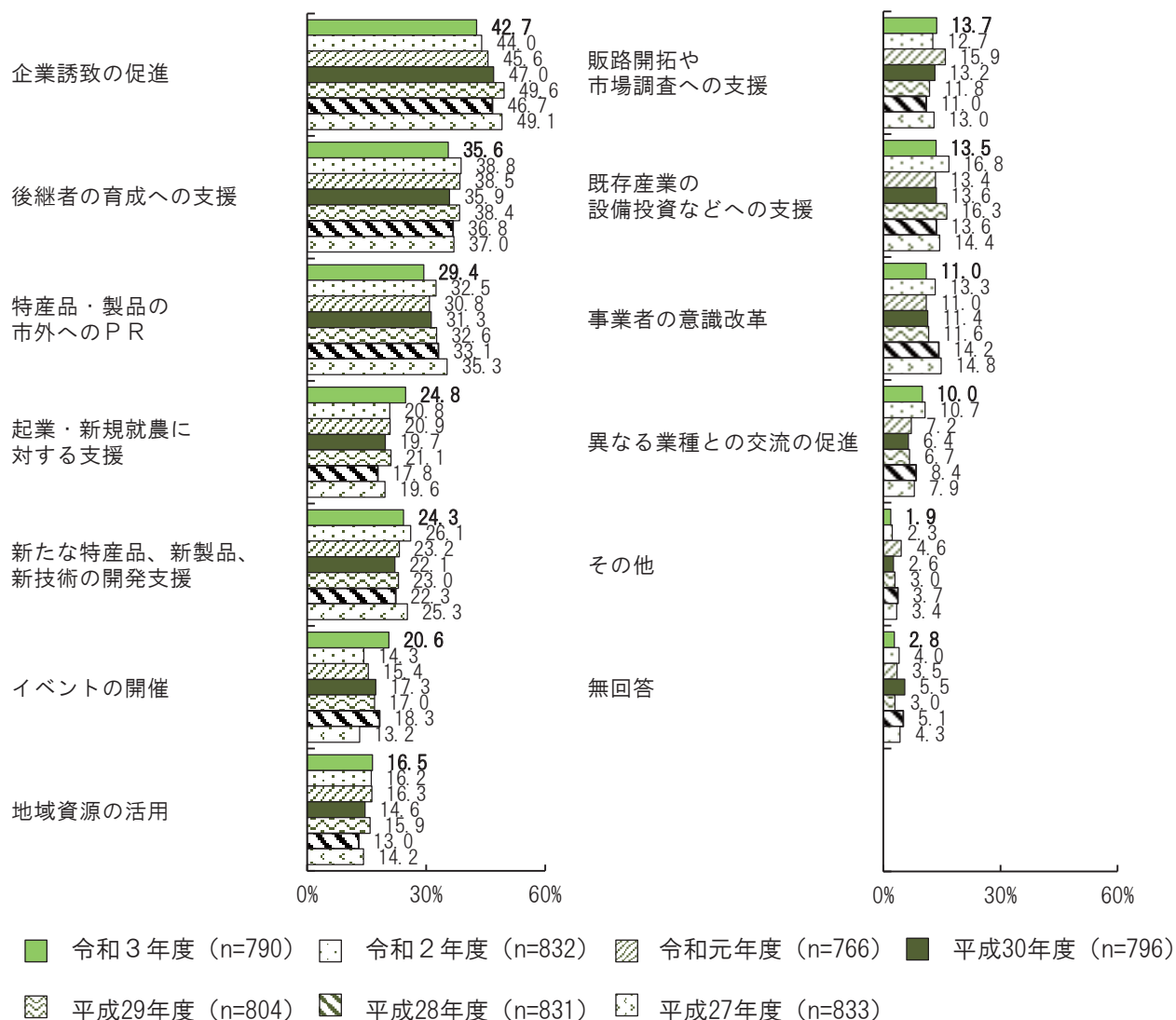


【性 別】：男性は「まったくない」が27.3%と多くなっています。

【年齢別】：19歳以下は「ある程度ある」が15.7%と多くなっています。20～29歳は「あまりない」が46.6%と多くなっています。

(17) 市の産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組

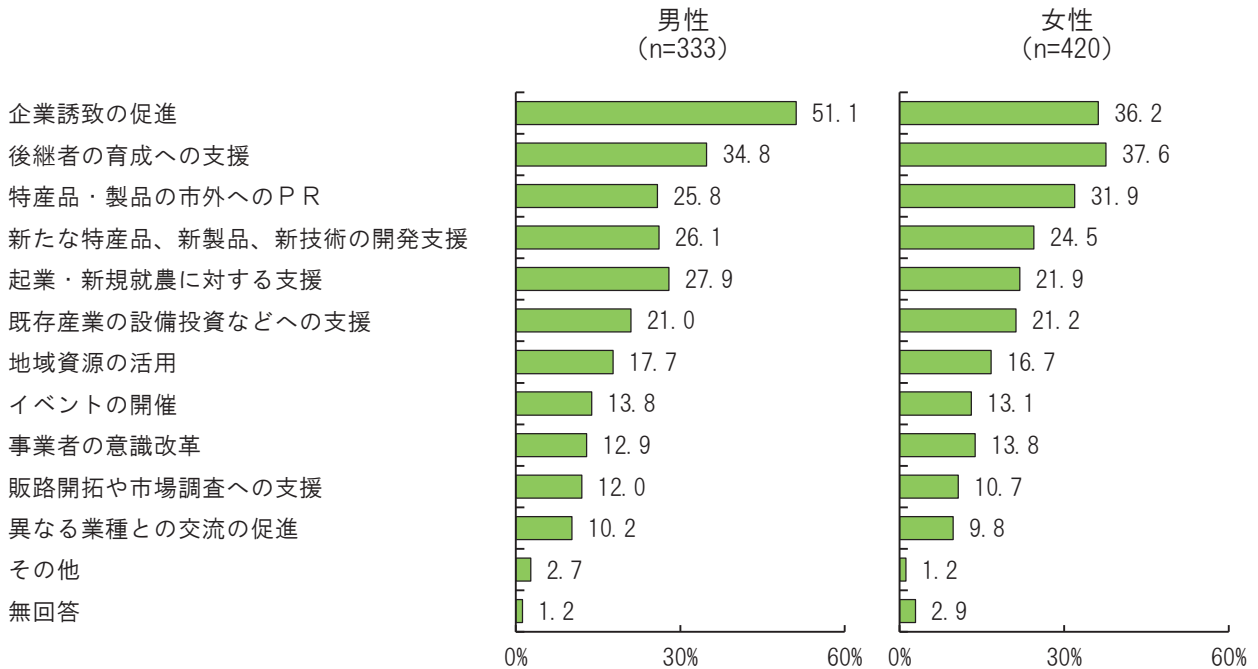
問 17 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



市の産業が活力を持つために市が力を入れるべき取組は、「企業誘致の促進」が42.7%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が35.6%、「特産品・製品の市外へのPR」が29.4%などとなっています。

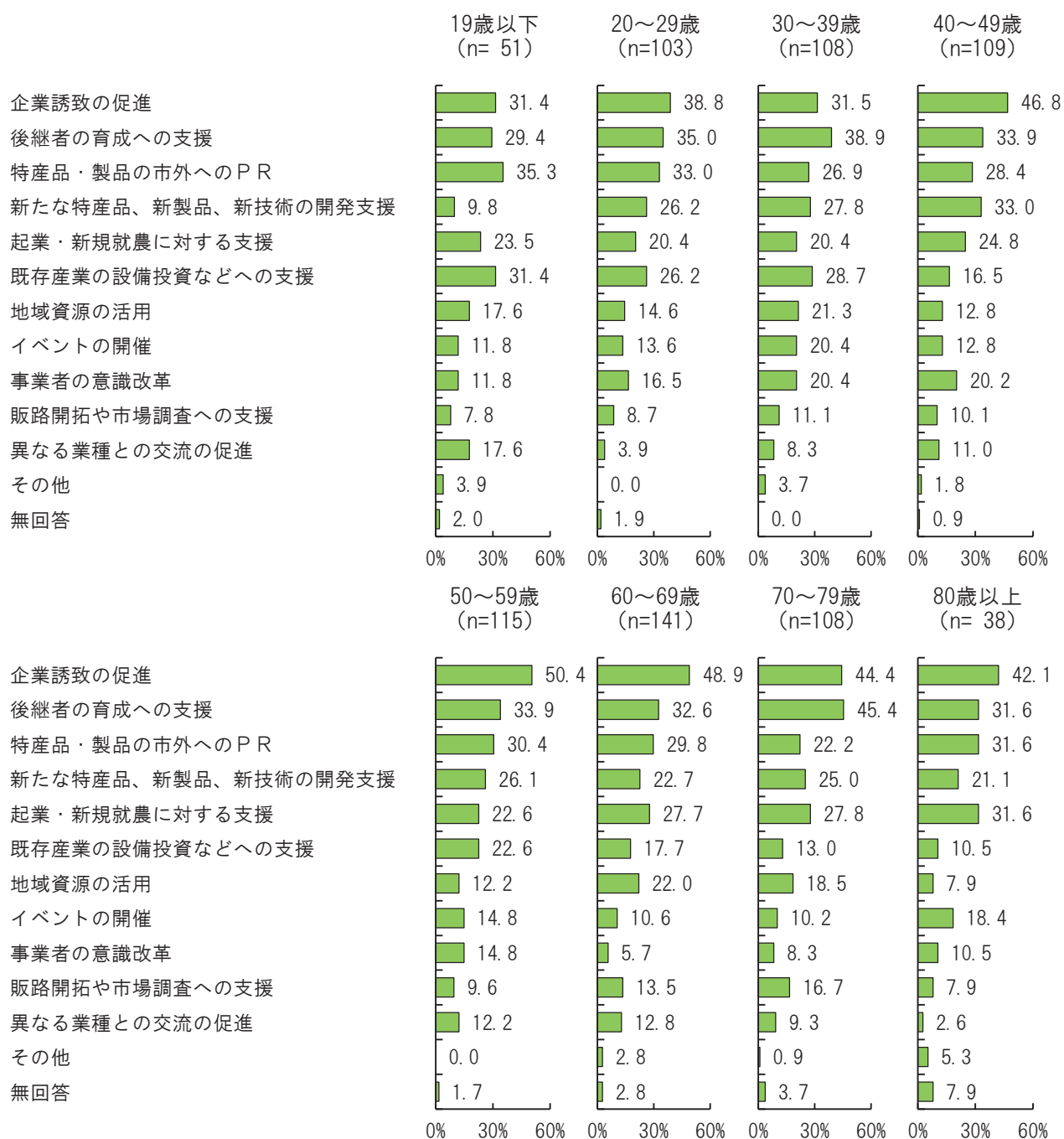
昨年度と比較すると、「イベントの開催」が6.3ポイント増加しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「企業誘致の促進」「起業・新規就農に対する支援」が多く、女性は「特産品・製品の市外へのPR」が31.9%と多くなっています。また、「後継者の育成への支援」が37.6%と最も多くなっています。

クロス集計（年齢別）

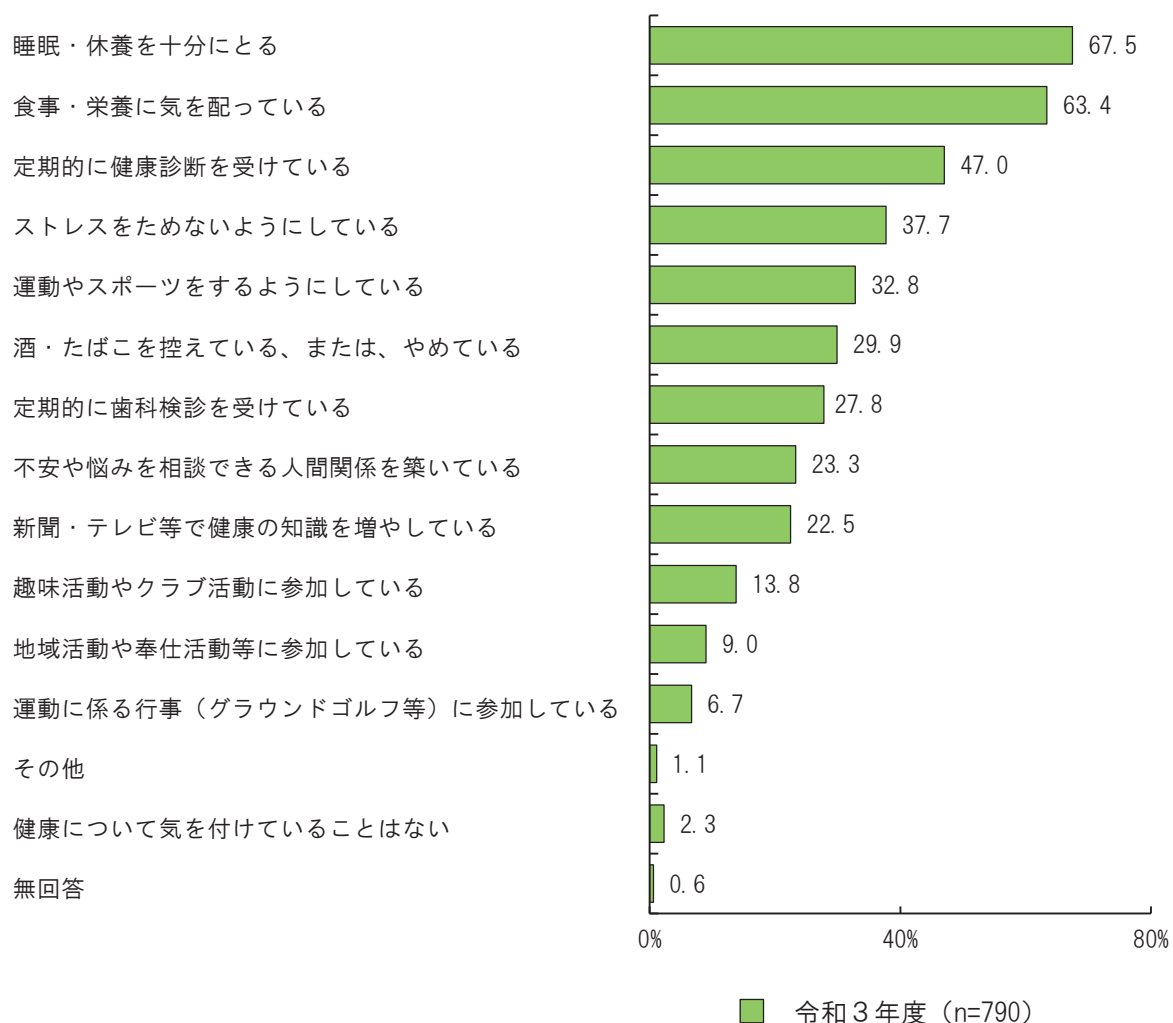


【年齢別】：19歳以下は「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」が9.8%と少なくなっています。40~49歳は「新たな特産品、新製品、新技術の開発支援」が33.0%と多くなっています。70~79歳は「後継者の育成への支援」が45.4%と多くなっています。

⑦健康寿命について

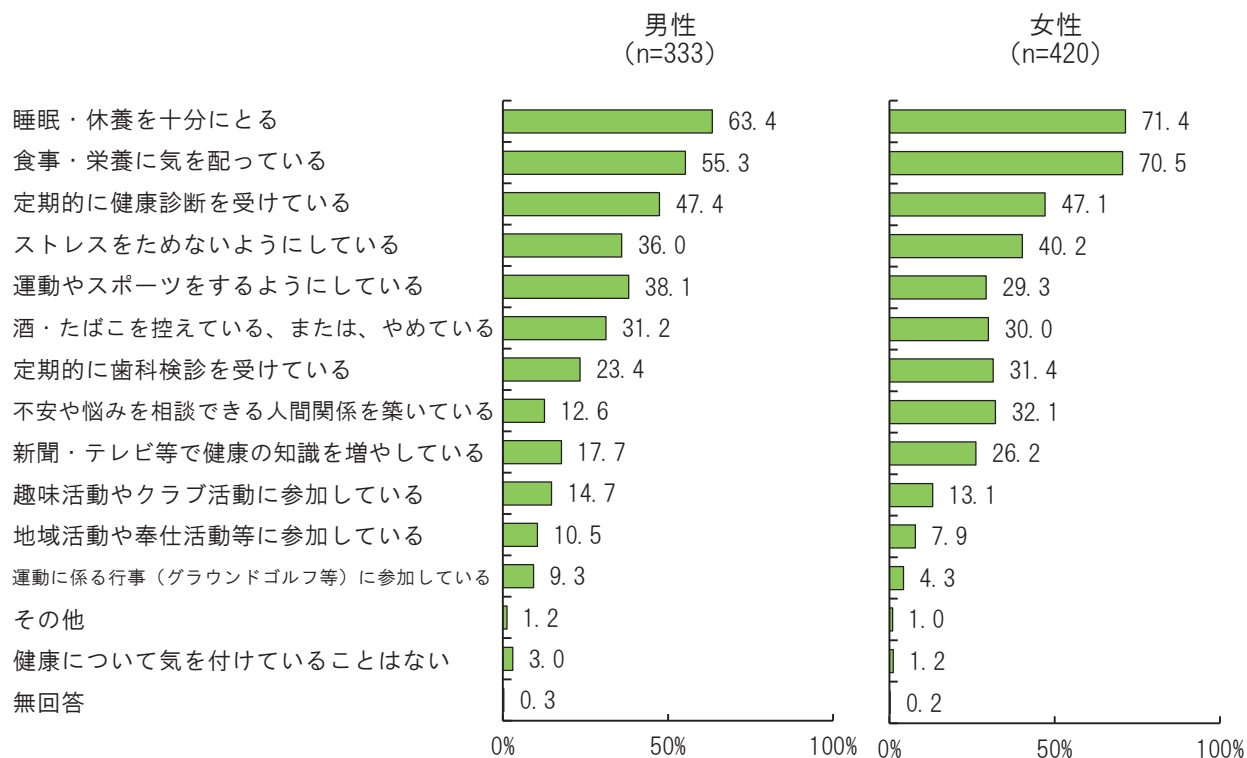
(18) 健康について気を付けていること

問 18 あなたが、健康について気を付けていることは何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



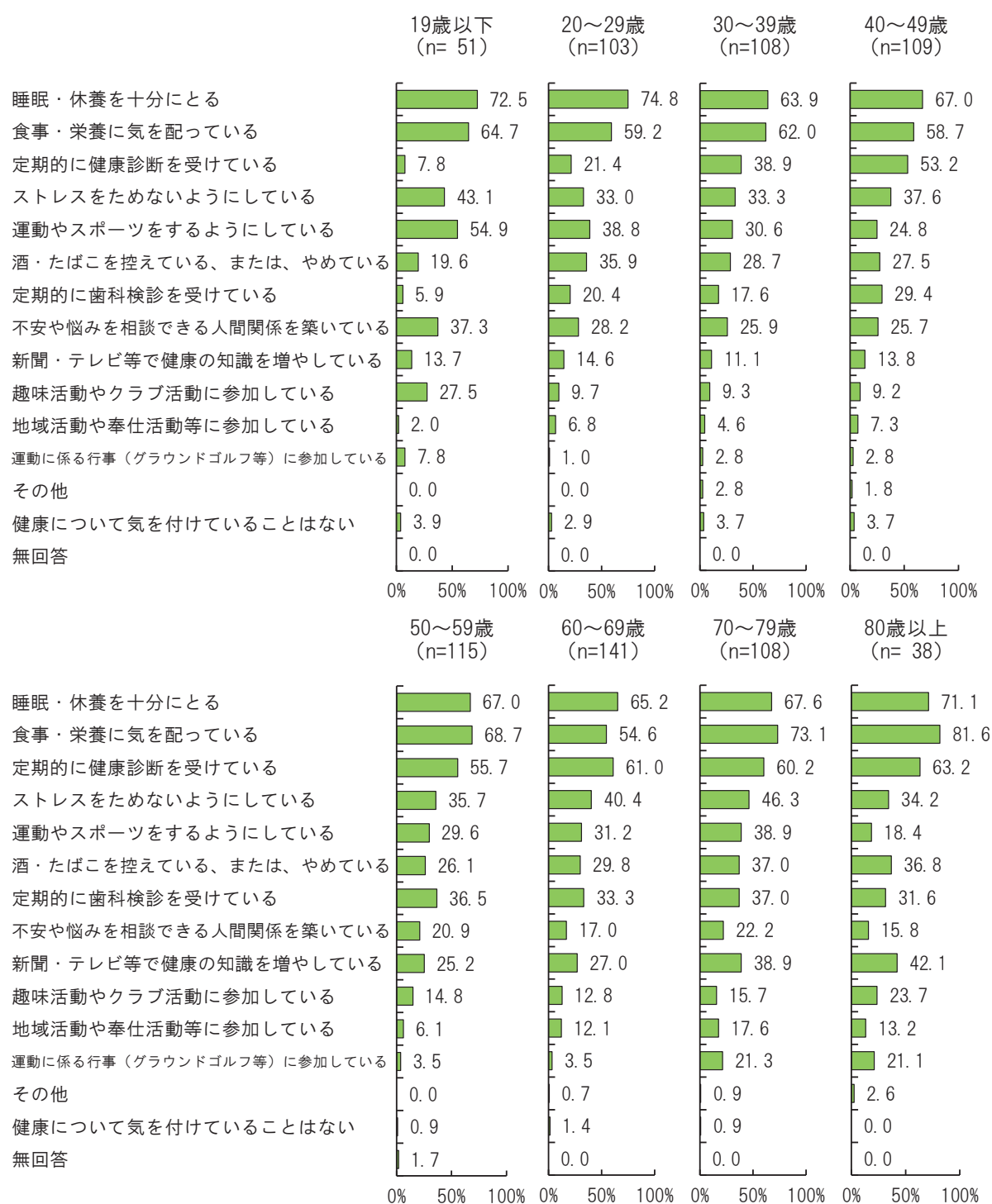
健康について気を付けていることは、「睡眠・休養を十分にとる」が67.5%と最も多く、次いで「食事・栄養に気を配っている」が63.4%、「定期的に健康診断を受けている」が47.0%などとなっています。

クロス集計（性別）



【性別】: 男性は「運動やスポーツをするようにしている」「運動に係る行事（グラウンドゴルフ等）に参加している」が多く、女性は「睡眠・休養を十分にとる」「食事・栄養に気を配っている」「定期的に歯科検診を受けている」などが多くなっています。

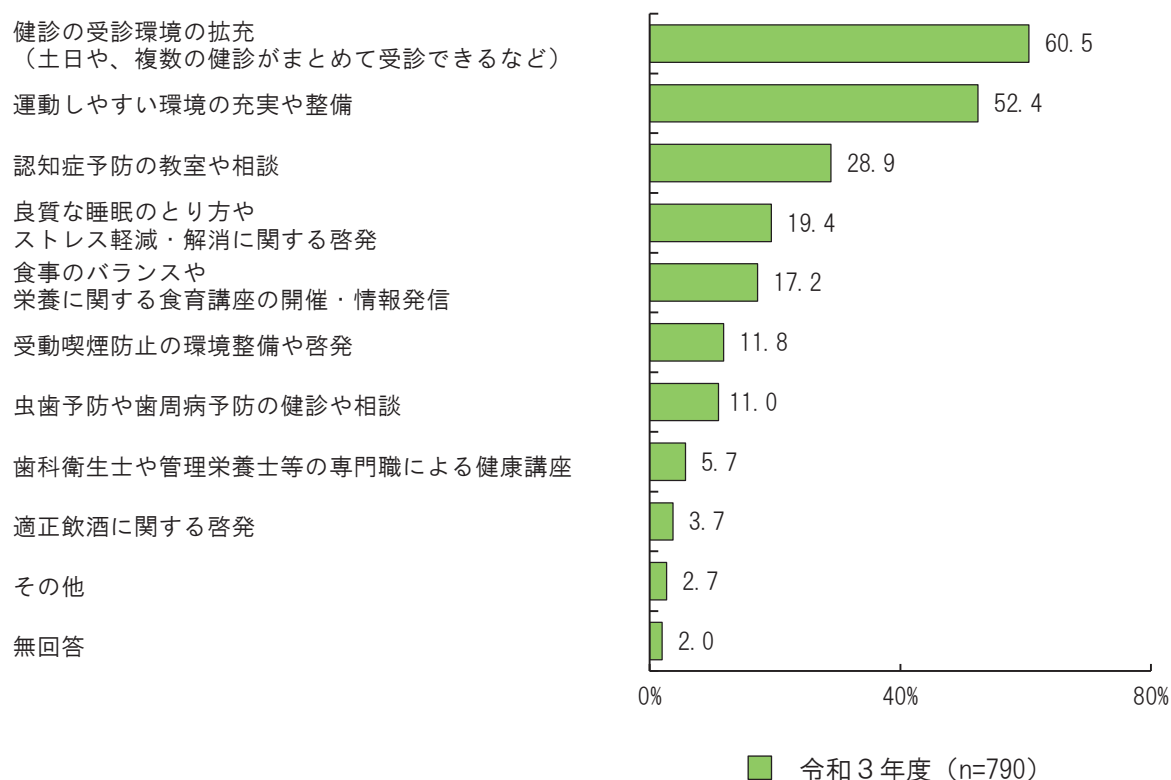
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「運動やスポーツをするようにしている」「不安や悩みを相談できる人間関係を築いている」が多く、「定期的に健康診断を受けている」「定期的に歯科検診を受けている」が少なくなっています。80歳以上は「食事・栄養に気を配っている」が81.6%と多く、「運動やスポーツをするようにしている」が18.4%と少なくなっています。

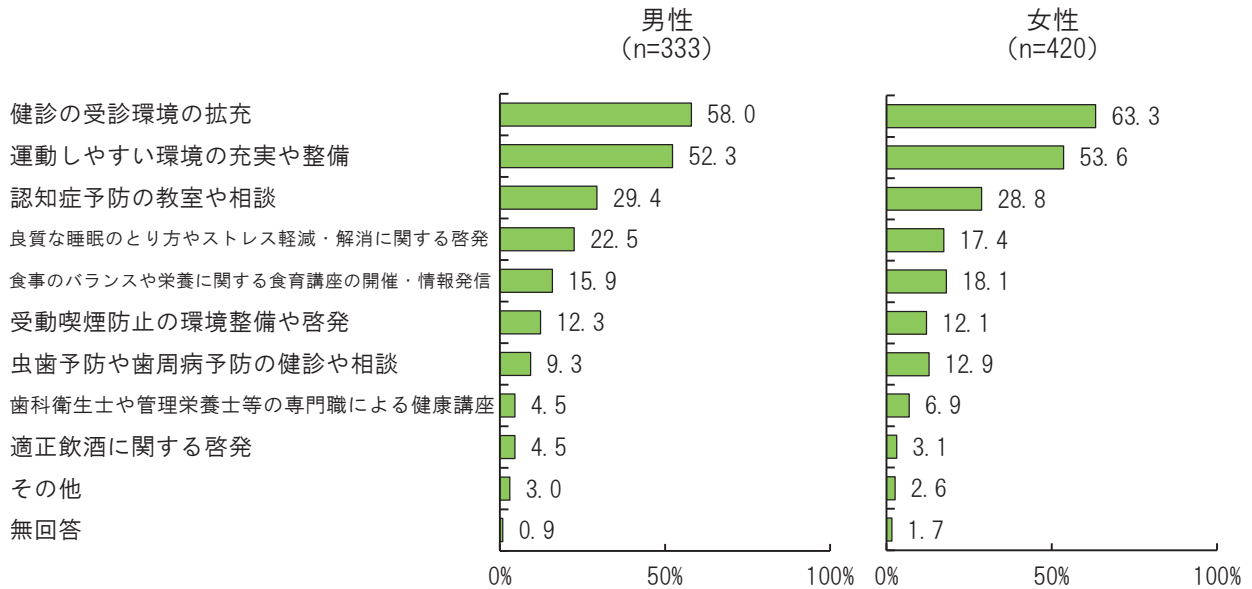
(19) 健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組

問 19 健康寿命を伸ばすために、市が力を入れるべき取組は何だと思えますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



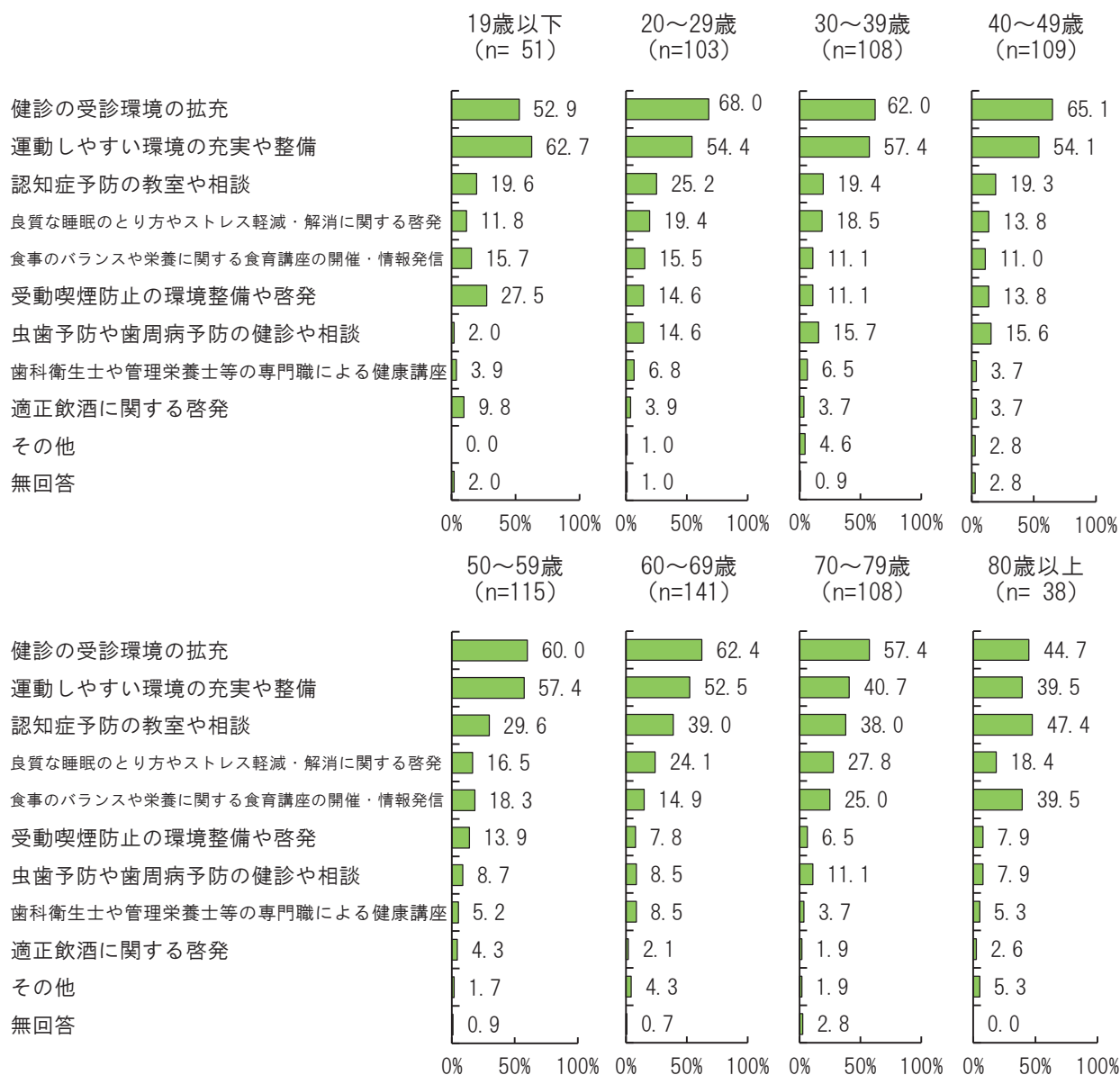
健康寿命を伸ばすために市が力を入れるべき取組は、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が 60.5%と最も多く、次いで「運動しやすい環境の充実や整備」が 52.4%、「認知症予防の教室や相談」が 28.9%などとなっています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「良質な睡眠のとり方やストレス軽減・解消に関する啓発」が 22.5%と多く、女性は「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が 63.3%と多くなっています。

クロス集計（年齢別）

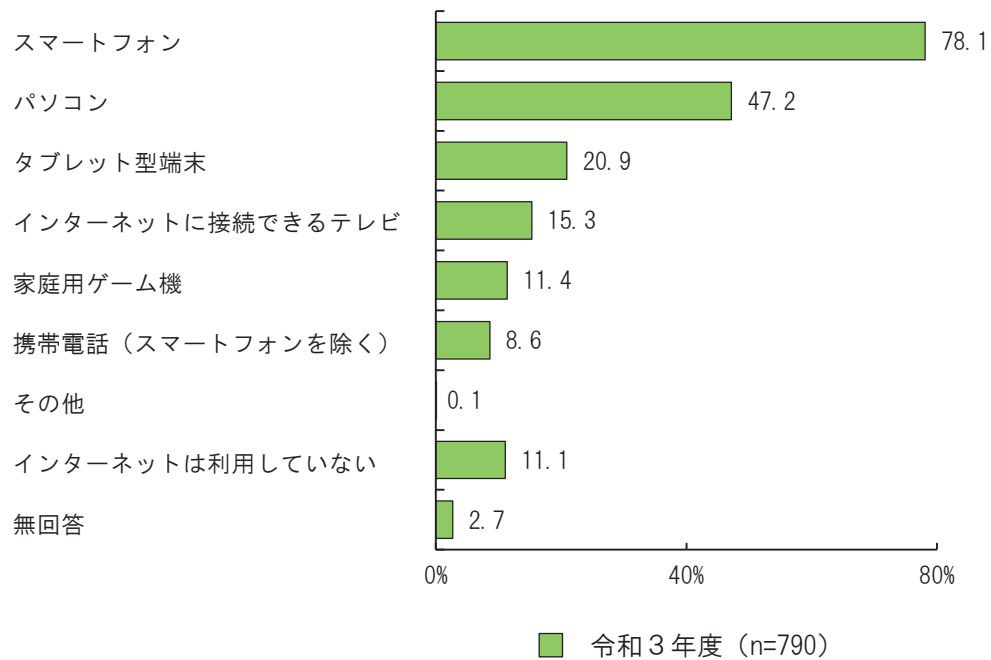


【年齢別】：19歳以下は「運動しやすい環境の充実や整備」「受動喫煙防止の環境整備や啓発」「適正飲酒に関する啓発」が多く、「虫歯予防や歯周病予防の健診や相談」が2.0%と少なくなっています。80歳以上は「認知症予防の教室や相談」「食事のバランスや栄養に関する食育講座の開催・情報発信」が多く、「健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）」が44.7%と少なくなっています。

⑧行政サービスのデジタル化について

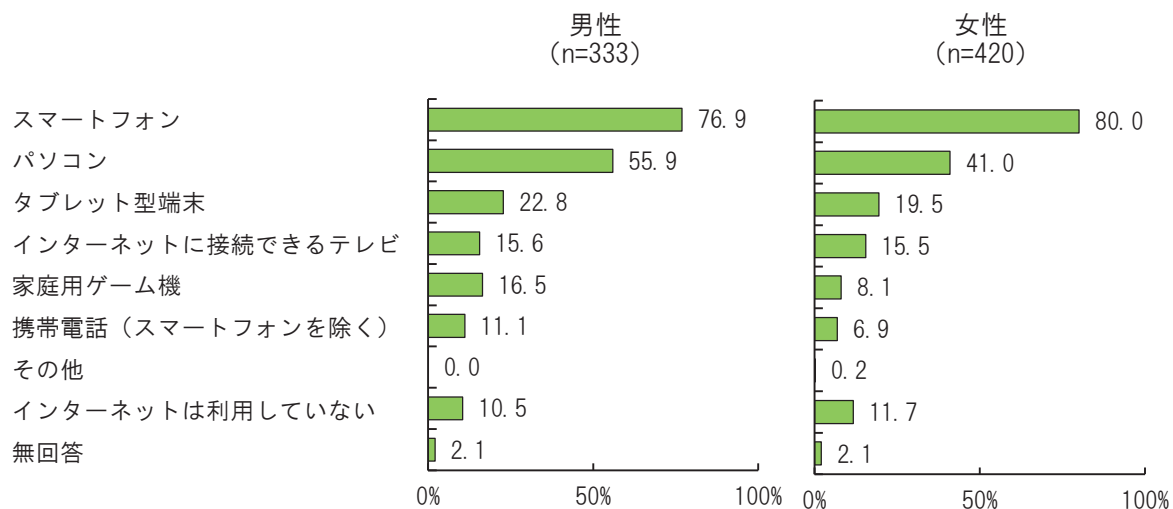
(20) 個人でインターネットを利用している端末

問 20 あなたが現在、個人でインターネットを利用している端末は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



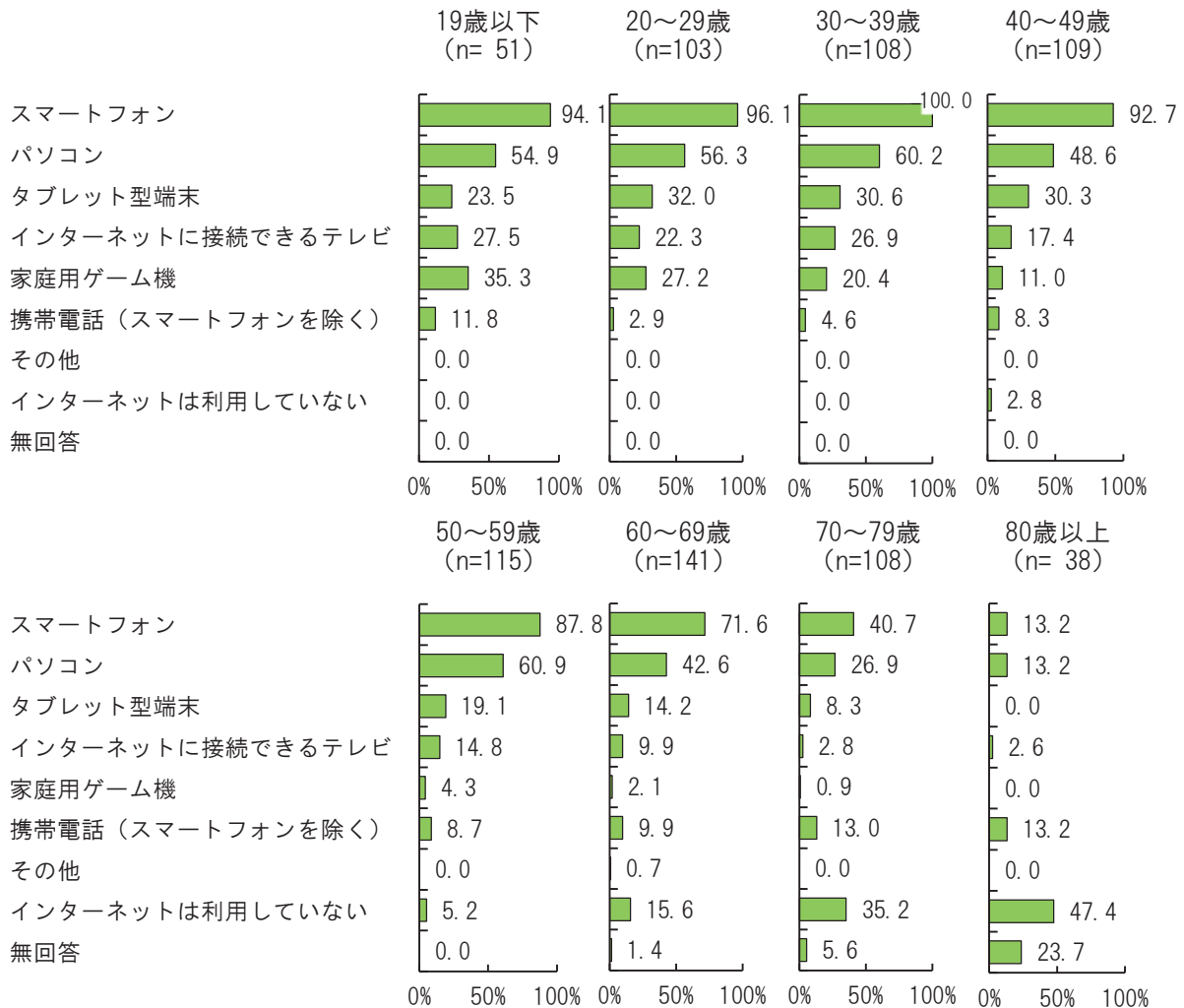
個人でインターネットを利用している端末は、「スマートフォン」が78.1%と最も多く、次いで「パソコン」が47.2%、「タブレット型端末」が20.9%などとなっています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「パソコン」「家庭用ゲーム機」が多くなっています。

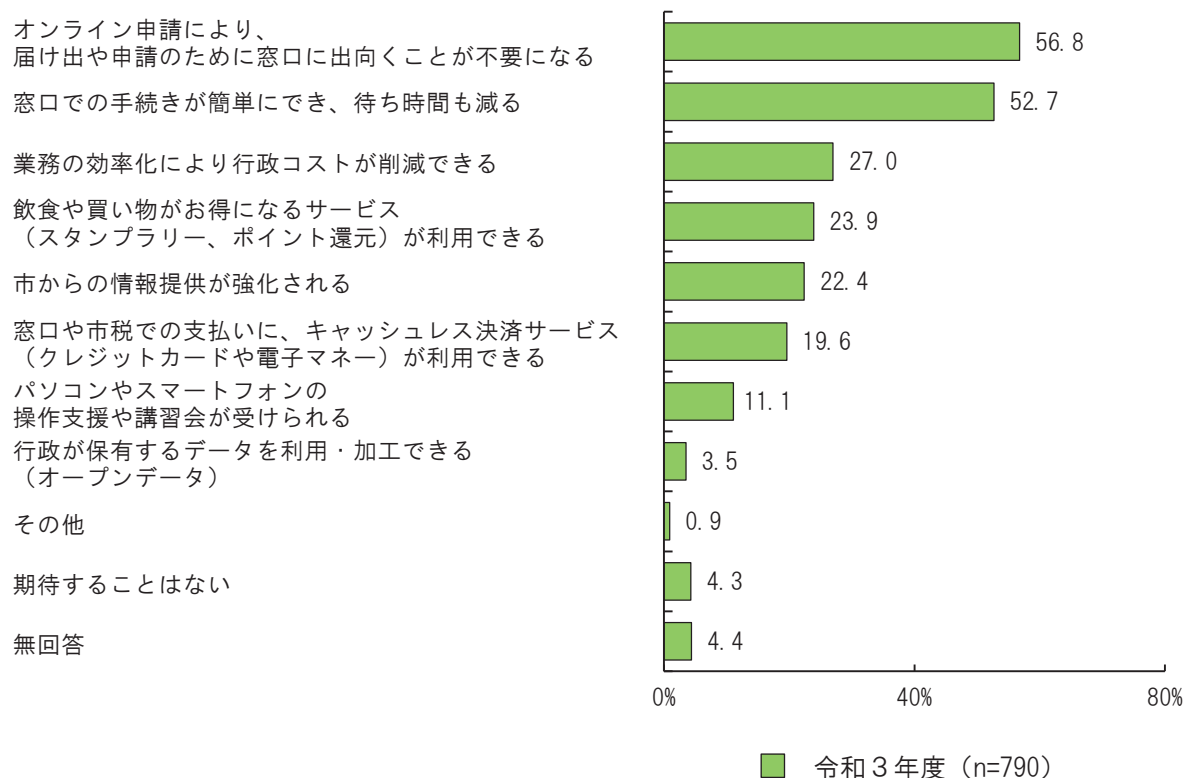
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「家庭用ゲーム機」が35.3%と多くなっています。70～79歳は「タブレット型端末」が8.3%と少なくなっています。80歳以上は「インターネットは利用していない」が47.4%と多く、「スマートフォン」「パソコン」「タブレット型端末」が少なくなっています。

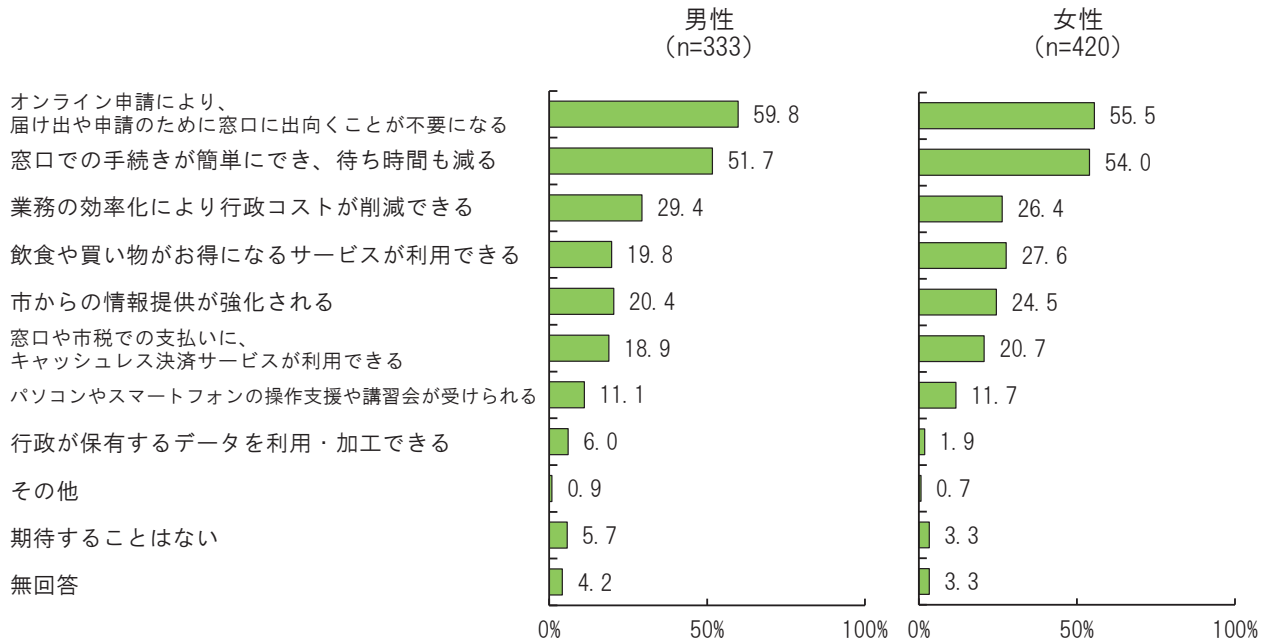
(21) デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待すること

問 21 デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



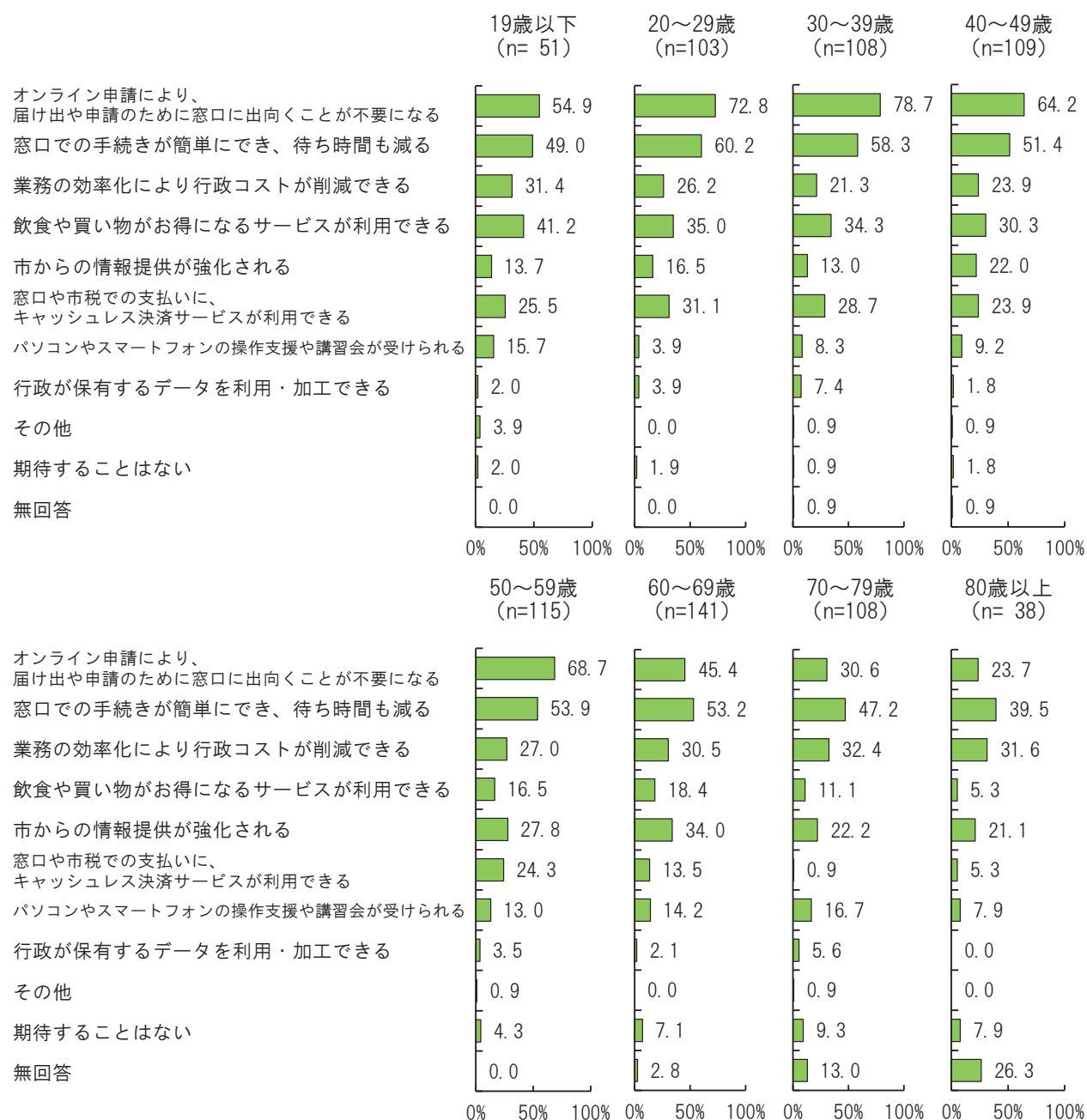
デジタル技術の導入により、行政サービスの利便性向上に期待することは、「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が 56.8%と最も多く、次いで「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」が 52.7%、「業務の効率化により行政コストが削減できる」が 27.0%などとなっています。

クロス集計（性別）



【性別】：女性は「飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる」が27.6%と多くなっています。

クロス集計（年齢別）

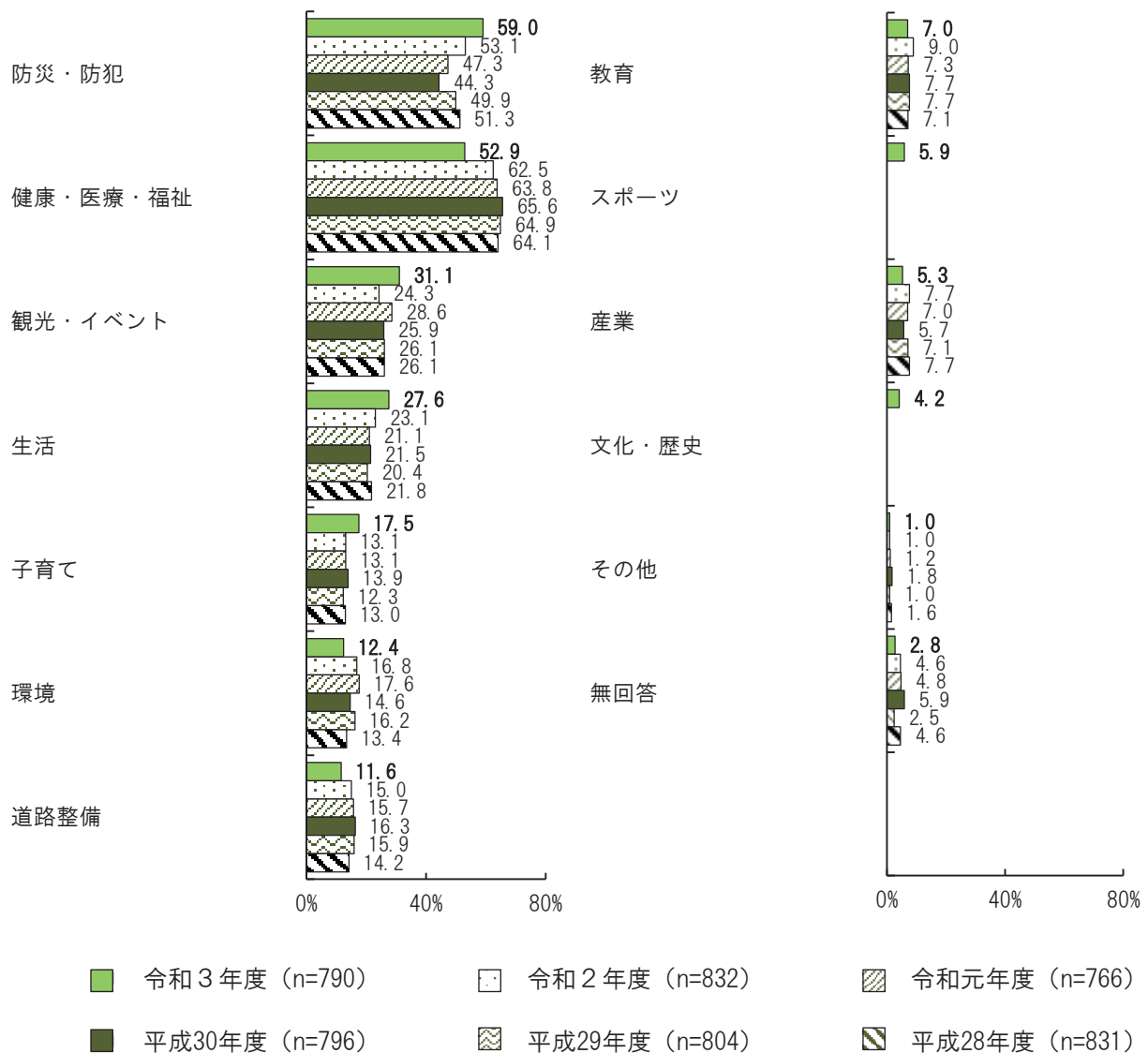


【年齢別】：19歳以下は「飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる」が41.2%と多くなっています。30～39歳は「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が78.7%と多くなっています。60～69歳は「市からの情報提供が強化される」が34.0%と多くなっています。80歳以上は「オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」「窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る」「飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる」が少なくなっています。

⑨市からの情報発信について

(22) 市から得たい情報

問 22 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

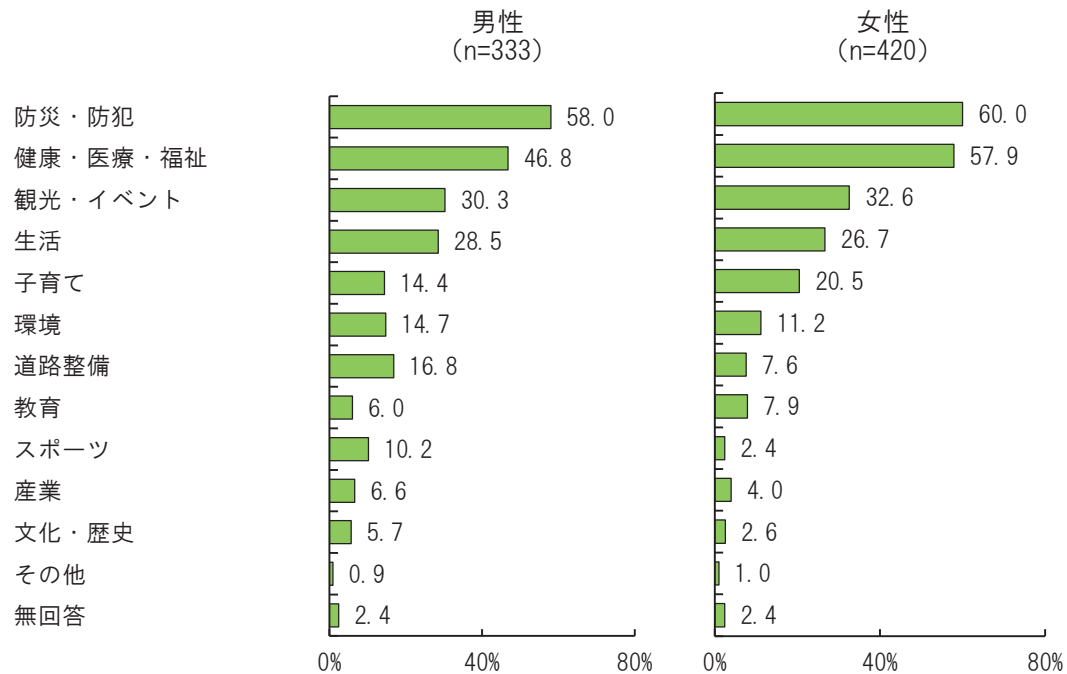


※「スポーツ」と「文化・歴史」は、平成28年度～令和2年度は「スポーツ・文化・歴史」と掲載していました。

市から得たい情報は、「防災・防犯」が59.0%と最も多く、次いで「健康・医療・福祉」が52.9%、「観光・イベント」が31.1%などとなっています。

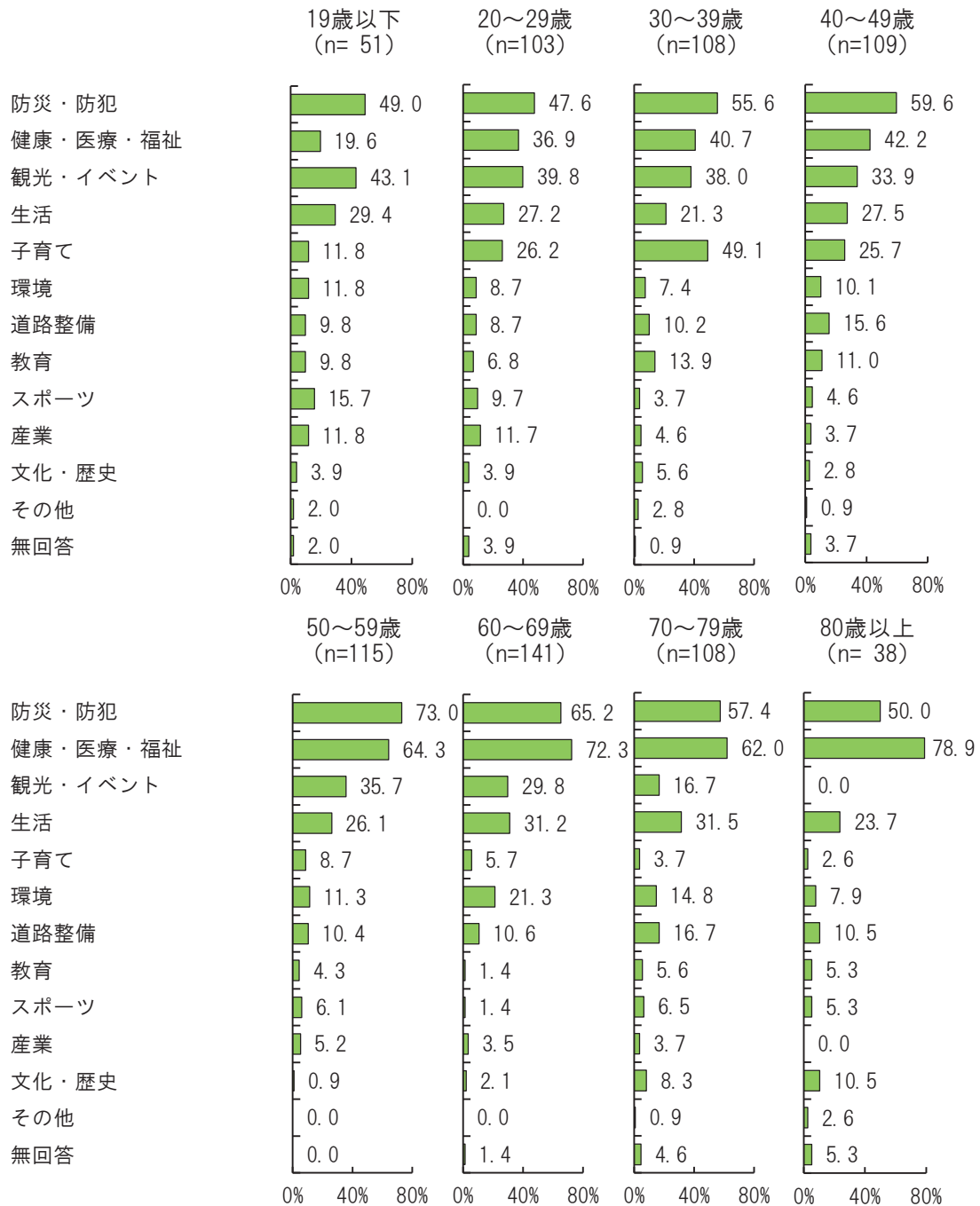
昨年度と比較すると、「防災・防犯」「観光・イベント」が増加し、「健康・医療・福祉」が9.6ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「道路整備」「スポーツ」が多く、女性は「健康・医療・福祉」「子育て」が多くなっています。

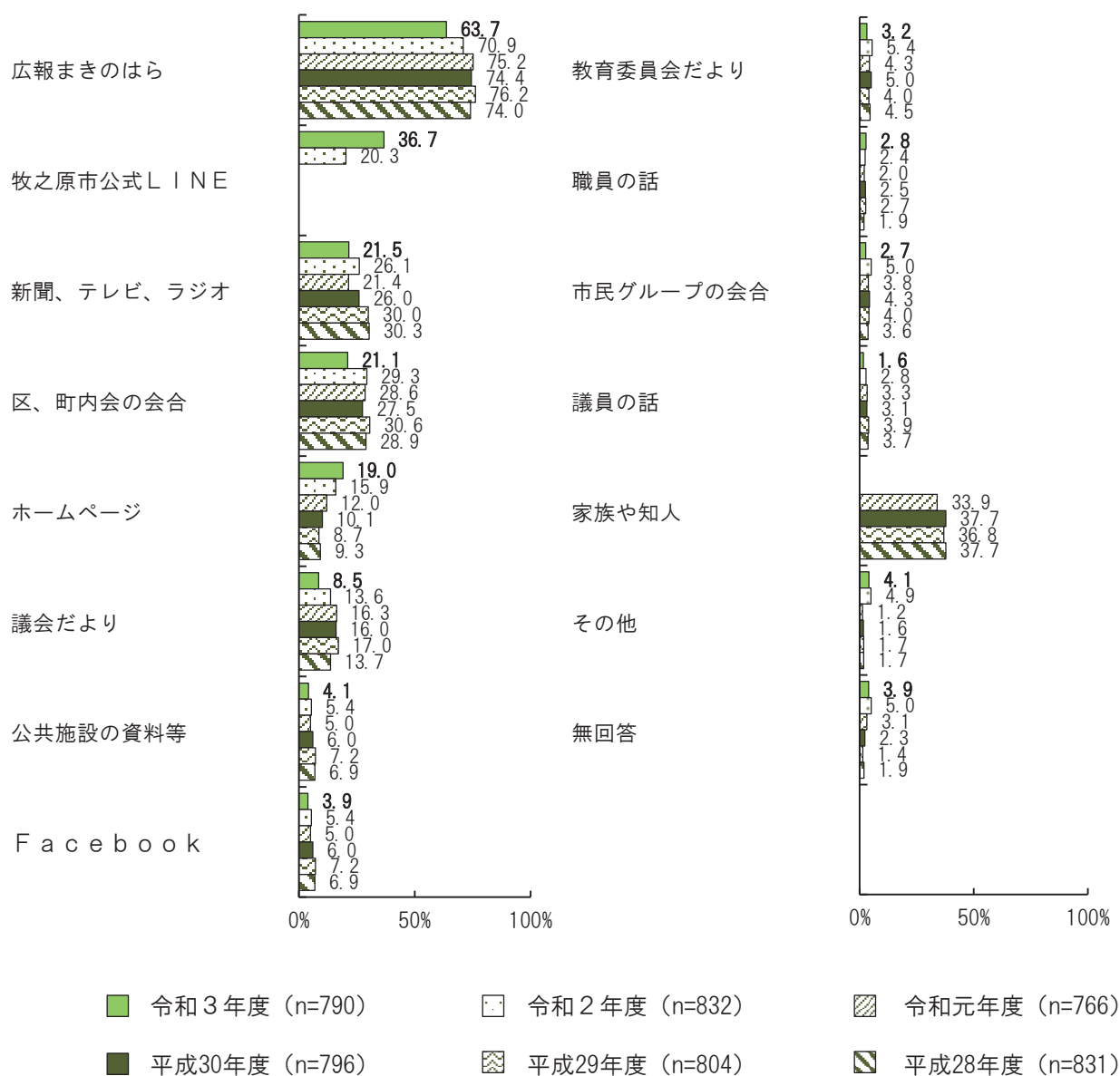
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「スポーツ」が15.7%と多く、「健康・福祉・医療」が19.6%と少なくなっています。30~39歳は「子育て」が49.1%と多くなっています。50~59歳は「防災・防犯」が73.0%と多くなっています。60~69歳は「環境」が21.3%と多くなっています。80歳以上は「健康・医療・福祉」が78.9%と多く、「観光・イベント」が0.0%と少なくなっています。

(23) 市からの情報源

問 23 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

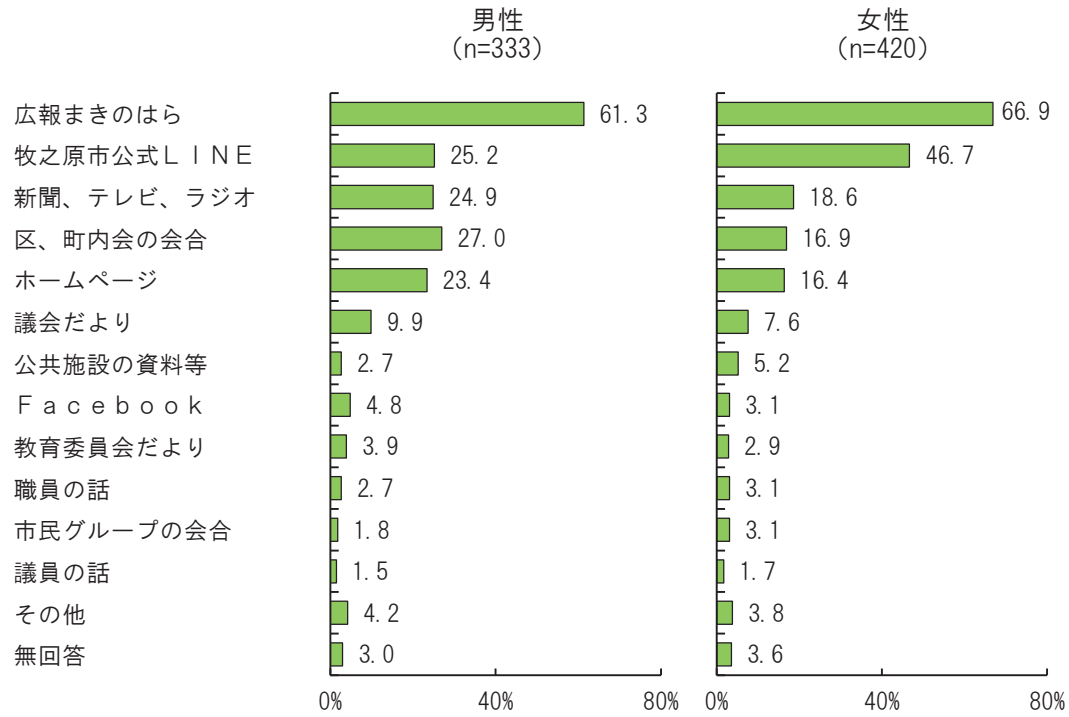


※「牧之原市公式LINE」は令和2年度に追加された選択肢です。また、「家族や知人」は、令和元年度以前の選択肢です。

市からの情報源は、「広報まきのほら」が63.7%と最も多く、次いで「牧之原市公式LINE」が36.7%、「新聞、テレビ、ラジオ」が21.5%などとなっています。

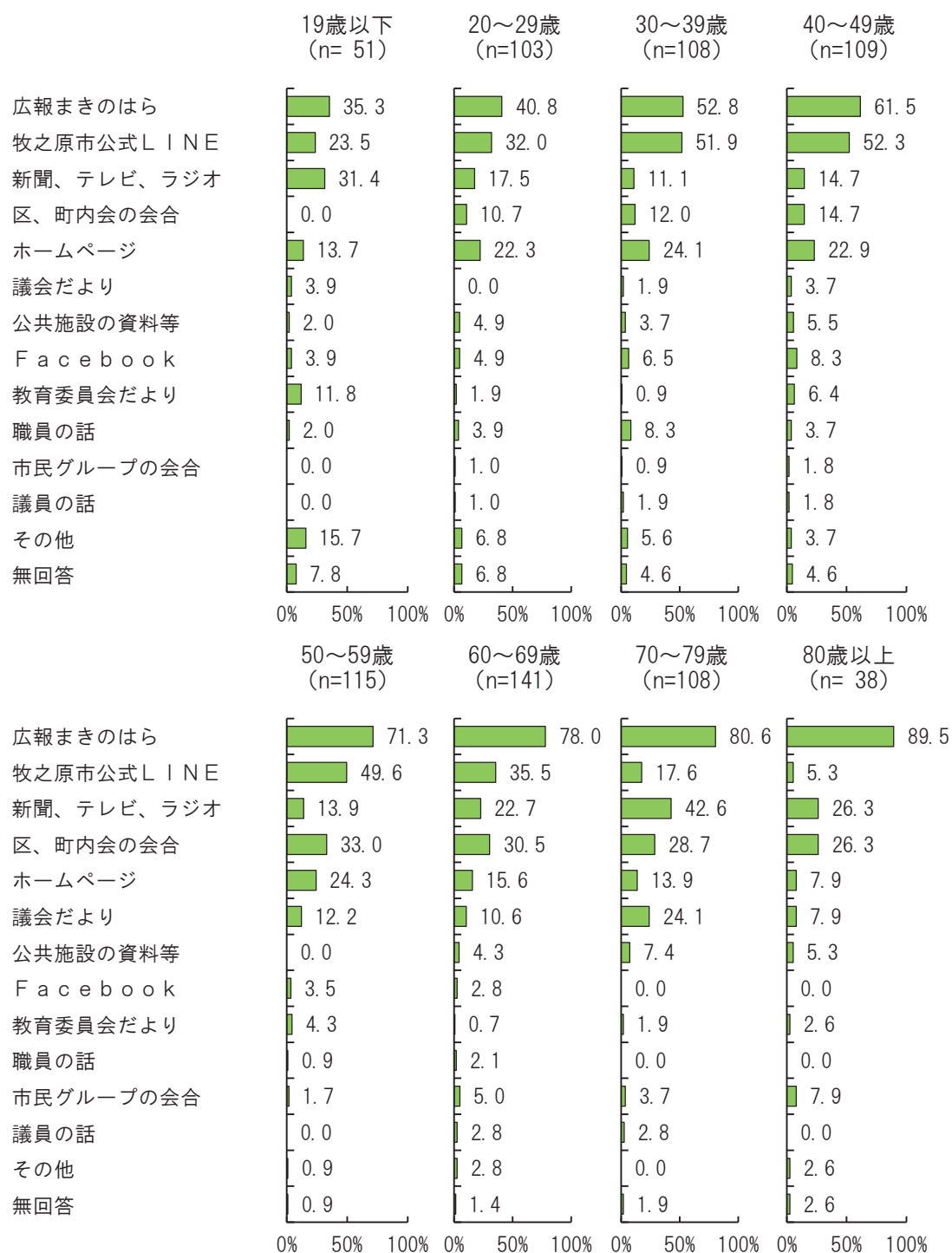
昨年度と比較すると、「牧之原市公式LINE」が16.4ポイント増加し、「広報まきのほら」「区、町内会の会合」「議会だより」が減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「新聞、テレビ、ラジオ」「区、町内会の会合」「ホームページ」が多く、女性は「広報まきのはら」「牧之原市公式LINE」が多くなっています。

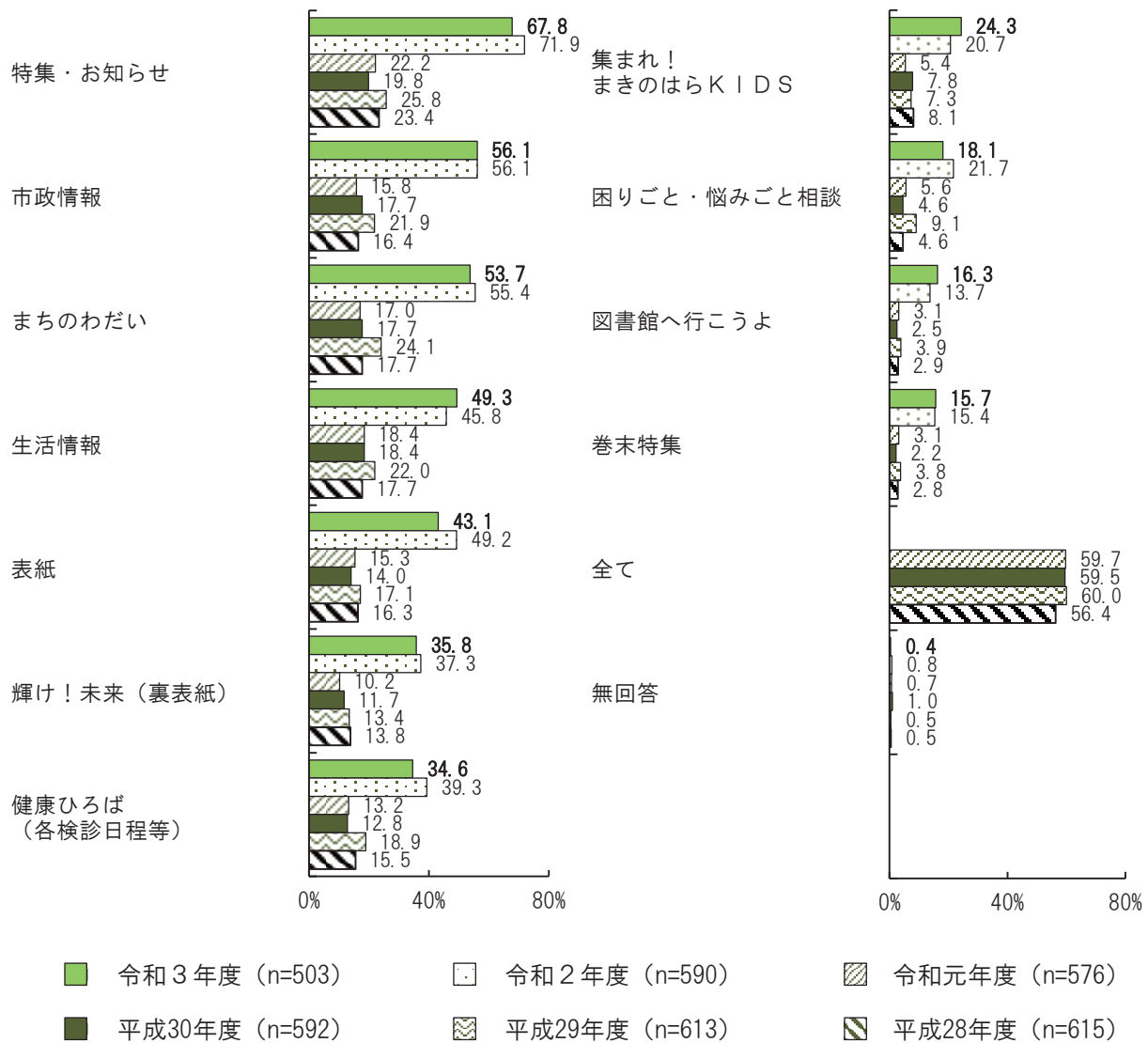
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「教育委員会だより」が11.8%と多く、「広報まきのほら」「区、町内会の会合」が少なくなっています。70～79歳は「新聞、テレビ、ラジオ」「議会だより」が多くなっています。80歳以上は「広報まきのほら」が89.5%と多く、「牧之原市公式LINE」「ホームページ」が少なくなっています。

(24) 広報まきのはらで読んでいる記事

問 23 で「広報まきのはら」と答えた方のみ

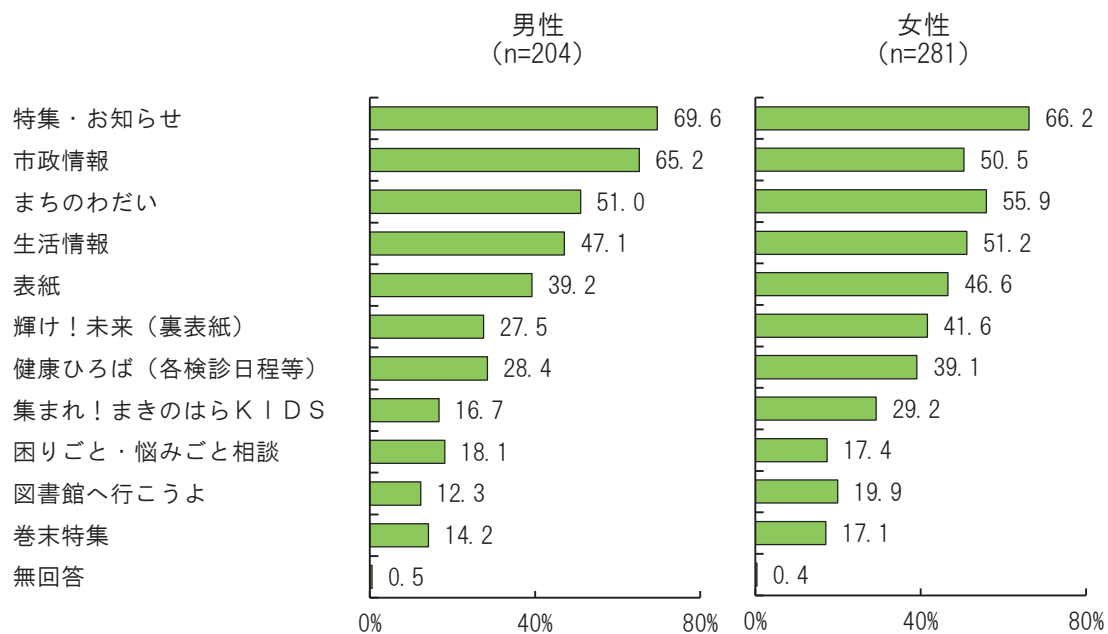
問 24 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

※「全て」は令和元年度以前の選択肢です。

広報まきのはらで読んでいる記事は、「特集・お知らせ」が67.8%と最も多く、次いで「市政情報」が56.1%、「まちのわだい」が53.7%などとなっています。

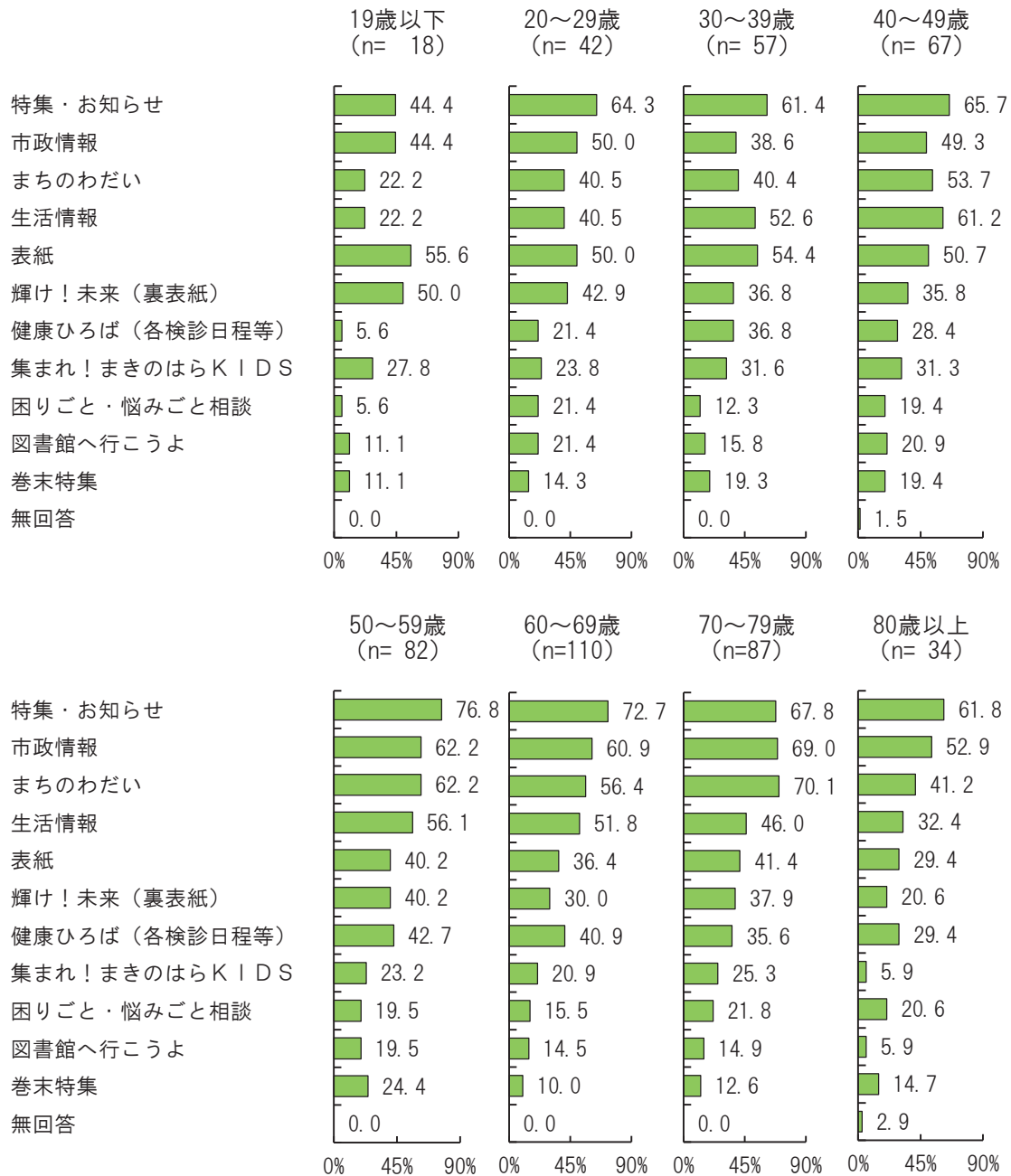
昨年度と比較すると、「表紙」が6.1ポイント減少しています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性は「市政情報」が65.2%と多く、女性は「表紙」「輝け！未来（裏表紙）」「健康ひろば（各検診日程等）」などが多くなっています。

クロス集計（年齢別）



【年齢別】：19歳以下は「輝け！未来（裏表紙）」が50.0%と多く、「特集・お知らせ」「まちのわだい」「生活情報」などが少なくなっています。30~39歳は「市政情報」が38.6%と少なくなっています。40~49歳は「生活情報」が61.2%と多くなっています。50~59歳は「巻末特集」が24.4%と多くなっています。70~79歳は「市政情報」「まちのわだい」が多くなっています。80歳以上は「表紙」「輝け！未来（裏表紙）」「集まれ！まきのほらKIDS」などが少なくなっています。

⑩牧之原市の行政サービスについて

(25) 満足度・重要度について

問 25 あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

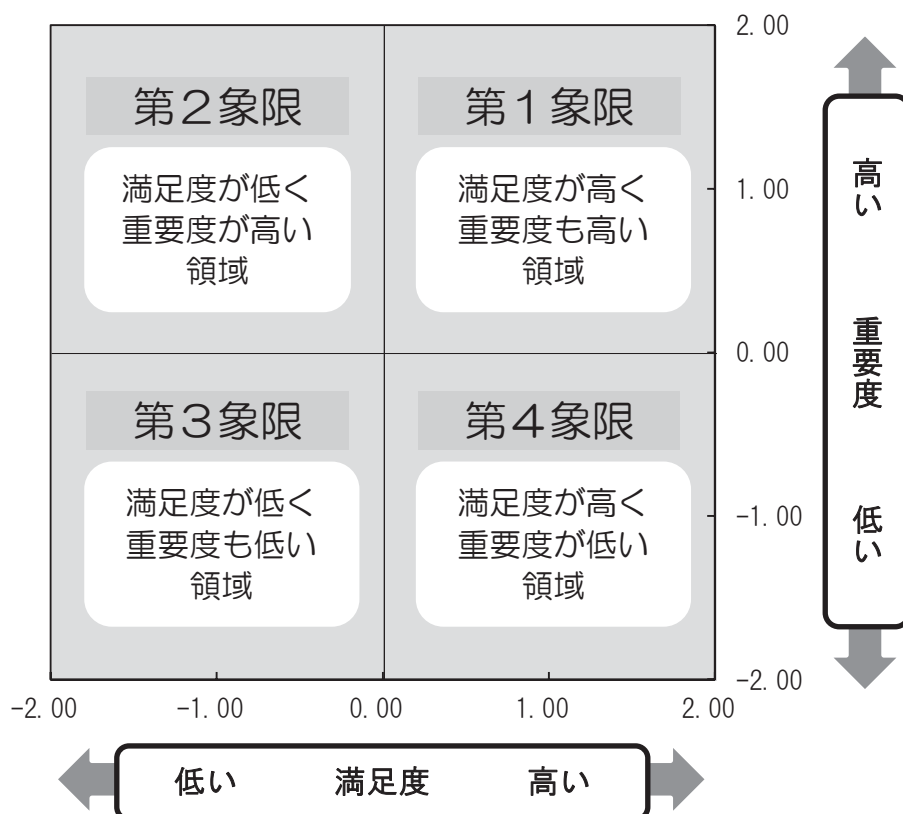
(満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

《評価点の算出方法》

「満足」、「高い」と回答した人を＋2点、「やや満足」、「やや高い」と回答した人を＋1点、「やや不満」、「やや低い」と回答した人を－1点、「不満」、「低い」と回答した人を－2点として算出した値を、回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割って算出しています。評価点は、プラスの大きい項目は評価が高く、マイナスの大きいものは評価が低いことを表しています。

また、各取組について満足度・重要度の評価点を散布図にて表した場合、下記のように4つの象限に評価をみることができます。

満足度	重要度	点数
「満足」	「高い」	＋2点
「やや満足」	「やや高い」	＋1点
「やや不満」	「やや低い」	－1点
「不満」	「低い」	－2点
「無回答」	「無回答」	点数加算なし・回答者数にも含まない

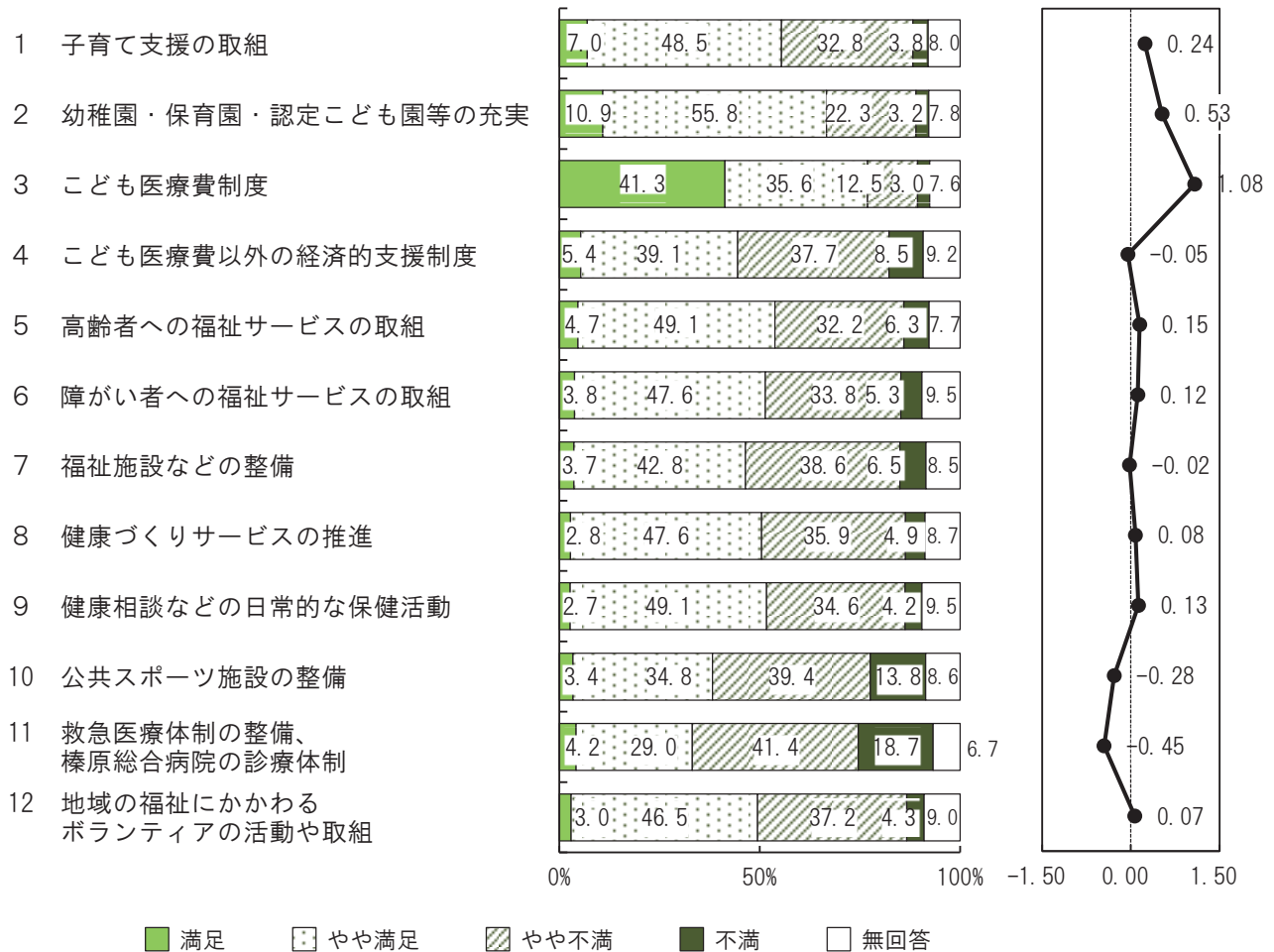


(26) 満足度・重要度【健康福祉】

【健康福祉】支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

《満足度》

令和3年度 (n=790)



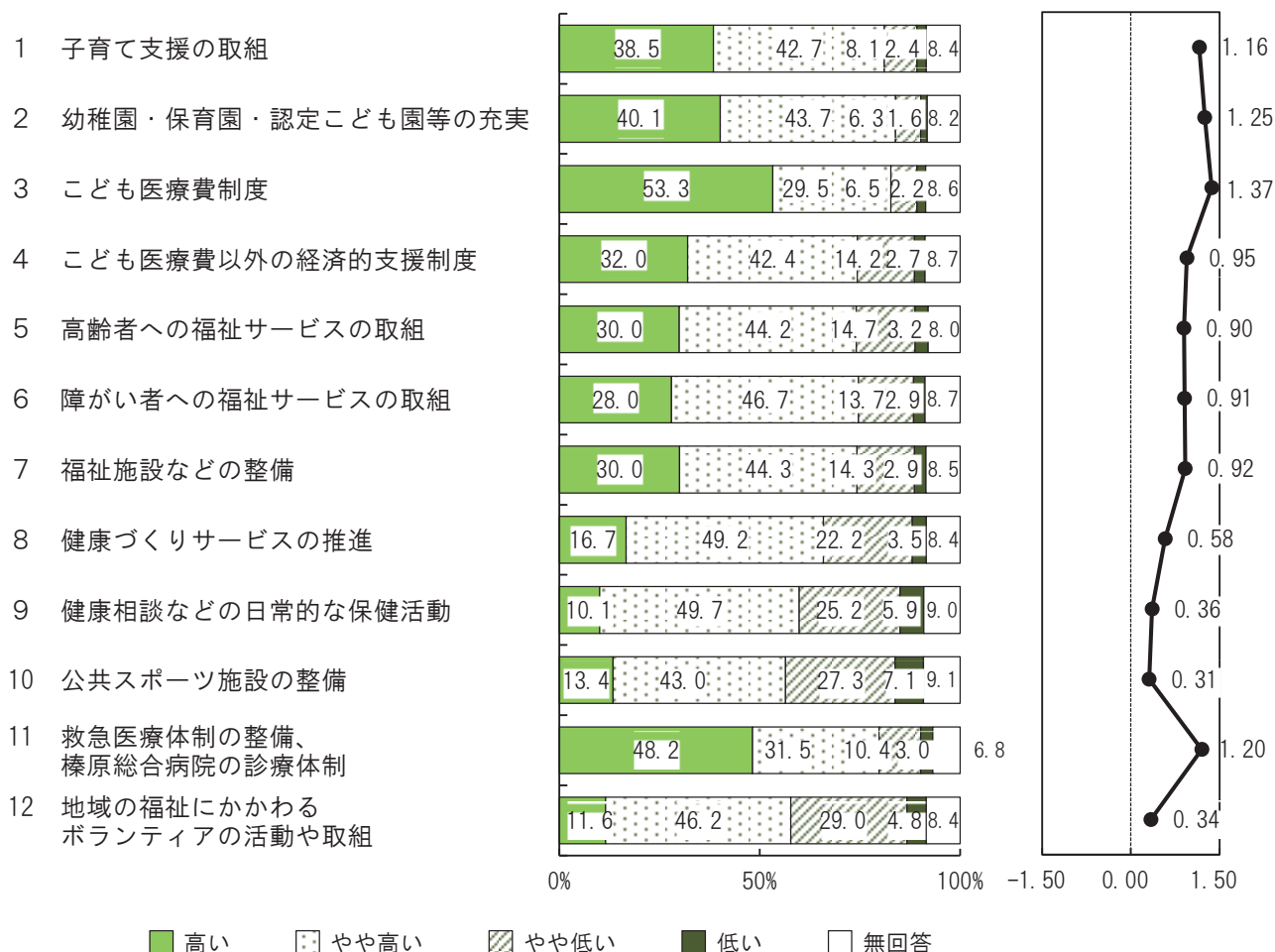
満足度が最も高い項目は、《3 こども医療費制度》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が76.8%、評価点が1.08点となっています。次に満足度が高い項目は、《2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実》（0.53点）、《1 子育て支援の取組》（0.24点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が60.1%、評価点が-0.45点となっています。次に満足度が低い項目は、《10 公共スポーツ施設の整備》（-0.28点）、《4 こども医療費以外の経済的支援制度》（-0.05点）などとなっています。

【健康福祉】支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり

《重要度》

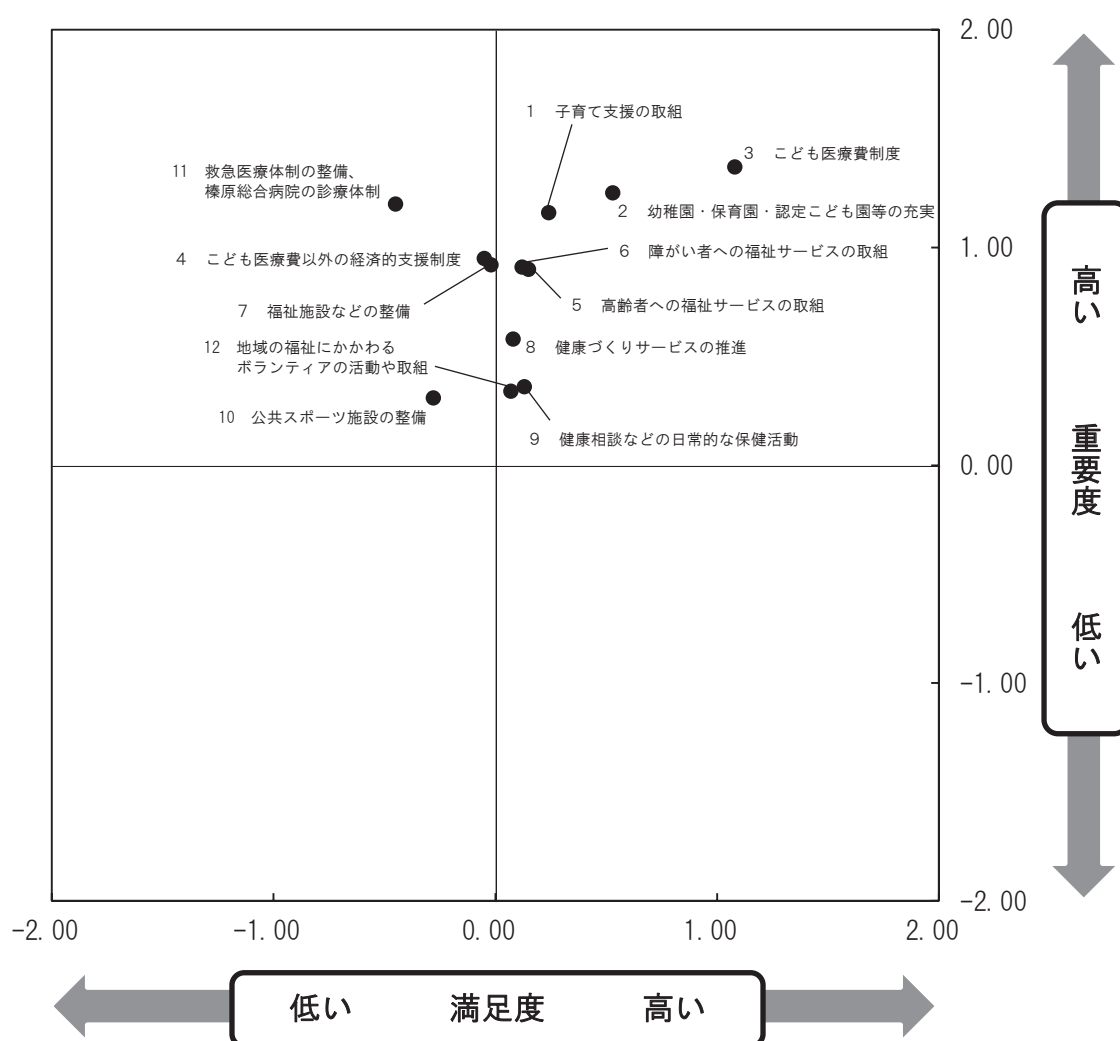
令和3年度 (n=790)



重要度が最も高い項目は、《3 こども医療費制度》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が82.8%、評価点が1.37点となっています。次に重要度が高い項目は、《2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実》（1.25点）、《11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制》（1.20点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《10 公共スポーツ施設の整備》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が34.4%、評価点が0.31点となっています。次に重要度が低い項目は、《12 地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組》（0.34点）、《9 健康相談などの日常的な保健活動》（0.36点）などとなっています。

【健康福祉】支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり		満足度	重要度
1	子育て支援の取組	0.24	1.16
2	幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	0.53	1.25
3	こども医療費制度	1.08	1.37
4	こども医療費以外の経済的支援制度	-0.05	0.95
5	高齢者への福祉サービスの取組	0.15	0.90
6	障がい者への福祉サービスの取組	0.12	0.91
7	福祉施設などの整備	-0.02	0.92
8	健康づくりサービスの推進	0.08	0.58
9	健康相談などの日常的な保健活動	0.13	0.36
10	公共スポーツ施設の整備	-0.28	0.31
11	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.45	1.20
12	地域の福祉にかかわるボランティアの活動や取組	0.07	0.34



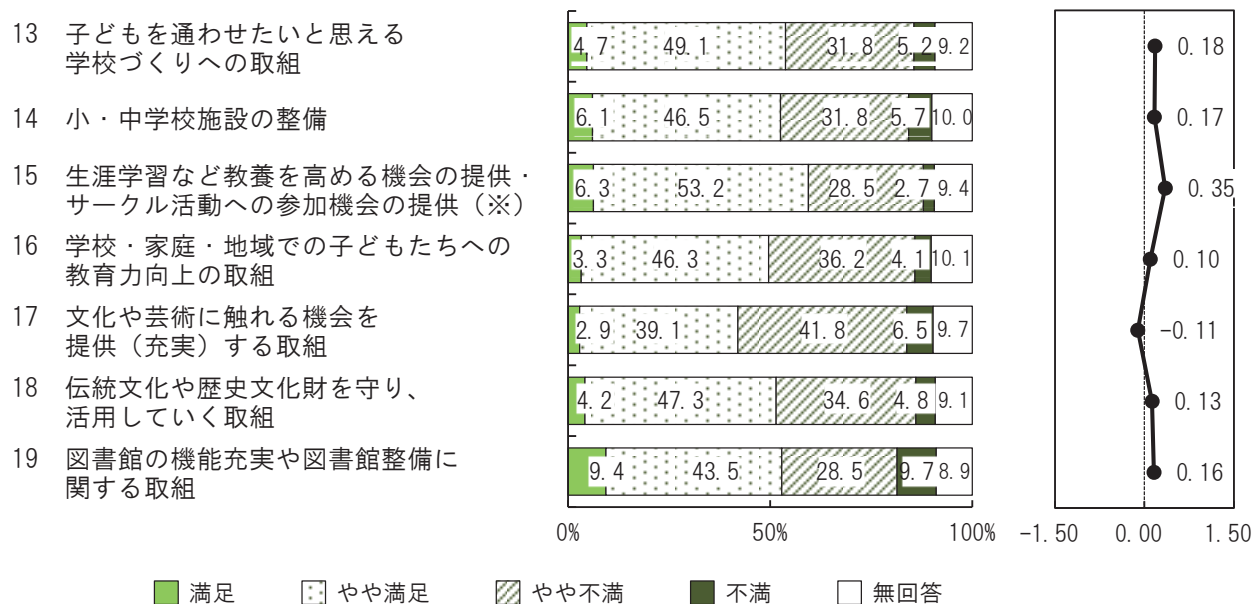
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、《3 こども医療費制度》は満足度が最も高くなっています。一方で、《11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制》は重要度が3番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(27) 満足度・重要度【教育文化】

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

《満足度》

令和3年度 (n=790)



※ 15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供

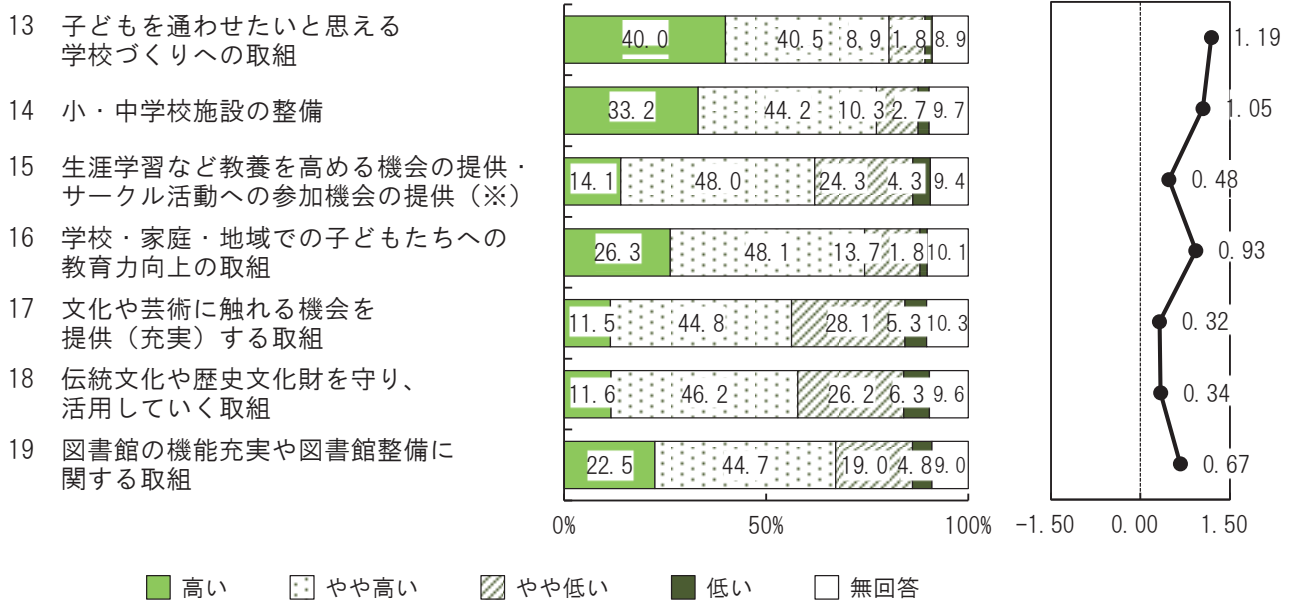
満足度が最も高い項目は、《15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が59.5%、評価点が0.35点となっています。次に満足度が高い項目は、《13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組》（0.18点）、《14 小・中学校施設の整備》（0.17点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《17 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が48.2%、評価点が-0.11点となっています。次に満足度が低い項目は、《16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組》（0.10点）、《18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組》（0.13点）などとなっています。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

《重要度》

令和3年度 (n=790)

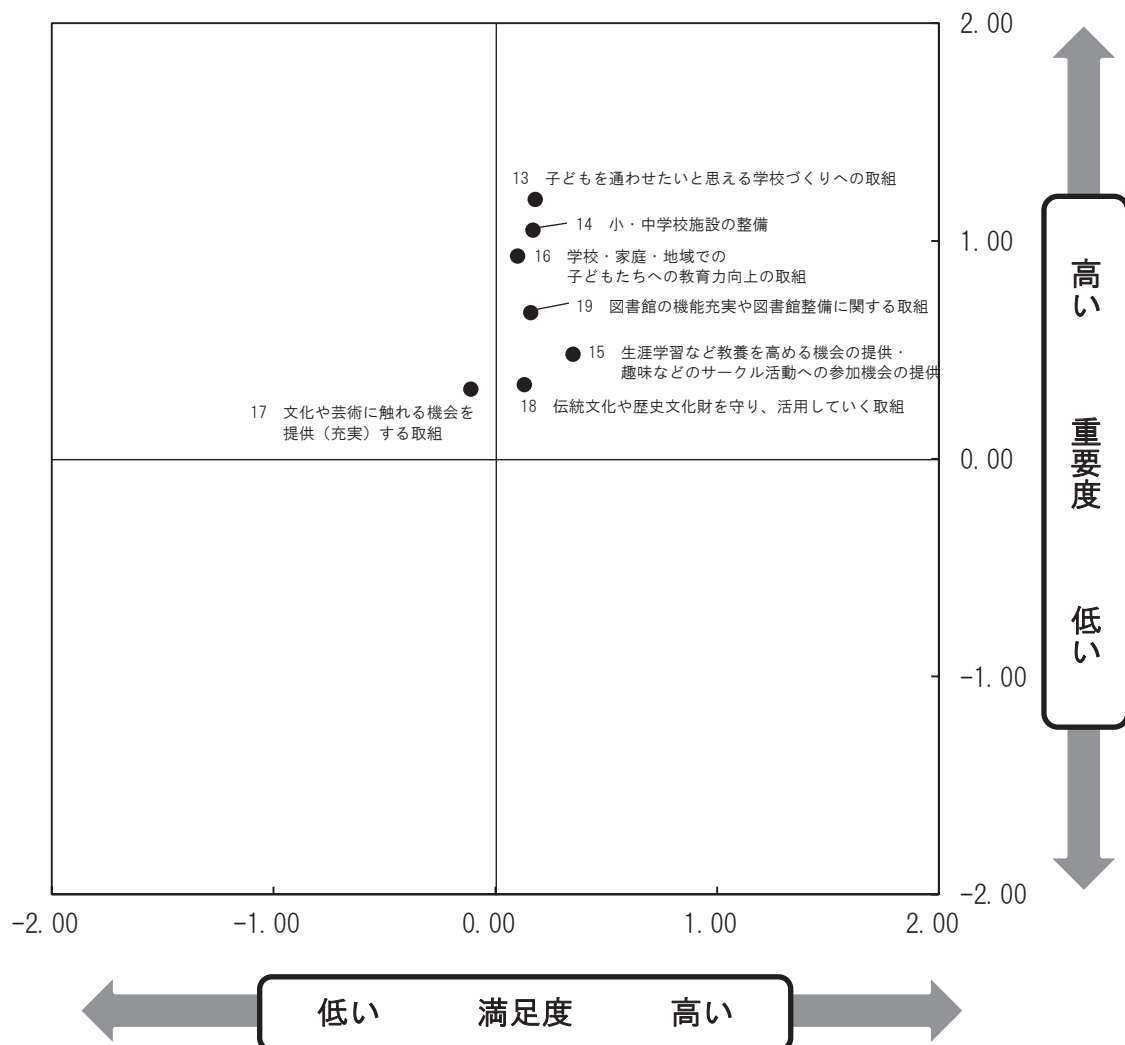


※ 15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供

重要度が最も高い項目は、《13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が80.5%、評価点が1.19点となっています。次に重要度が高い項目は、《14 小・中学校施設の整備》（1.05点）、《16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組》（0.93点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《17 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が33.4%、評価点が0.32点となっています。次に重要度が低い項目は、《18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組》（0.34点）、《15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》（0.48点）などとなっています。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり	満足度	重要度
13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	0.18	1.19
14 小・中学校施設の整備	0.17	1.05
15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供	0.35	0.48
16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取組	0.10	0.93
17 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組	-0.11	0.32
18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取組	0.13	0.34
19 図書館の機能充実や図書館整備に関する取組	0.16	0.67



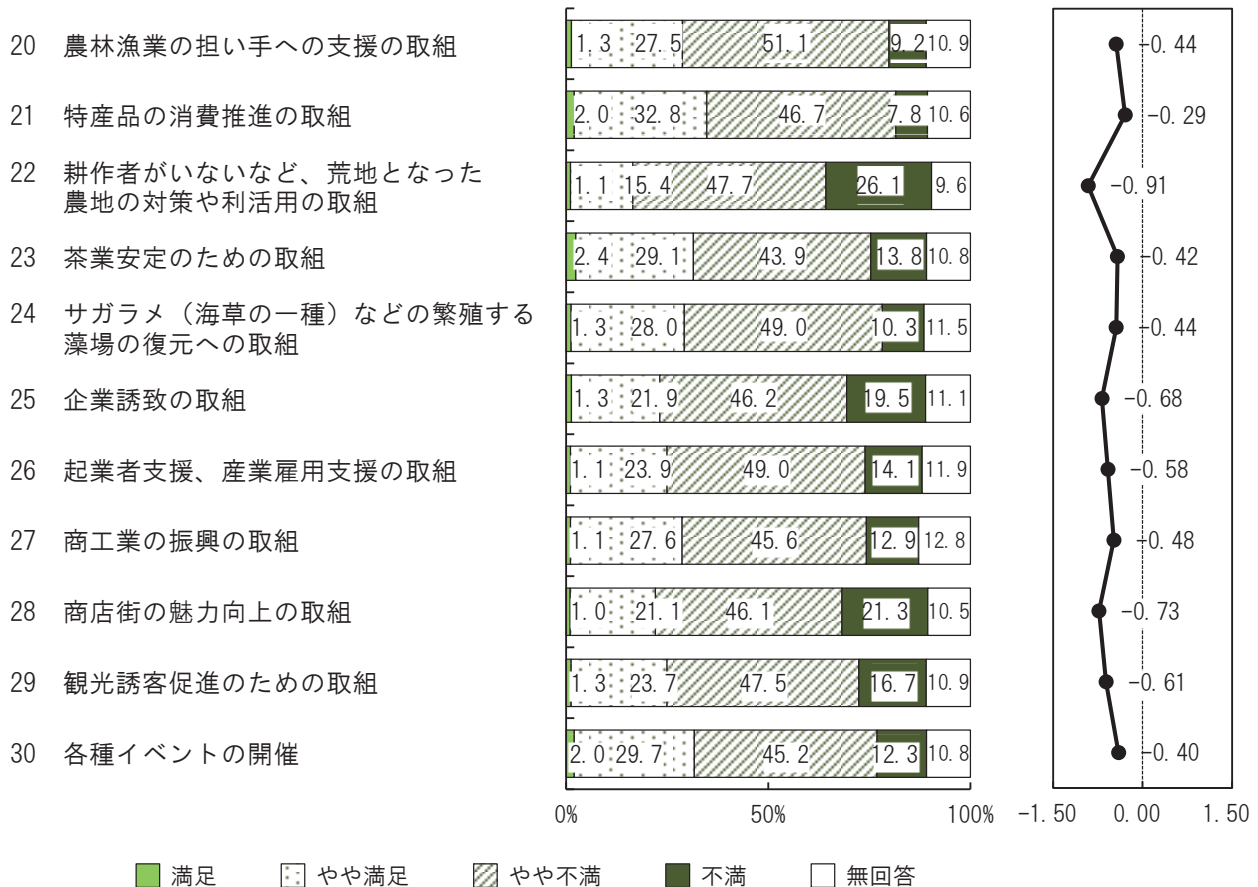
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「15 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供」は満足度が最も高くなっています。一方で、「17 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取組」は満足度・重要度ともに最も低くなっています。

(28) 満足度・重要度【産業経済】

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

《満足度》

令和3年度 (n=790)



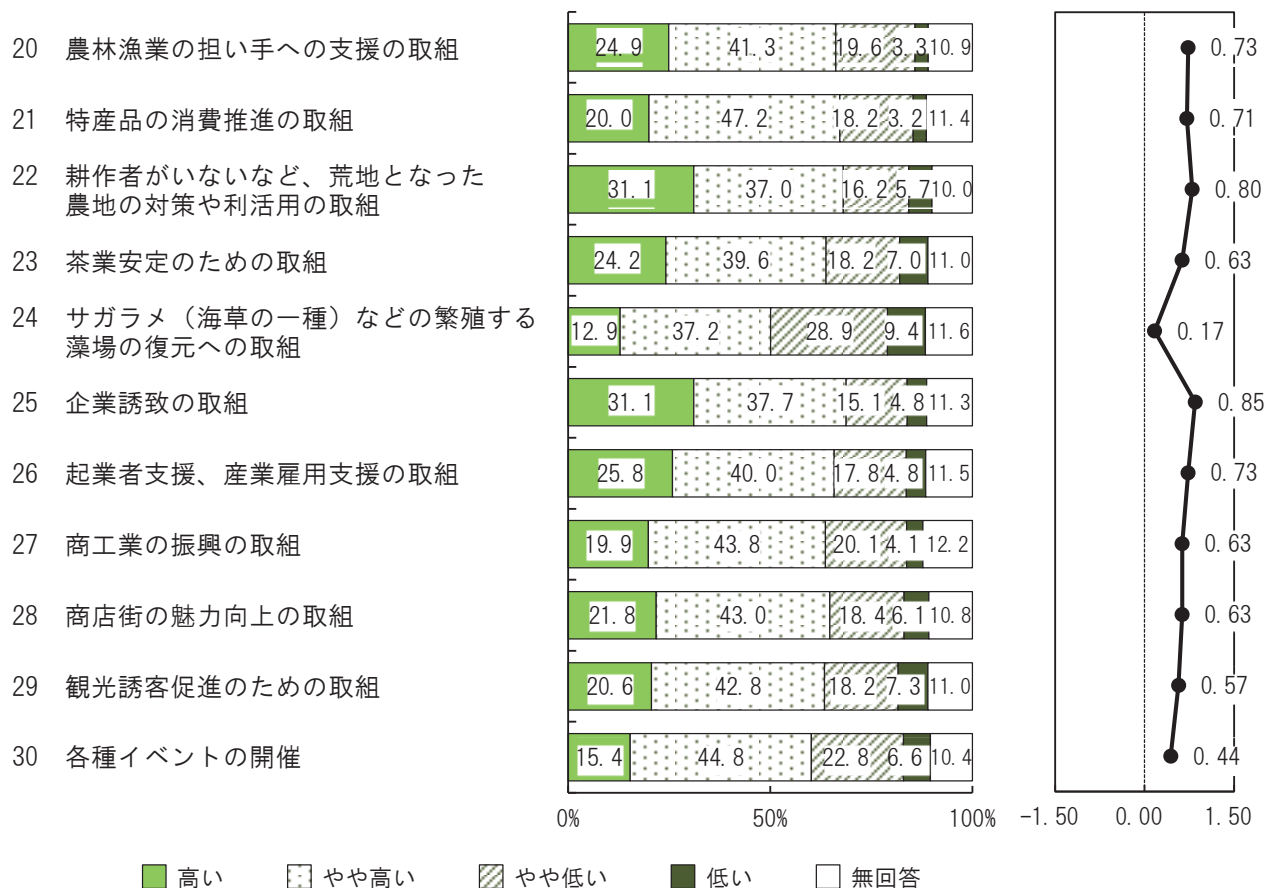
満足度が最も高い項目は、《21 特産品の消費推進の取組》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が34.8%、評価点が-0.29点となっています。次に満足度が高い項目は、《30 各種イベントの開催》（-0.40点）、《23 茶業安定のための取組》（-0.42点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が73.8%、評価点が-0.91点となっています。次に満足度が低い項目は、《28 商店街の魅力向上の取組》（-0.73点）、《25 企業誘致の取組》（-0.68点）などとなっています。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

《重要度》

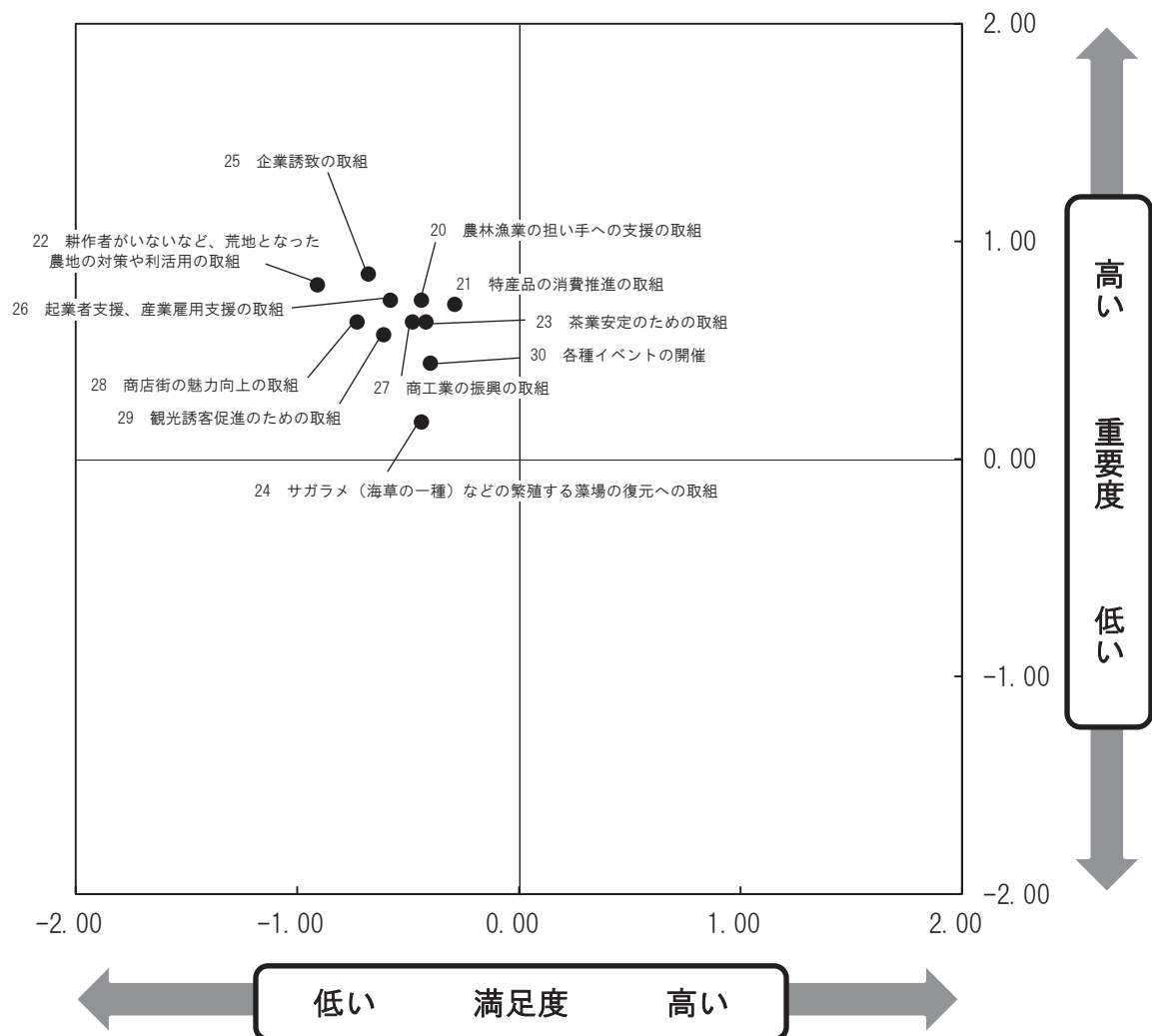
令和3年度 (n=790)



重要度が最も高い項目は、《25 企業誘致の取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が68.9%、評価点が0.85点となっています。次に重要度が高い項目は、《22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組》（0.80点）、《20 農林漁業の担い手への支援の取組》《26 起業者支援、産業雇用支援の取組》（ともに0.73点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《24 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取組》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が38.2%、評価点が0.17点となっています。次に重要度が低い項目は、《30 各種イベントの開催》（0.44点）、《29 観光誘客促進のための取組》（0.57点）などとなっています。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり		満足度	重要度
20	農林漁業の担い手への支援の取組	-0.44	0.73
21	特産品の消費推進の取組	-0.29	0.71
22	耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組	-0.91	0.80
23	茶業安定のための取組	-0.42	0.63
24	サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取組	-0.44	0.17
25	企業誘致の取組	-0.68	0.85
26	起業支援、産業雇用支援の取組	-0.58	0.73
27	商工業の振興の取組	-0.48	0.63
28	商店街の魅力向上の取組	-0.73	0.63
29	観光誘客促進のための取組	-0.61	0.57
30	各種イベントの開催	-0.40	0.44



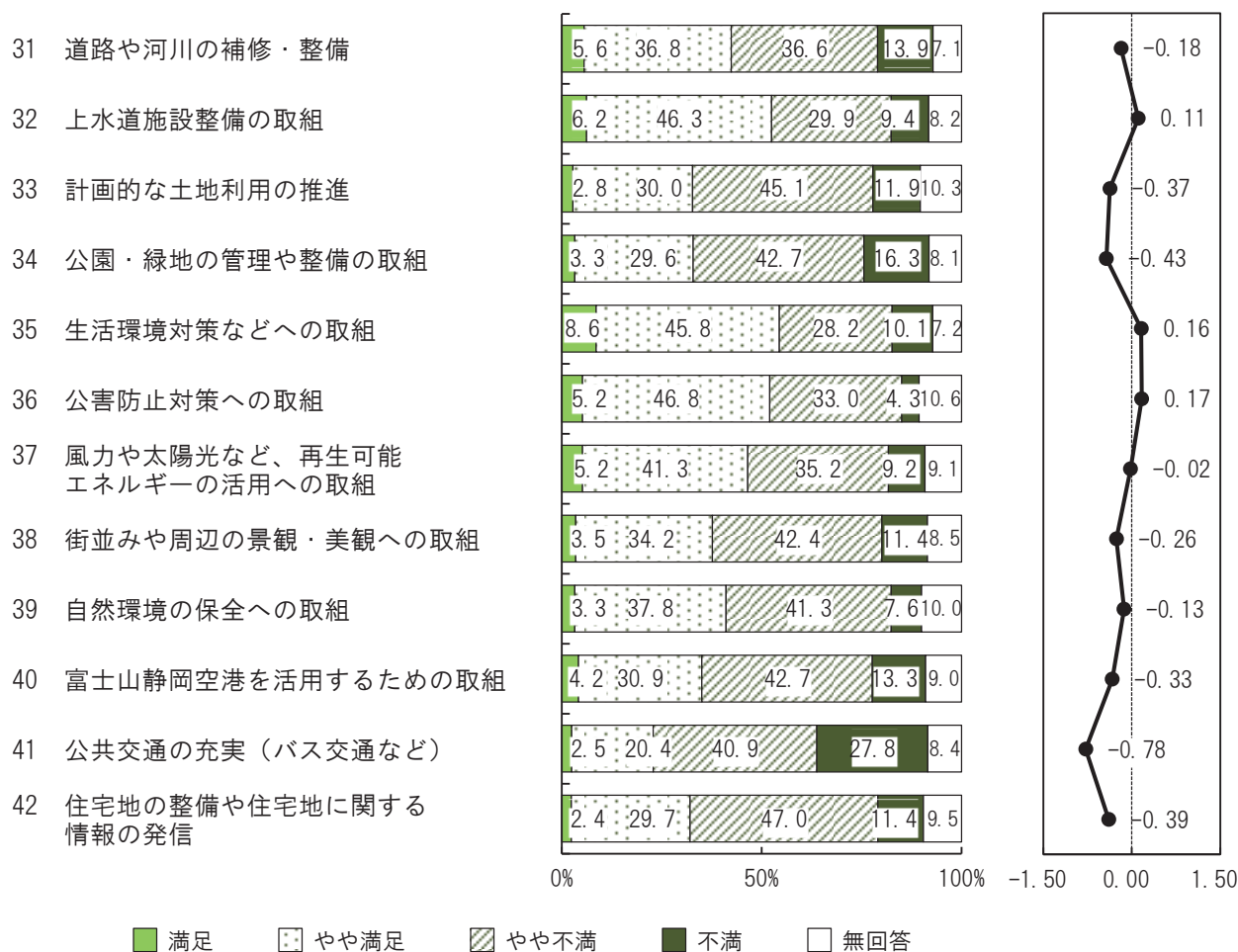
散布図でみると、すべての項目が、満足度が低く、重要度が高い第2象限に位置しています。その中でも、《22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取組》は満足度が最も低くなっています。《25 企業誘致の取組》は重要度が最も高いものの、満足度は3番目に低くなっています。

(29) 満足度・重要度【生活基盤】

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

《満足度》

令和3年度 (n=790)



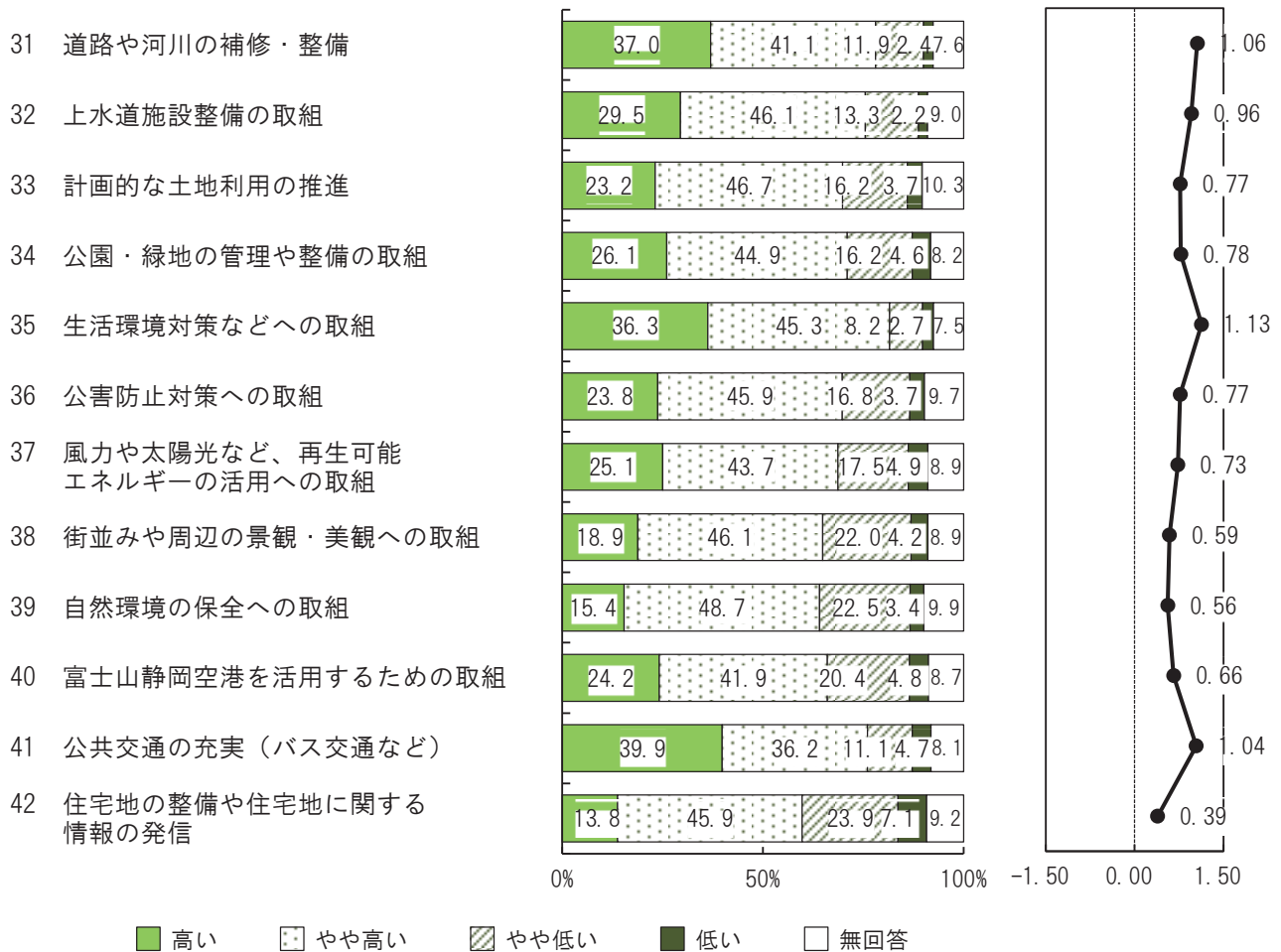
満足度が最も高い項目は、《36 公害防止対策への取組》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が52.0%、評価点が0.17点となっています。次に満足度が高い項目は、《35 生活環境対策などへの取組》（0.16点）、《32 上水道施設整備の取組》（0.11点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《41 公共交通の充実（バス交通など）》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が68.7%、評価点が-0.78点となっています。次に満足度が低い項目は、《34 公園・緑地の管理や整備の取組》（-0.43点）、《42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信》（-0.39点）などとなっています。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

《重要度》

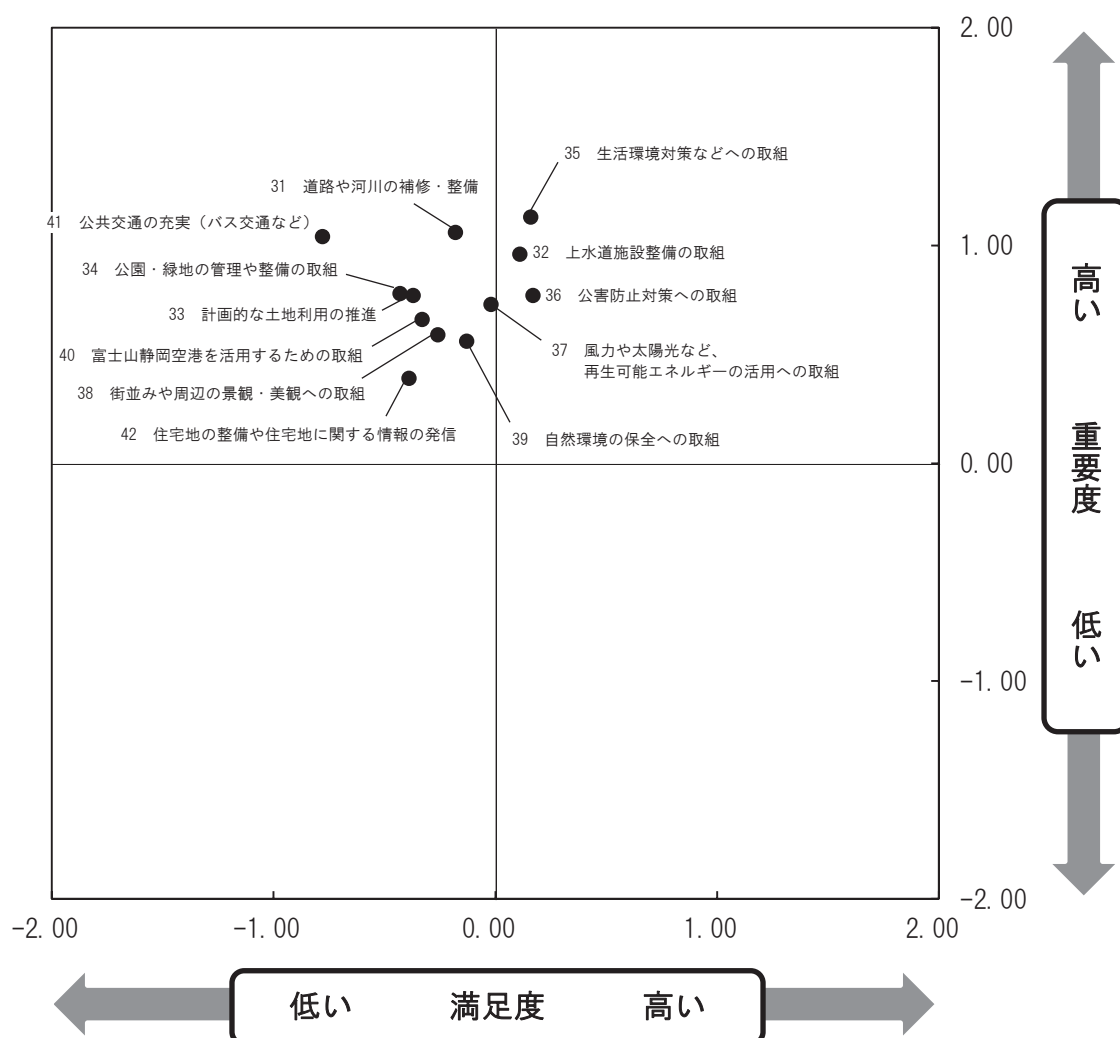
令和3年度 (n=790)



重要度が最も高い項目は、《35 生活環境対策などへの取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が81.6%、評価点が1.13点となっています。次に重要度が高い項目は、《31 道路や河川の補修・整備》（1.06点）、《41 公共交通の充実（バス交通など）》（1.04点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が31.0%、評価点が0.39点となっています。次に重要度が低い項目は、《39 自然環境の保全への取組》（0.56点）、《38 街並みや周辺の景観・美観への取組》（0.59点）などとなっています。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり	満足度	重要度
31 道路や河川の補修・整備	-0.18	1.06
32 上水道施設整備の取組	0.11	0.96
33 計画的な土地利用の推進	-0.37	0.77
34 公園・緑地の管理や整備の取組	-0.43	0.78
35 生活環境対策などへの取組	0.16	1.13
36 公害防止対策への取組	0.17	0.77
37 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	-0.02	0.73
38 街並みや周辺の景観・美観への取組	-0.26	0.59
39 自然環境の保全への取組	-0.13	0.56
40 富士山静岡空港を活用するための取組	-0.33	0.66
41 公共交通の充実（バス交通など）	-0.78	1.04
42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	-0.39	0.39



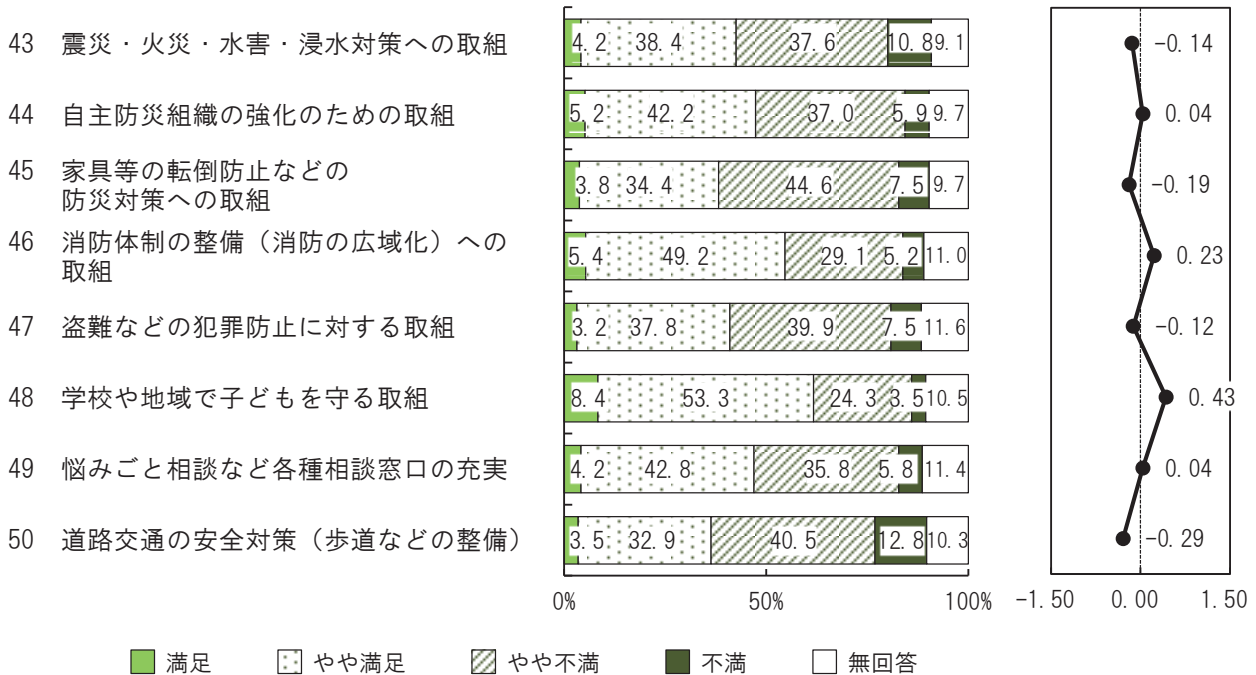
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、《36 公害防止対策への取組》は満足度が最も高くなっています。一方で、《41 公共交通の充実（バス交通など）》は重要度が3番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(30) 満足度・重要度【防災】

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

《満足度》

令和3年度 (n=790)



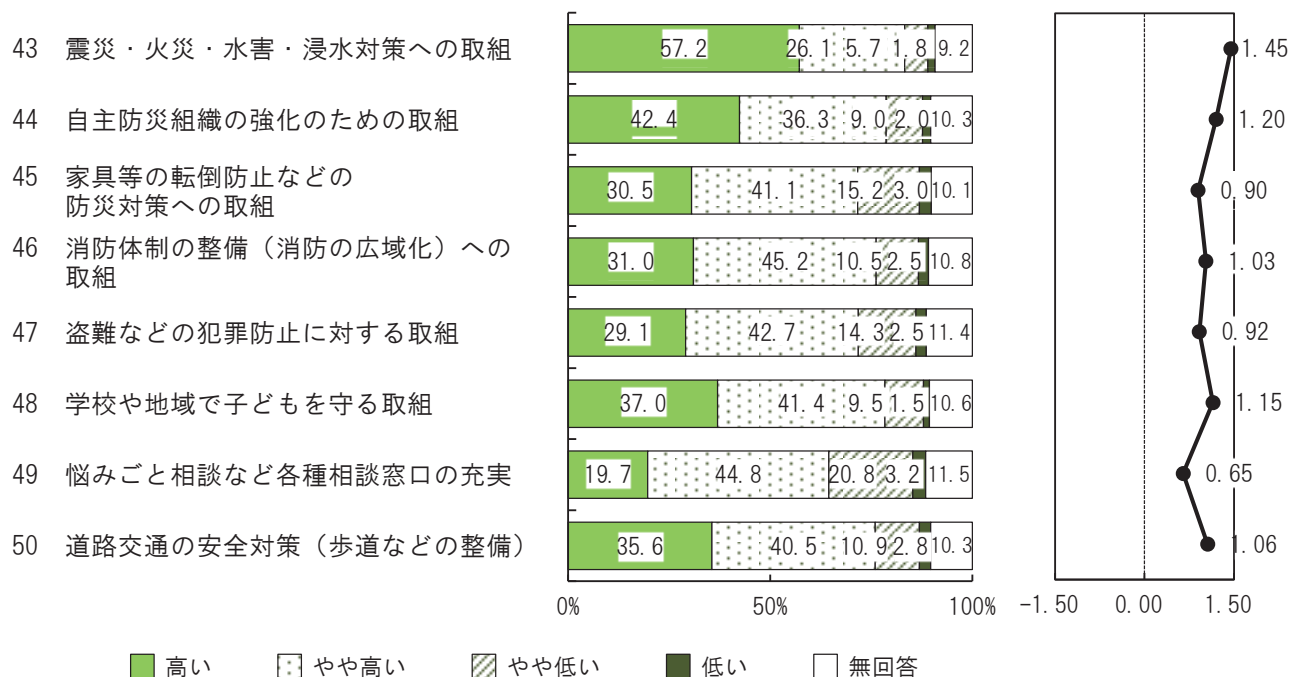
満足度が最も高い項目は、《48 学校や地域で子どもを守る取組》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が61.6%、評価点が0.43点となっています。次に満足度が高い項目は、《46 消防体制の整備（消防の広域化）への取組》（0.23点）、《44 自主防災組織の強化のための取組》《49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実》（ともに0.04点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《50 道路交通の安全対策（歩道などの整備）》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が53.3%、評価点が-0.29点となっています。次に満足度が低い項目は、《45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組》（-0.19点）、《43 震災・火災・水害・浸水対策への取組》（-0.14点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

《重要度》

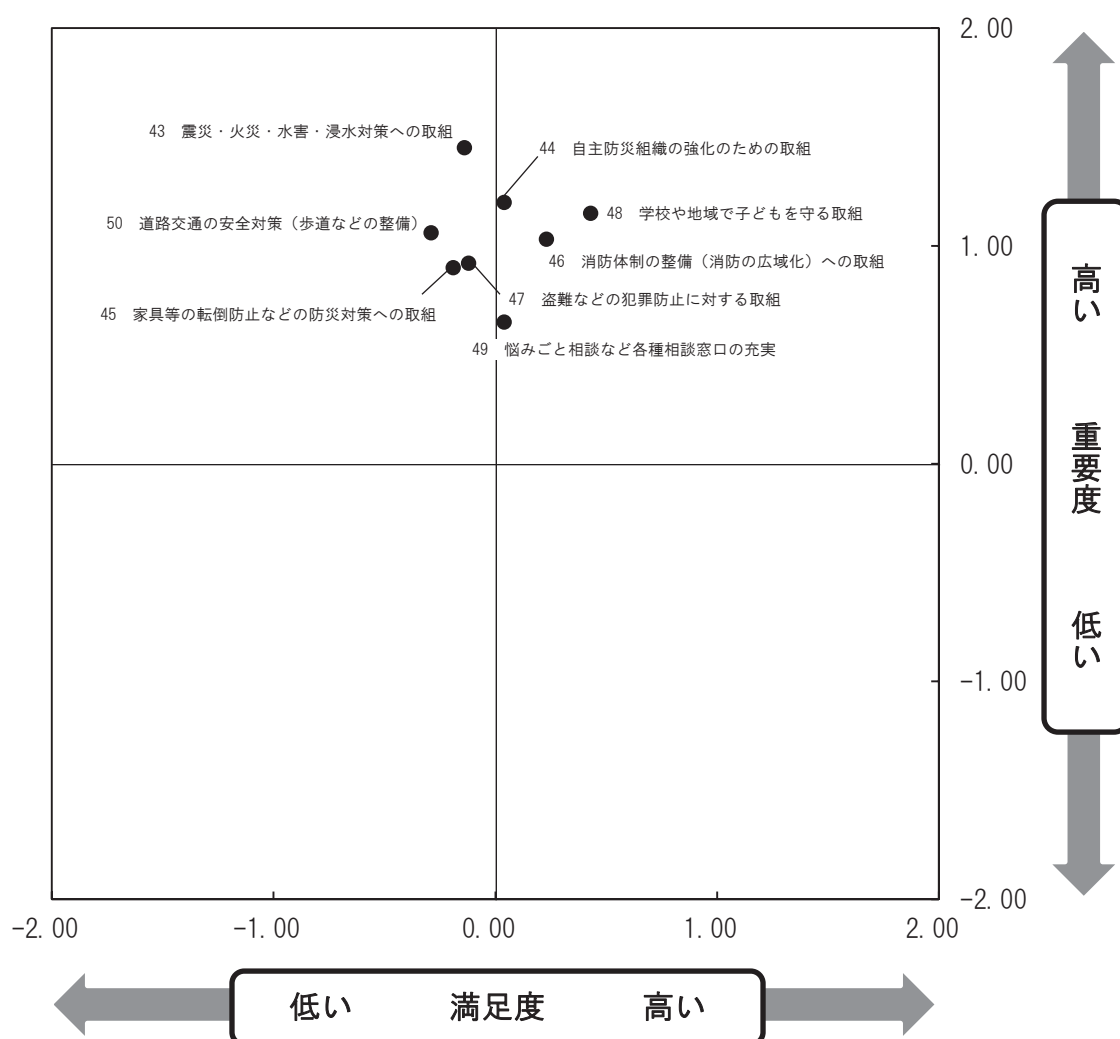
令和3年度 (n=790)



重要度が最も高い項目は、《43 震災・火災・水害・浸水対策への取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が83.3%、評価点が1.45点となっています。次に重要度が高い項目は、《44 自主防災組織の強化のための取組》（1.20点）、《48 学校や地域で子どもを守る取組》（1.15点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が23.9%、評価点が0.65点となっています。次に重要度が低い項目は、《45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組》（0.90点）、《47 盗難などの犯罪防止に対する取組》（0.92点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり	満足度	重要度
43 震災・火災・水害・浸水対策への取組	-0.14	1.45
44 自主防災組織の強化のための取組	0.04	1.20
45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組	-0.19	0.90
46 消防体制の整備（消防の広域化）への取組	0.23	1.03
47 盗難などの犯罪防止に対する取組	-0.12	0.92
48 学校や地域で子どもを守る取組	0.43	1.15
49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.04	0.65
50 道路交通の安全対策（歩道などの整備）	-0.29	1.06



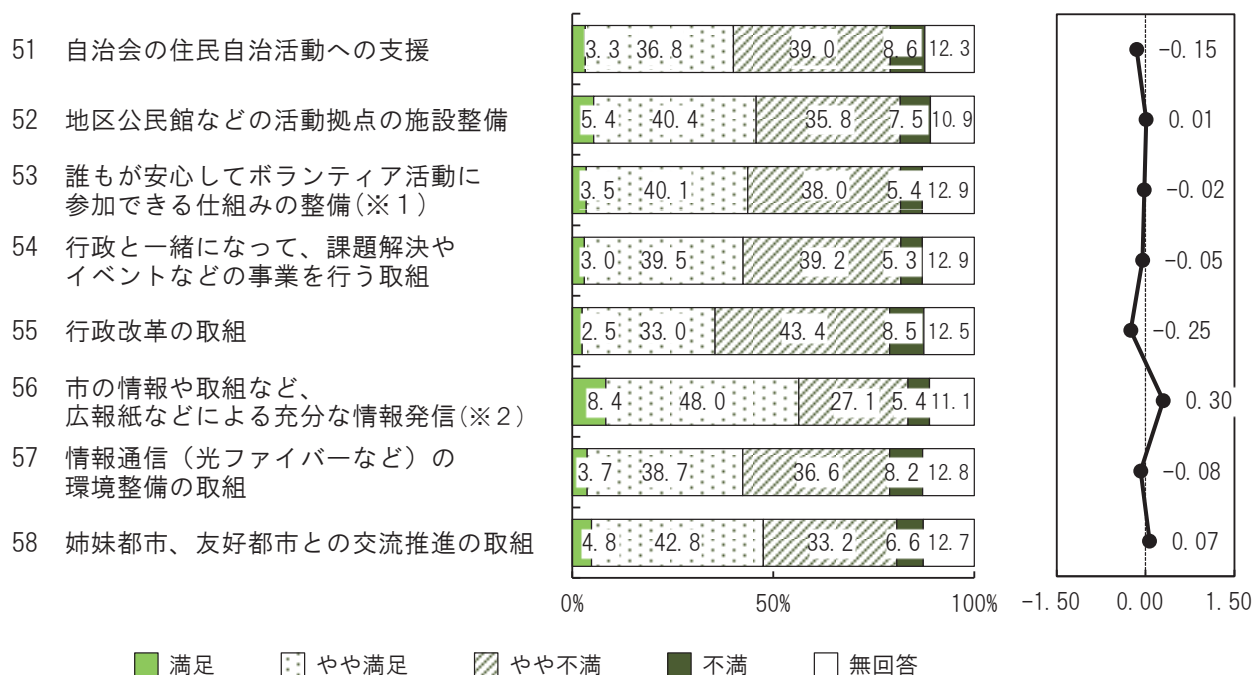
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、《48 学校や地域で子どもを守る取組》は満足度が最も高くなっています。一方で、《50 道路交通の安全対策（歩道などの整備）》は重要度が4番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(31) 満足度・重要度【市政経営】

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

《満足度》

令和3年度 (n=790)



※1 53 NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備

※2 56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信

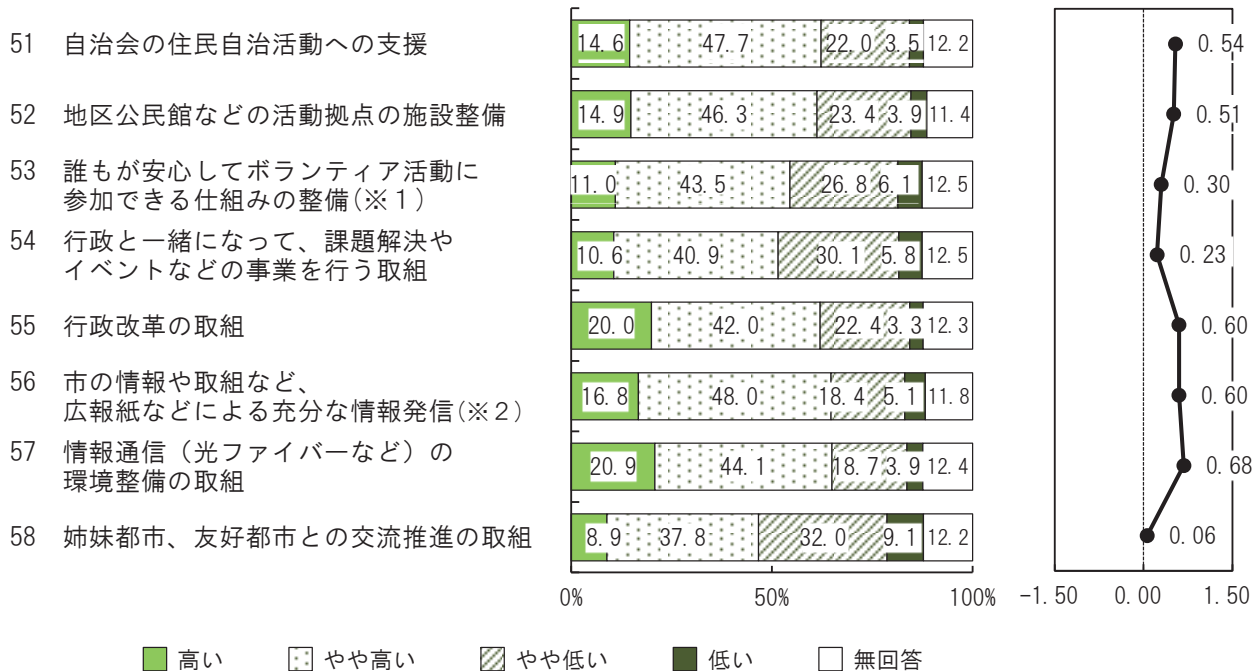
満足度が最も高い項目は、《56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信》で、『満足』(「満足」＋「やや満足」)が56.3%、評価点が0.30点となっています。次に満足度が高い項目は、《58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組》(0.07点)、《52 地区公民館などの活動拠点の施設整備》(0.01点)などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《55 行政改革の取組》で、『不満』(「やや不満」＋「不満」)が51.9%、評価点が-0.25点となっています。次に満足度が低い項目は、《51 自治会の住民自治活動への支援》(-0.15点)、《57 情報通信(光ファイバーなど)の環境整備の取組》(-0.08点)などとなっています。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

《重要度》

令和3年度 (n=790)



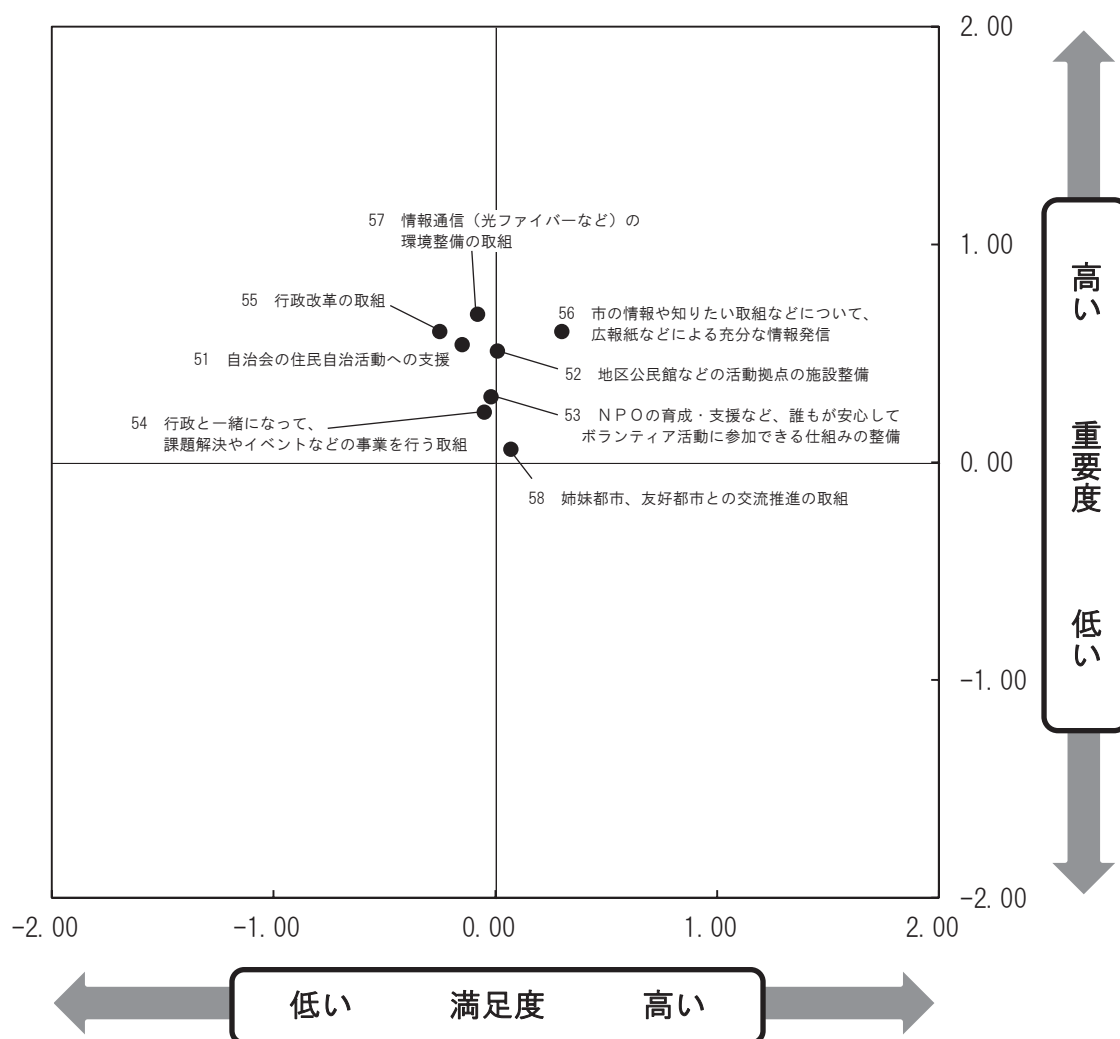
※1 53 NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備

※2 56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信

重要度が最も高い項目は、《57 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が64.9%、評価点が0.68点となっています。次に重要度が高い項目は、《55 行政改革の取組》《56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信》（ともに0.60点）、《51 自治会の住民自治活動への支援》（0.54点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が41.1%、評価点が0.06点となっています。次に重要度が低い項目は、《54 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組》（0.23点）、《53 NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備》（0.30点）などとなっています。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり	満足度	重要度
51 自治会の住民自治活動への支援	-0.15	0.54
52 地区公民館などの活動拠点の施設整備	0.01	0.51
53 NPOの育成・支援など、誰もが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	-0.02	0.30
54 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取組	-0.05	0.23
55 行政改革の取組	-0.25	0.60
56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信	0.30	0.60
57 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取組	-0.08	0.68
58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組	0.07	0.06

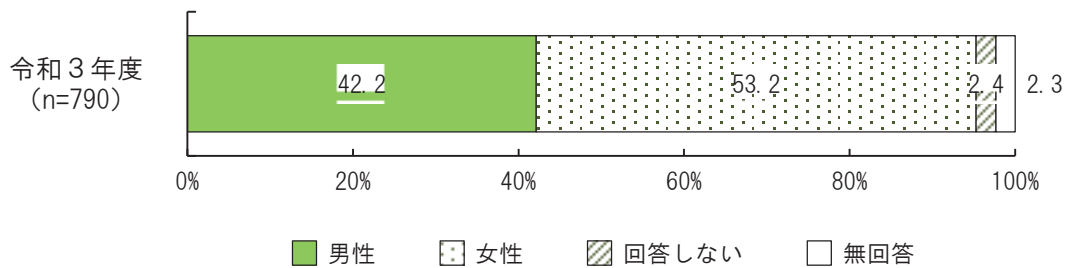


散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、《56 市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる十分な情報発信》は満足度が最も高くなっています。一方で、《55 行政改革の取組》は重要度が2番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

⑨回答者自身のことについて

(32) 回答者の属性 ①性別

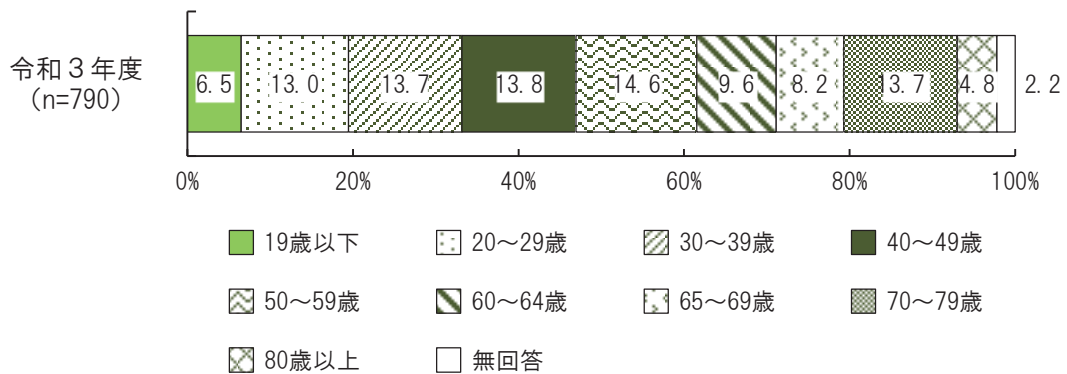
問 26：1 あなたの性別は？（○は1つ）



回答者の性別は、「男性」が42.2%、「女性」が53.2%となっています。

(33) 回答者の属性 ②年齢

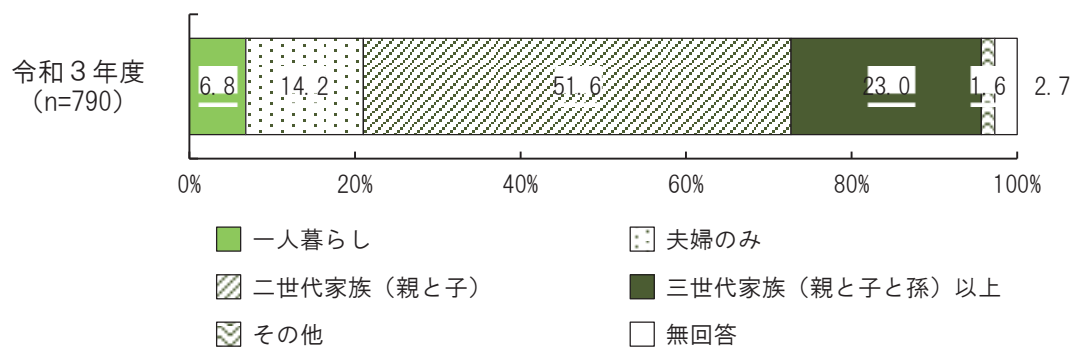
問 26：2 あなたの年齢は？（○は1つ）



回答者の年齢は、「50～59歳」が14.6%と最も多く、次いで「40～49歳」が13.8%、「30～39歳」「70～79歳」がともに13.7%などとなっています。

(34) 回答者の属性 ③同居世帯の構成

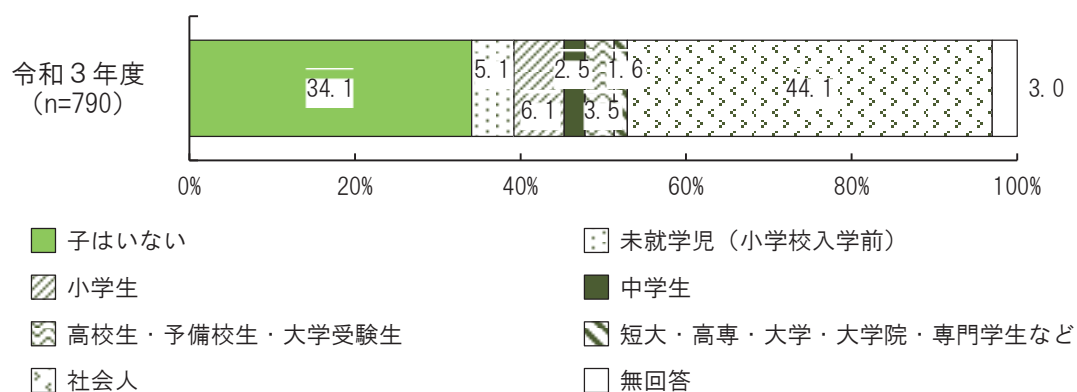
問 26：3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○は1つ）



回答者の同居世帯の構成は、「二世世代家族（親と子）」が51.6%と最も多く、次いで「三世世代家族（親と子と孫）以上」が23.0%、「夫婦のみ」が14.2%などとなっています。

(35) 回答者の属性 ④子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろ

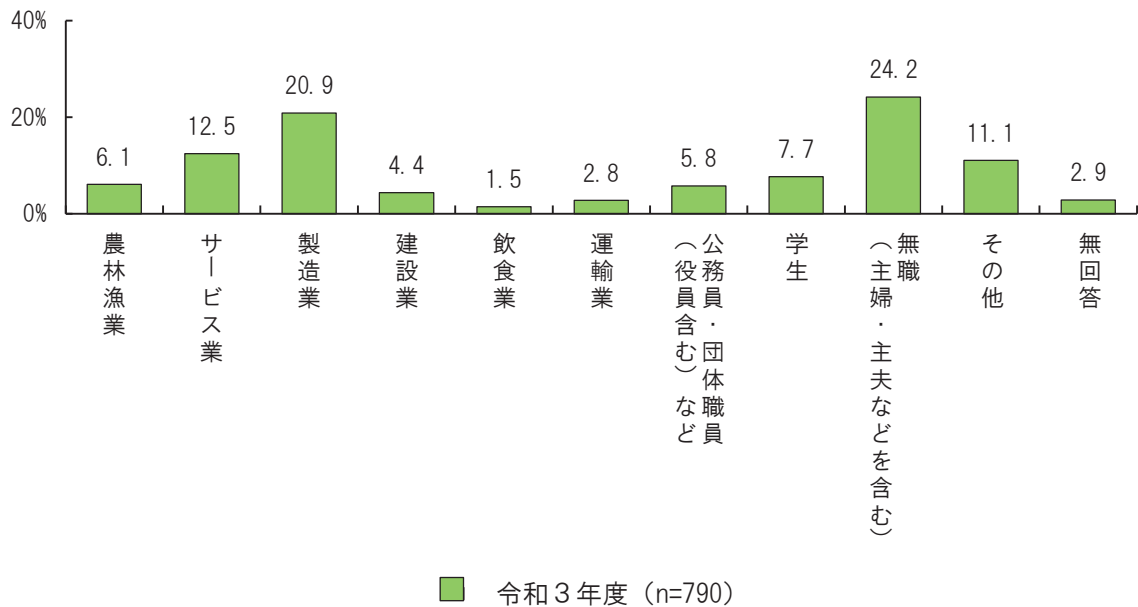
問 26：4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。（○は1つ）



回答者の子どもの有無及び、一番上の子どもの年ごろは、「社会人」が44.1%と最も多く、次いで「子はいない」が34.1%、「小学生」が6.1%などとなっています。

(36) 回答者の属性 ⑤職業

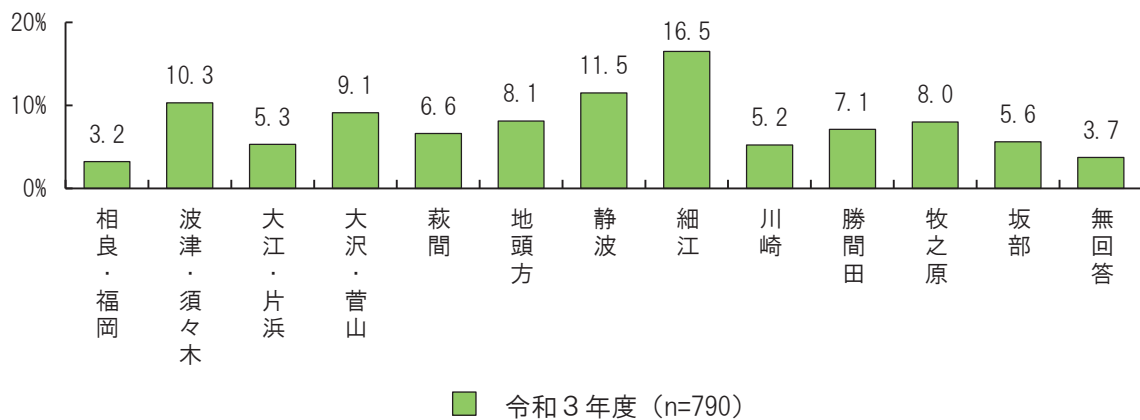
問 26：5 あなたの職業は？（○は1つ）



回答者の職業は、「無職（主婦・主夫などを含む）」が 24.2%と最も多く、次いで「製造業」が 20.9%、「サービス業」が 12.5%などとなっています。

(37) 回答者の属性 ⑥居住地域

問 26：6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？（○は1つ）



回答者の居住地域は、「細江」が 16.5%と最も多く、次いで「静波」が 11.5%、「波津・須々木」が 10.3%などとなっています。

3. 調査票

牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力のお願い ～

日頃から市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、市民の皆様には、日々、新型コロナウイルスの感染症防止対策や新しい生活様式の実践に努めていただき感謝いたします。一日も早い収束と、皆様が平穏な生活を送れるよう、心からお祈り申し上げます。

さて、牧之原市では「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXTまきのはら」を将来都市像とした第2次総合計画に基づき、市政経営を進めています。

この市民意識調査は、総合計画に設定している数値目標の進捗をチェックするとともに、市民の皆様の声をお聴きするために実施しています。

調査の対象は、市内にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,400人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人は特定されませんので、ご安心ください。設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様声を市政に反映したく思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

なお、調査結果については、本年8月に公表を予定しています。

令和3年4月

牧之原市長 杉本基久雄



■記入にあたってのお願い

1. この調査はあて名のご本人がご記入ください。

※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですがご家族等による聞取りにてご記入ください。

(ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください。)

2. 回答は、無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに「1つ」「3つ以内」などそれぞれ指定されています。

お間違えのないようお気を付けてください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例 (①)

■調査票の返送と調査に関するお問い合わせ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒に入れ、牧之原市 企画政策部 秘書政策課までご返送ください。(切手は不要です。)

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ5月12日(水)までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

牧之原市 企画政策部 秘書政策課(担当: 鈴木・太田) 電話0548-23-0052

＜牧之原市での暮らしについてお聞きます＞

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 住み続けたい

2. 市内の他の場所へ移りたい

3. 市外へ移りたい

4. わからない

→ (問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きます。)

問2 他の場所へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから

2. 通勤や通学など交通面が不便だから

3. 道路などの生活基盤が整備されていないから

4. 子育てや教育の環境が良くないから

5. 医療や介護の環境が良くないから

6. 自然環境が悪化しているから

7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから

8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから

9. 知人や親族がいないから

10. 故郷ではないから

11. 勤めたい会社が市内にないから

12. その他（具体的に：

）

問3 市内で転居するとしたら、どのような場所を重視しますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

※問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」と答えなかった方も、市内で転居するという仮定でお答えください。

1. 災害の心配がないところ

2. 災害の心配はあるが、対策がされているところ
(避難タワーや避難路など)

3. 市街地周辺で高台エリア

4. 幹線道路やIC周辺など交通の利便性が高いところ

5. 公共交通機関へのアクセスの良いところ

6. 商店や公共施設の近く

7. 学校の近く

8. 職場の近く

9. 病院や医療施設の近く

10. 新興住宅地

11. 自然豊かで緑の多いところ

12. 昔から慣れ親しんだところ
(過去に住んでいた、通い慣れた場所など)

13. その他（具体的に：

）

問4 あなたは、牧之原市のことを友人・知人におすすめする気持ちがどのくらいありますか？最も強く思う場合を10、まったく思わない場合を0として、あてはまるものに1つ○印をつけてください。

10 ・ 9 ・ 8 ・ 7 ・ 6 ・ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ 0

→ (問4で「10・9・8」と答えた方にお聞きます。)

問5 牧之原市をおすすめしたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 海岸線や里山などの景観 | 2. 四季の風景 |
| 3. 豊かな食 | 4. ものづくり産業 |
| 5. 特産物 | 6. 魅力ある店舗 |
| 7. 観光施設、観光イベント | 8. 地域の祭りや伝統行事 |
| 9. 歴史文化 | 10. 交通インフラ ^(注1) |
| 11. 地域の活動や人のつながり | 12. 牧之原らしい暮らし |
| 13. 牧之原市で子育てすること | 14. 賑わい創出の取組 |
| 15. 活躍できる場があること | |
| 16. その他（具体的に：_____） | |

(注1)交通インフラとは、道路や公共交通等の交通基盤のこと。

<原子力発電についてお聞きます>

問6 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい |
| 2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい |
| 3. どちらともいえない |
| 4. わからない |
| 5. その他（具体的に：_____） |

＜女性にやさしいまちについてお聞きします＞

当市では、若者の市外への流出が進んでおり、それに伴い出生数も大きく減少しています。

当市の男女別の人口構成では、20代から40代で女性が男性に比べて少ないため、若者世代の定住や出生数を増やすためには、女性の定住意欲を高めるような事業の創出、施策の充実が必要であると考えています。

そのため、当市は「女性にやさしいまち」を目指し、仕事、結婚、子育て、日常生活の各ライフステージにおいて、女性が暮らしやすく、活躍できる環境を充実していきます。

問7 あなたは、牧之原市は女性が暮らしやすいまちだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

問8 あなたは、女性にとって暮らしやすいまちにするために、市全体で力を入れるべき分野は何かと思いますか？次の中から2つ以内で選んで○印をつけてください。

また、選んだ項目について、具体的に取組んでほしいことがあれば、カッコ内に記入してください。

1. 仕事【例：働きたい職種がある、育児と仕事の両立ができるなど】 (具体的に：)
2. 結婚【例：出会いの場があるなど】 (具体的に：)
3. 子育て【例：子どもを産み育てやすい環境づくりなど】 (具体的に：)
4. 日常生活【例：買い物や食事などで楽しく過ごせる施設の充実など】 (具体的に：)
5. その他 (具体的に：)

※記入できる範囲で構いませんので、ご協力をお願いします。

<子育て・教育環境についてお聞きます>

問9 あなたは、牧之原市は子どもを育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

問10 あなたは、子どもを育てやすい環境にするため、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実 | 2. 親子で遊べる施設や公園の整備 |
| 3. 子育てに関する経済的支援の充実 | 4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実 |
| 5. 教育・文化水準の向上 | 6. 子どもを預かる施設の充実 |
| 7. 地震・津波などの災害対策 | 8. 地域で子どもを育てる意識の向上 |
| 9. 子育てについての積極的な情報提供 | 10. 家族や地域が育児に参加することの啓発 |
| 11. その他（具体的に： _____） | |

問11 あなたは、学校教育（小学校・中学校）の中で子どもに身につけさせたい力は、どのようなものだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 教科の基礎的な学力 | 2. 実際の場面で使える英語力 |
| 3. コンピュータを活用する力 | 4. 音楽・美術など芸術面の能力や情操 |
| 5. 体力や運動能力 | 6. ものごとを論理的に考える力 |
| 7. 自分の考えを表現する力 | 8. ものごとを計画的に行う力 |
| 9. 新しいものを生み出す創造的な力 | 10. 自ら学ぼうとする意欲 |
| 11. 善悪を判断する力 | 12. 人間関係を築く力（コミュニケーション力） |
| 13. 社会で役立とうとする心 | 14. 基本的な生活習慣 |
| 15. その他（具体的に： _____） | |

<公共施設の最適化についてお聞きします>

日本では、昭和40年代から50年代における、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。

これらの公共施設は、老朽化により、近い将来一斉に作り直さなければいけない時期を迎えますが、人口や経済構造が変化する中で、全ての公共施設を維持・更新していくことが財政的に難しくなるため、当市では公共施設の最適化に向け、計画的に取り組んでいきます。

問12 牧之原市では、この「公共施設の最適化」に対応するための取組を行っています。あなたは、市のどのような取組を知っていますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|---------------------|--------------|--------------|
| 1. 学校再編計画 | 2. 保育施設民営化 | 3. 片浜小学校の利活用 |
| 4. 老朽化施設の取り壊し | 5. 消防団詰所の統廃合 | |
| 6. その他（具体的に： _____） | | |
| 7. 知らない | | |

→（問12で「1. ～ 6. 」と答えた方にお聞きします。）

問13 その情報を何で見聞きましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|---------------------|---------------|---------------|
| 1. 広報まきのほら | 2. ホームページ | 3. 牧之原市公式LINE |
| 4. 市の会合 | 5. 自治会（区・町内会） | 6. 各種団体の活動や会合 |
| 7. 議員の話 | 8. 職員の話 | |
| 9. その他（具体的に： _____） | | |

問14 「公共施設の最適化」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | |
|-----------------|
| 1. 容認できる |
| 2. ある程度までは容認できる |
| 3. 容認できない |

<産業・雇用についてお聞きします>

問15 あなたは、市の産業を全体的に見て、活力(元気)があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う | 2. ある程度思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない |

問16 あなたは、市のどの産業に活力があると思いますか。各産業に1つずつ○印をつけてください。

産業		活力があるか	大いに ある	ある 程度 ある	どちらとも いえない	あまり ない	まったく ない	わから ない
【記入例】観光業			1	2	3	4	5	6
1	茶業		1	2	3	4	5	6
2	農業（茶業除く）		1	2	3	4	5	6
3	製造業（茶加工業除く）		1	2	3	4	5	6
4	商業・サービス業		1	2	3	4	5	6
5	観光業		1	2	3	4	5	6

問17 あなたは、市の産業が活力を持つために、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 企業誘致の促進 | 2. 既存産業の設備投資などへの支援 |
| 3. 特産品・製品の市外へのPR | 4. 販路開拓や市場調査への支援 |
| 5. 後継者の育成への支援 | 6. 地域資源の活用 |
| 7. 起業・新規就農に対する支援 | 8. イベントの開催 |
| 9. 異なる業種との交流の促進 | 10. 事業者の意識改革 |
| 11. 新たな特産品、新製品、新技術の開発支援 | |
| 12. その他（具体的に： | ） |

<健康寿命についてお聞きします>

問18 あなたが、健康について気を付けていることは何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 睡眠・休養を十分にとる
2. 食事・栄養に気を配っている
3. 定期的に歯科検診を受けている
4. 定期的に健康診断を受けている
5. 運動やスポーツをするようにしている
6. ストレスをためないようにしている
7. 酒・たばこを控えている、または、やめている
8. 不安や悩みを相談できる人間関係を築いている
9. 新聞・テレビ等で健康の知識を増やしている
10. 運動に係る行事（グラウンドゴルフ等）に参加している
11. 趣味活動やクラブ活動に参加している
12. 地域活動や奉仕活動等に参加している
13. その他（具体的に： _____）
14. 健康について気を付けていることはない

問19 健康寿命を伸ばすために、市が力を入れるべき取組は何だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 健診の受診環境の拡充（土日や、複数の健診がまとめて受診できるなど）
2. 食事のバランスや栄養に関する食育講座の開催・情報発信
3. 運動しやすい環境の充実や整備
4. 良質な睡眠のとり方やストレス軽減・解消に関する啓発
5. 適正飲酒に関する啓発
6. 受動喫煙防止の環境整備や啓発
7. 虫歯予防や歯周病予防の健診や相談
8. 歯科衛生士や管理栄養士等の専門職による健康講座
9. 認知症予防の教室や相談
10. その他（具体的に： _____）

＜行政サービスのデジタル化についてお聞きします＞

デジタル技術が日々進歩し市民生活に浸透する中、国においても「デジタル庁」を創設するなど、新たな生活様式への変革を図る「デジタルトランスフォーメーション（DX）」の動きを加速させています。

本市としても、将来にわたり持続可能で安定した行政運営を行い、市民の利便性を向上させるため、今後、行政サービスのデジタル化を計画的に進めていきます。

問20 あなたが現在、個人でインターネットを利用している端末は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. パソコン | 2. スマートフォン |
| 3. 携帯電話（スマートフォンを除く） | 4. タブレット型端末 |
| 5. 家庭用ゲーム機 | 6. インターネットに接続できるテレビ |
| 7. その他（具体的に：_____） | |
| 8. インターネットは利用していない | |

問21 デジタル技術の導入によって、どのような行政サービスの利便性向上に期待しますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 窓口での手続きが簡単にでき、待ち時間も減る |
| 2. オンライン申請により、届け出や申請のために窓口に出向くことが不要になる |
| 3. 市からの情報提供が強化される |
| 4. 業務の効率化により行政コストが削減できる |
| 5. 窓口や市税での支払いに、キャッシュレス決済サービス（クレジットカードや電子マネー）が利用できる |
| 6. 飲食や買い物がお得になるサービス（スタンプラリー、ポイント還元）が利用できる |
| 7. 行政が保有するデータを利用・加工できる（オープンデータ） |
| 8. パソコンやスマートフォンの操作支援や講習会が受けられる |
| 9. その他（具体的に：_____） |
| 10. 期待することはない |

＜市からの情報発信についてお聞きします＞

問22 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|----------|
| 1. 子育て | 2. 健康・医療・福祉 | 3. 防災・防犯 |
| 4. 道路整備 | 5. 観光・イベント | 6. 環境 |
| 7. 教育 | 8. 産業 | 9. 生活 |
| 10. スポーツ | 11. 文化・歴史 | |
| 12. その他（具体的に： | | ） |

問23 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 広報まきのはら | 2. ホームページ | 3. Facebook |
| 4. 牧之原市公式LINE | 5. 教育委員会だより | 6. 新聞、テレビ、ラジオ |
| 7. 区、町内会の会合 | 8. 市民グループの会合 | 9. 議員の話 |
| 10. 職員の話 | 11. 公共施設の資料等 | 12. 議会だより |
| 13. その他（具体的に： | | ） |

→（問23で「1. 広報まきのはら」と答えた方にお聞きします。）

問24 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------------|----------------|
| 1. 表紙 | 2. 特集・お知らせ | 3. 市政情報 |
| 4. まちのわだい | 5. 健康ひろば（各検診日程等） | 6. 困りごと・悩みごと相談 |
| 7. 図書館へ行こうよ | 8. 集まれ！まきのはらKIDS | 9. 生活情報 |
| 10. 巻末特集 | 11. 輝け！未来（裏表紙） | |

＜牧之原市の行政サービスについてお聞きします＞

問25 あなたは、市の取組について満足していますか？また、その取組が重要であると考えますか？
それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取組によっては、あなたに直接関係のない取組も含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

(満足度・重要度について、○はそれぞれ1つつ)

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取組	1	2	③	4	1	②	3	4
【健康福祉】支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり								
1 子育て支援の取組 (放課後児童クラブや学習支援教室などの取組、 子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
3 こども医療費制度 (医療費の助成により高校生まで個人負担なし)	1	2	3	4	1	2	3	4
4 こども医療費以外の経済的支援制度	1	2	3	4	1	2	3	4
5 高齢者への福祉サービスの取組 (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
6 障がい者への福祉サービスの取組 (生活支援の取組など)	1	2	3	4	1	2	3	4
7 福祉施設などの整備 (介護の必要な方や障がいのある方が利用する 施設などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
8 健康づくりサービスの推進 (介護予防、健診、スポーツ支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
9 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
10 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
11 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (指定管理者制度により運営されています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
12 地域の福祉にかかわるボランティアの活動や 取組	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ← → 不満				高い ← → 低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり								
13 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取組	1	2	3	4	1	2	3	4
14 小・中学校施設の整備 (校舎の改修やトイレの洋式化、空調の設置など)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはり塾や田沼塾などの取組)	1	2	3	4	1	2	3	4
16 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力 向上の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
17 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する 取組	1	2	3	4	1	2	3	4
18 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく 取組	1	2	3	4	1	2	3	4
19 図書館の機能充実や図書館整備に関する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり								
20 農林漁業の担い手への支援の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
21 特産品の消費推進の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
22 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対 策や利活用の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
23 茶業安定のための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
24 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場 の復元への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
25 企業誘致の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
26 起業家支援、産業雇用支援の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
27 商工業の振興の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
28 商店街の魅力向上の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
29 観光誘客促進のための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
30 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←→ 不満				高い ←→ 低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり								
31 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
32 上水道施設整備の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
33 計画的な土地利用の推進 (住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担)	1	2	3	4	1	2	3	4
34 公園・緑地の管理や整備の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
35 生活環境対策などへの取組 (ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援、環境美化の啓発など)	1	2	3	4	1	2	3	4
36 公害防止対策への取組 (工場や事業所に対する取組)	1	2	3	4	1	2	3	4
37 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
38 街並みや周辺の景観・美観への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
39 自然環境の保全への取組 (活動団体への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
40 富士山静岡空港を活用するための取組 (情報発信や交流の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
41 公共交通の充実(バス交通など) (通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取組)	1	2	3	4	1	2	3	4
42 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ← → 不満				高い ← → 低い			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり								
43 震災・火災・水害・浸水対策への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
44 自主防災組織の強化のための取組 (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取組など)	1	2	3	4	1	2	3	4
45 家具等の転倒防止などの防災対策への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
46 消防体制の整備（消防の広域化）への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
47 盗難などの犯罪防止に対する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
48 学校や地域で子どもを守る取組 (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
49 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
50 道路交通の安全対策（歩道などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4
【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり								
51 自治会の住民自治活動への支援 (お金と人の支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
52 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
53 NPOの育成・支援など、誰もが安心して ボランティア活動に参加できる仕組みの整備	1	2	3	4	1	2	3	4
54 行政と一緒に、課題解決やイベントな どの事業を行う取組 (市では協働を推進する)	1	2	3	4	1	2	3	4
55 行政改革の取組（効果的、効率的な取組）	1	2	3	4	1	2	3	4
56 市の情報や知りたい取組などについて、 広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
57 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の 取組	1	2	3	4	1	2	3	4
58 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組 (市では三戸町、松川町などの交流推進に取り 組む)	1	2	3	4	1	2	3	4

<あなたご自身のことについてお聞きます>

問 26 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1 あなたの性別は？

1. 男性
2. 女性
3. 回答しない

2 あなたの年齢は？

1. 19 歳以下 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳 5. 50～59 歳
6. 60～64 歳 7. 65～69 歳 8. 70～79 歳 9. 80 歳以上

3 あなたを含む同居世帯の構成は？

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世世代家族（親と子）
4. 三世世代家族（親と子と孫）以上 5. その他（具体的に： ）

4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。

1. 子はいない 2. 未就学児（小学校入学前） 3. 小学生
4. 中学生 5. 高校生・予備校生・大学受験生
6. 短大・高専・大学・大学院・専門学生など 7. 社会人（2～6に該当しない場合を含む）

5 あなたの職業は？

1. 農林漁業 2. サービス業 3. 製造業 4. 建設業
5. 飲食業 6. 運輸業 7. 公務員・団体職員（役員含む）など
8. 学生 9. 無職（主婦・主夫などを含む）
10. その他（具体的に： ）

6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

1. 相良・福岡 2. 波津・須々木 3. 大江・片浜 4. 大沢・菅山
5. 萩間 6. 地頭方 7. 静波 8. 細江
9. 川崎 10. 勝間田 11. 牧之原 12. 坂部

次ページの設問へのご回答もお願いします。

<日ごろ思うことを、なんでもお書きください>

問27 日ごろの暮らしの中で、感じていることや考えていること、市の取組やまちづくりに対するアイデアなど、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、
お近くの郵便ポストに**5月12日(水)**までにご投函ください。



牧之原市
MAKINOHARA

令和3年度 牧之原市 市民意識調査 報告書

発行：令和3年6月
発行者：牧之原市

企画・編集：牧之原市役所 企画政策部 秘書政策課
〒421-0495

静岡県牧之原市静波 447 番地 1

TEL 0548-23-0052

FAX 0548-23-0059

E-mail seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

URL <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>